

令和 5 年度分実施計画事業評価票

【第3次実施計画事業一覧】

政策名	施策名		事業番号	第3次実施計画事業名	担当課
1. 誰もが安心して健康で明るく暮らせるまちをつくります 【安全・安心・健康福祉】	1	防災・減災対策の強化	1	防災意識の高揚や地域における防災力の向上	防災課
			2	防災・減災基盤の充実	防災課
			3	消防体制の拡充	防災課
	2	防犯・交通安全対策の強化	4	防犯対策の推進	市民活動推進課
			5	交通安全対策の推進	市民活動推進課 土木管理課
			6	消費者被害の防止	経済振興課
	3	地域共生社会の実現	7	地域福祉の推進と支援体制の構築	社会福祉課
			8	多様化・複合化する地域福祉課題への対応	社会福祉課
	4	高齢者の生活支援	9	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者福祉課
			10	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営	高齢者福祉課
			11	地域包括ケアシステムの推進	高齢者福祉課
	5	障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	12	障がいのある人の地域生活支援の充実	障がい福祉課
			13	障がいのある人の社会参加の促進	障がい福祉課
	6	健康づくりの推進	14	健康診査及び保健指導の充実	健康増進課 国保年金課
			15	健康づくり活動の促進	健康増進課 スポーツ振興課
			16	歯科保健の推進	健康増進課 子ども家庭課
			17	食育の推進	健康増進課 子ども家庭課
	7	医療体制・健康危機管理対策の充実	18	医療体制の充実	健康増進課
			19	健康危機管理対策の推進	健康増進課
	8	スポーツ活動の推進	20	スポーツ参加機会の拡充	スポーツ振興課
			21	スポーツ団体や指導者への支援	スポーツ振興課
2. 子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくります 【子育て・教育・文化】	1	子育て支援の充実	22	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進	子育て支援課 保育課
			23	子どもと親の健康づくりの推進と特別な支援が必要な子育て家庭への取組	子育て支援課、子ども家庭課、障がい福祉課
			24	子育て家庭への切れ目のない支援	子育て支援課、保育課、子ども家庭課
	2	学校教育の充実	25	子どもたちの学ぶ力を育む	指導課
			26	子どもたちの豊かな心を育む	指導課
			27	子どもたちの健やかな体を育む	指導課 学校給食課
	3	教育環境の整備・充実	28	教育環境整備の充実	学務課 教育総務課
			29	学校の適正規模・適正配置の推進	学務課
			30	情報化社会に対応した教育の推進	学務課 指導課
			31	信頼される学校づくり	指導課
	4	歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	32	文化・芸術活動の推進	生涯学習課
			33	文化財の保護・活用の推進	生涯学習課
			34	市史編さん事業や地域史料の保存	生涯学習課
	5	生涯学習の推進と青少年の健全育成	35	多様な学習機会の提供	生涯学習課
			36	図書館サービスの充実	生涯学習課
			37	生涯学習施設の整備・充実	生涯学習課
			38	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成	生涯学習課

政策名	施策名		事業番号	第3次実施計画事業名	担当課
3. 地理的優位性をいかした活力あふれるまちをつくります 【産業・交流】	1	農林業の振興	39	農業の担い手の確保	農政課
			40	農業経営への支援	農政課
			41	農業生産基盤の整備	農政課
			42	農林業を通じた地域振興	農政課
	2	商工業の振興	43	商工業の活性化	経済振興課
	3	起業・雇用の促進	44	創業・起業の支援と企業誘致	経済振興課
			45	就労支援の充実	経済振興課
	4	定住交流の促進	46	シティプロモーションの推進	経済振興課
			47	国際化の推進	企画政策課
	5	観光資源の活用と観光の振興	48	観光資源の活用による地域の活性化	経済振興課、企画政策課、都市整備課
4. 自然と都市が調和する快適で人にやさしいまちをつくります 【まちづくり・生活環境】	1	適正な土地利用の推進	49	良好な土地利用の推進	都市計画課
			50	印旛中央地区の市街地形成の支援	都市整備課
			51	地籍調査の推進	都市計画課
	2	緑あふれる居住環境の実現	52	災害に強い住まいづくりの促進	建築指導課
			53	空家等対策の推進	建築指導課
			54	公園の適切な維持管理の推進	都市整備課
	3	道路環境の充実	55	道路網の整備	道路建設課
			56	道路などの適切な維持管理の推進	土木管理課
	4	上下水道事業の安定的な運営	57	水道の安定供給	水道課
			58	計画的な下水道の整備	下水道課
	5	公共交通の充実	59	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成	交通政策課
			60	鉄道の利便性の向上	交通政策課
	6	快適な生活環境の実現	61	美しく快適な環境づくりの推進	クリーン推進課
			62	不法投棄防止対策の強化	クリーン推進課
			63	環境汚染防止対策の推進	環境保全課
			64	鳥獣被害対策の推進	環境保全課
	7	自然との共生の実現	65	環境保全意識の高揚と自然と触れ合う機会の充実	環境保全課
			66	ごみの減量化と資源化の推進	クリーン推進課
			67	環境への負荷の低減	環境保全課
5. 市民と行政が力を合わせ持続可能なまちをつくります 【住民自治・協働・行財政】	1	市政への参加と地域活動の推進	68	コミュニティ活動の推進	市民活動推進課
			69	市民の主体的な活動の支援	市民活動推進課
			70	市民参加意識の向上	市民活動推進課
	2	人権尊重と男女共同参画社会の実現	71	人権尊重の推進と男女共同参画社会の実現に向けた取組	市民活動推進課
			72	相談支援体制の充実	子育て支援課
	3	行政の電子化・情報化の推進	73	電子行政の推進	DX推進課
			74	時代に即した情報発信	秘書広報課
	4	市民サービスの充実	75	窓口サービスなどの充実	市民課、納税課、国保年金課
			76	市民相談の実施	市民活動推進課
			77	情報公開制度の適正な運用	秘書広報課
	5	持続可能な行財政経営の実現	78	事務事業の見直しと事務改善の推進	総務課
			79	職員の育成	人事課
			80	公共施設マネジメントの推進	資産経営課、生涯学習課、印旛支所市民サービス課
			81	公共施設の配置などの適正化の検討	企画政策課

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	1
実施計画事業名	防災意識の高揚や地域における防災力の向上		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	市民の防災意識の更なる高揚による地域防災力の向上を目的に、自助・共助の重要性を広めるとともに、防災メール発信システムの利用促進や家庭内備蓄（自助備蓄）・地域での備蓄（共助備蓄）の普及啓発を行います。 また、自主防災組織の結成促進や活動を側面から支援するとともに、市民、地域、行政など関係機関が連携した地域防災体制の構築に向けた取組を推進します。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画 消防組織法 消防法	
取組方針	防災意識の高揚や地域における 防災力の向上（自助・共助）			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布 ・総合防災訓練の実施(小林中学校区) ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトによる情報配信 ・自主防災組織設置助成及び活動助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布 ・総合防災訓練の実施(本埜中学校区) ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトによる情報配信 ・自主防災組織設置助成及び活動助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布 ・総合防災訓練の実施(滝野中学校区) ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトによる情報配信 ・自主防災組織設置助成及び活動助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発
事業費	27,744千円	15,744千円	15,744千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	8-1-5	災害対策費	防災意識啓発事業
	8-1-5	災害対策費	自主防災組織助成事業
	8-1-5	災害対策費	災害対策事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布実施 ・総合防災訓練の実施(小林中学校区、会場:小林中学校) ・広報等による自助・共助等普及啓発の実施 ・防災ポータルサイトの運用 ・自主防災組織への設置助成及び活動助成の実施 ・自主防災組織リーダー研修会・防災講座(出前講座)の実施 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発の実施	当初予算	27,744,000円
		予算現額	29,254,000円
		決算額	15,009,929円
		翌年度繰越額	12,000,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	防災情報の広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	8	10	7		
	総合防災訓練の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	自主防災組織結成に向けた広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	7		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	防災メール等の登録者数	人	目標値	15,000	17,000	19,000	21,000	23,000
			実績値	15,171	21,162	24,324		
	総合防災訓練自治会等参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	50	47	89		
	自主防災組織活動カバー率(自主防加入世帯/市の世帯)	%	目標値	80	81	82	83	84
			実績値	78	78	80		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	災害における被害を軽減するには、防災に対する各種対策等の普及啓発が重要であるため、引き続き実施していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	2
実施計画事業名	防災・減災基盤の充実		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	災害に強い防災・減災基盤の整備を目的に、災害時、いかなる状況下においても市民に迅速かつ的確に情報を伝達するため、防災行政無線以外の情報伝達手段の多様化を推進し、将来的に更新が必要となる子局等の更新計画の策定に取り組みます。 また、避難所においては、感染症に配慮した資機材の整備、停電対策としての非常用電源の確保、災害用トイレの多様化や暑さ対策など、避難所における生活環境の改善と衛生管理を推進し、公助備蓄に対応するための防災備蓄拠点の整備に取り組むとともに、災害時における飲料水及び生活用水を確保するための災害用井戸の整備を計画的に実施し、併せて、災害時協力井戸制度の普及・啓発に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画	
取組方針	防災・減災基盤の充実(公助)			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・災害用井戸整備(滝野中学校)、設計(本埜中学校)及び令和7年度以降設置計画の検討 ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設計・設置(各2箇所)及び令和8年度以降設置計画の検討 ・災害用資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結	・災害用井戸整備(本埜中学校) ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設計・設置(各2箇所) ・災害用資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結	・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設計・設置(各2箇所) ・災害用資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結
事業費	120,352千円	116,763千円	90,792千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	8-1-5	災害対策費	防災施設管理に要する経費
	8-1-5	災害対策費	災害応急対策資機材整備事業
	8-1-5	災害対策費	災害用井戸整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・防災行政無線子局等の状況に応じた交換等を実施 ・災害用井戸整備(滝野中学校)、設計(本埜中学校)実施 ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設計(小林中学校、高花小学校)及び設置工事(印西中学校、原山中学校) ・災害用備蓄食料・資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結	当初予算	120,352,000円
		予算現額	98,907,000円
		決算額	90,878,250円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	災害用井戸の設置数	箇所	目標値	6	7	8	9	—
			実績値	6	7	8		
	マンホールトイレの設置数	箇所	目標値	—	2	4	6	8
			実績値	—	2	4		
	災害時協力井戸制度の普及・啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1	8	8		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	災害用井戸の設置率(全9箇所)	%	目標値	66	77	88	100	—
			実績値	66	77	88		
	マンホールトイレの設置率(全8箇所)	%	目標値	—	25	50	75	100
			実績値	—	25	50		
	災害時協力井戸の登録者数	人	目標値	20	30	40	50	60
			実績値	9	13	16		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	災害時協力井戸の登録者数は目標に達しなかったが、前年度より増やすことができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	災害時協力井戸の登録者数は目標に達しなかったが、前年度より増やすことができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・大規模災害時には、物流、流通機能等が停止することから、引き続き計画的に非常食の備蓄に努める。また、避難所においては、災害用井戸及び災害用マンホールトイレを設置するとともに、資機材等を整備する。 ・引き続き、多様化した災害情報伝達手段及び災害時協力井戸の周知啓発に努める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	3
実施計画事業名	消防体制の拡充		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	消防体制の拡充を目的に、近年、複雑・多様化するあらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守り、これらの災害に迅速かつ的確に対応するため、市、常備消防、消防団の連携を更に強化することで、災害対応力の向上を図ります。 また、消防団がより安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防水利などを計画的に整備するとともに、機能別消防団員制度の普及、啓発を図ることで、地域防災の中核的な存在である消防団員の確保に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市国土強靱化地域計画 印西市地域防災計画 消防法 消防組織法	
取組方針	消防・救急体制の維持・拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(1棟)、新築・解体設計業務(2棟) ・防火水槽設置設計業務(1基) ・消防団車両の更新(3台)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(2棟)、新築・解体設計業務(2棟) ・防火水槽設置工事(1基)、設計業務(2基) ・消防団車両の更新(2台)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(2棟)、新築・解体設計業務(2棟) ・防火水槽設置工事(2基)
事業費	228,153千円	280,605千円	268,063千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	8-1-2	非常備消防費	消防団運営活動に要する経費
	8-1-2	非常備消防費	市操法大会に要する経費
	8-1-2	非常備消防費	消防団車両管理に要する経費
	8-1-3	災害対策費	消防施設維持管理に要する経費
	8-1-3	災害対策費	防火水槽整備事業
	8-1-3	災害対策費	消防団配備車両整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入(防火衣の更新含む。) ・消防団器具庫8-1(瀬戸)新築・解体工事 ・消防団器具庫4-12(中の口)及び14-8(将監)新築・解体設計 ・防火水槽(松崎)設置設計(1基) ・消防団車両の更新(3台)	当初予算	228,153,000円
		予算現額	208,513,000円
		決算額	189,147,015円
		翌年度繰越額	1,159,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	消防団員の確保に向けた啓発活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	15		
	消防団器具庫の更新数	棟	目標値	-	1	3	5	7
			実績値	-	1	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	消防団員の充足率	%	目標値	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0
			実績値	77.1	75.5	73.7		
	消防団器具庫の更新率(全14棟)	%	目標値	-	7	21	35	50
			実績値	-	7	14		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	消防団器具庫の更新率は用地確保の関係から目標値を下回ったが、その他は計画通り進めることができ消防力の確保が図れた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	消防団器具庫の更新率は用地確保の関係から目標値を下回ったが、その他は計画通り進めることができ消防力の確保が図れた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も消防団員が安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防団器具庫及び消防水利などを計画的に整備していく。 また、消防団員数については、現在も減少傾向にあるため、国県の動向等を踏まえ更なる処遇改善等の検討を進めるとともに、啓発等を実施し団員確保に努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	4
実施計画事業名	防犯対策の推進		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、市民、各種団体、関係機関及び行政が協力・連携し、犯罪の抑止に向けた取組を推進します。 また、近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や新たな犯罪に市民が巻き込まれないよう、情報提供や犯罪被害者等の相談に努めます。			
関連施策	【1-2】防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市安全で安心なまちづくり推進条例 同施行規則 印西市暴力団排除条例 印西市犯罪被害者等支援条例 同施行規則	
取組方針	防犯対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付 ・市民安全センター移転準備	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付
事業費	95,646千円	77,406千円	77,406千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-13	諸費	防犯対策に要する経費
	2-1-13	諸費	防犯活動拠点施設運営費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・市内犯罪発生状況を市HPに掲載(月2回) ・市内犯罪発生状況を登録者にE-mailやFAXで配信(月2回) ・地区別字別犯罪発生状況を市HPに掲載(毎月) ・警察と連携した合同パトロール(毎月) ・青色回転灯装着車両によるパトロール業務(285日) ・防犯灯の新設(61台)と維持管理 ・街頭での防犯啓発活動の実施(10回) ・街頭防犯カメラの管理及び運用(駅ロータリー44台) ・自主防犯活動組織への補助金交付 ・防犯カメラ設置補助事業の周知	当初予算	95,646,000円
		予算現額	94,965,000円
		決算額	72,466,057円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地域安全パトロールの実施(青色灯搭載車による)	日	目標値	260	260	260	260	260
			実績値	286	285	285		
	新設防犯灯数	灯	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	89	66	61		
	市民安全情報の配信	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24		
	防犯パトロール回数	回	目標値	940	940	940	940	940
			実績値	771	606	666		
			目標値					
			実績値					
成果指標	市民安全パトロール隊の隊数	隊	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13	10	10		
	印西市内での刑法犯認知件数(暦年)	件	目標値	560	550	540	530	520
			実績値	513	581	648		
	印西市内での刑法犯(窃盗犯)認知件数(暦年)	件	目標値	430	420	410	400	390
			実績値	427	461	506		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	防犯パトロール回数は目標値を下回っているが、地域安全パトロールについては目標値を上回る日数で実施。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市内での刑法犯認知件数及び刑法犯(窃盗犯)認知件数がおおむね目標値どおりであった。犯罪発生情報を防犯組合と共有し、また警察と連携を図りパトロールや啓発活動に努める。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	犯罪発生情報を周知し更なる防犯対策意識の醸成を図る。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市や防犯組合等による防犯活動のほか、平成29年度からは犯罪被害者等の救済のための見舞金制度を創設、平成30年度から町内会・自治会等による防犯カメラ設置に対する補助を開始し、防犯意識の高揚と安全で安心なまちづくりの推進に努めている。犯罪等の抑止活動を関連団体・機関と連携し、強化を図る。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	5
実施計画事業名	交通安全対策の推進		担当部署名	市民活動推進課 土木管理課
事業の実施目的 及び概要	交通安全意識を高める取組と合わせて交通安全施設等の整備を進め、特に交通弱者と呼ばれる高齢者や児童等への交通安全対策を図り、交通事故の防止に努めます。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市自転車の安全・安心利用に関する条例 印西市自転車安全総合推進計画 印西市交通安全計画	
取組方針	交通安全対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	【交通安全教室・スクアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 【関係計画作成】 ・第三次印西市自転車安全総合計画策定 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去	【交通安全教室・スクアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去	【交通安全教室・スクアードストリート】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 【関係計画作成】 ・第12次印西市交通安全計画作成 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施 【放置自転車対策】 ・放置自転車の巡視・警告・撤去
事業費	42,507千円	44,787千円	44,787千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	2-1-8	交通安全対策費	交通安全対策事業
	2-1-8	交通安全対策費	放置自転車等対策事業
	2-1-8	交通安全対策費	交通安全対策施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・幼稚園、保育園、小中学校、高齢者クラブを対象とした交通安全教室及び各交通安全運動期間等の街頭啓発通や児童登校時の見守り活動を実施した。 ・年間を通じ、交通安全パトロールを実施した。 ・既販車に後付けで設置するペダル踏み間違い等による急発進抑制装置の購入・設置に対する補助金の周知チラシや自転車保険加入及び自転車乗車用ヘルメット着用促進に関する啓発チラシを町内会等へ回覧した。 ・第三次印西市自転車安全総合計画策定した。 ・交通安全施設工事の実施 (区画線 L=60, 189m/道路反射鏡 N=20基/標識 N=5基/車止め N=7基/車両用防護柵 L=71m/転落防止柵 L=42m/横断防止柵 L=9m)	当初予算	42,507,000円
		予算現額	105,507,000円
		決算額	101,017,150円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施回数	回	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	6	60	71		
	街頭啓発活動	回	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	13	15	18		
	放置自転車の巡視・警告・撤去	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	240	243		
	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242	243	243		
			目標値					
			実績値					
成果指標	印西市内での交通人身事故発生件数	件	目標値	204	199	195	192	190
			実績値	179	218	233		
	放置自転車の撤去台数	台	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	55	63	89		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	成果指標である市内での交通人身事故発生件数及び放置自転車の撤去台数ともに増加となった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	交通安全対策及び放置自転車対策に関する活動は計画通り実施ができたものの、交通事故件数や放置自転車の撤去数は増加する結果となった。当年度の数値が令和元年度時点の数値(事故件数208件、放置自転車88台)に近いことから、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行されたことにより、行楽や外出をする人が増えたことが一因となっているものと考ええる。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も交通安全教室や啓発活動を通じ、交通安全意識の高揚を図る。また、放置自転車対策として、駅周辺を中心に、表示物の見直しや効果的な啓発、周知方法等を検討し、改善に努める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	6
実施計画事業名	消費者被害の防止		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や契約に関するトラブルに巻き込まれないよう、情報提供や相談体制の充実を図ります。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例 同条例施行規則	
取組方針	消費者被害の防止			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 16 17			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の強化	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の強化	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の強化
事業費	10,175千円	10,175千円	10,175千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	6-1-3	消費者行政推進費	消費者行政推進事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・消費者トラブルを未然に防止するため、相談の多い事例やその対処方法を紹介したり、その時々々の消費生活に関するお知らせを広報紙で周知(毎月15日号掲載) ・消費生活講座の開催や産業まつりでの啓発物の配布を行い、市民への意識啓発及び情報の提供を行った。 ・消費生活上の問題に関する相談に消費生活センターの相談員が応じ、必要な指導・助言を行った。 ・消費生活相談員の報酬を改定するほか、各種研修への参加や弁護士による勉強会を開催し、相談員の処遇改善や能力向上を図った。	当初予算	10,175,000円
		予算現額	10,175,000円
		決算額	9,188,845円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙への啓発記事掲載回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	消費生活講座等開催回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	4	5		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	新規相談件数	件	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	605	612	671		
	消費生活講座の受講者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	193	205	60		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	高校生向け消費生活講座の開催を予定していたが、調整がつかず未実施だったものの、概ね目標通り実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	高校生向け消費生活講座の開催を予定していたが、調整がつかず未実施だったものの、概ね目標通り実施することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	高校生向け消費生活講座の開催を予定していたが、調整がつかず未実施だったものの、概ね目標通り実施することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、消費者被害を防止するため、消費生活相談に関する情報提供や相談、消費生活講座等の充実を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	7
実施計画事業名	地域福祉の推進と支援体制の構築		担当部署名	社会福祉課
事業の実施目的 及び概要	「市民」はまちづくりの主役であり、地域福祉の推進には、市民が主体となった地域活動が不可欠です。「介護」「障がい」「子育て」「困窮」等地域に住む市民たちの抱える問題は複雑化・複合化してきています。また、高齢化の進展や人間関係の希薄化等により、「共助」の重要性がより高まっている中で、縦割り型の支援体制から組織を超えた横断的な支援体制の構築とともに、地域における包括的な支援体制の構築が求められています。 このため、市では、人材確保・育成活躍の場の提供などによる社会参加への支援を行っていきます。また、「市民」「地域活動団体」「社会福祉法人」「NPO法人」「民生委員・児童委員」「行政」といった地域福祉を担う構成員の連携による地域福祉ネットワークの構築を進めるとともに、包括的な相談体制の構築など地域福祉力の向上に向けた支援体制づくりを進めていきます。			
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	社会福祉法 印西市地域福祉計画 民生委員法 児童福祉法	
取組方針	市民の福祉意識向上と人材確保・育成/ 包括的な支援の実現に向けた体制づくり			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	    			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センターでの貸館の実施 ・そうふけふれあいの里大規模改修工事	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・第5次印西市地域福祉計画策定(策定委員会設置) ・第5次印西市地域福祉計画策定に係る市民アンケートの実施 ・地域福祉センター及び牧の原地域交流センターでの貸館の実施 ・そうふけふれあいの里大規模改修工事	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理 ・第5次印西市地域福祉計画策定 ・地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センターでの貸館の実施
事業費	453,415千円	453,415千円	107,509千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-1-1	社会福祉総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	そうふけふれあいの里施設管理に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	牧の原地域交流センター施設管理に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	民生委員児童委員活動に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	社会福祉推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・広報紙・ホームページに、民生委員・児童委員の活動紹介等の地域福祉に関する記事を掲載し、市民の福祉意識の向上を図った。 ・社会福祉協議会等との連携や民生委員・児童委員の活動支援を行い、地域福祉の向上に努めた。 ・福祉の総合相談窓口において、どこに相談したらよいかわからない方(窓口・電話)への案内及び情報提供を行った。 ・第4次印西市地域福祉計画の進行管理を行うとともに、地域福祉推進委員会において、計画の評価を実施した。 ・地域福祉センター、草深ふれあい市民センター及び牧の原地域交流センターでの貸館の実施により、福祉団体等に活動の場を提供し、福祉活動の推進を図った。 ・そうふけふれあいの里大規模改修工事に着手した。	当初予算	453,415,000円
		予算現額	453,439,000円
		決算額	193,100,107円
		翌年度繰越額	239,275,500円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	民生委員・児童委員数	人	目標値	130	135	140	145	150
			実績値	129	112	128		
	地域福祉の情報発信数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	7		
	福祉の総合相談窓口	か所	目標値	1	1	1	1	2
			実績値	1	1	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	民生委員・児童委員の活動数(活動日誌)	件	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
			実績値	5,835	6,742	9,716		
	ボランティアセンター登録者数	人	目標値	1,400	1,550	1,700	1,850	2,000
			実績値	959	856	906		
	総合相談窓口相談件数	件	目標値	50	70	80	100	170
			実績値	197	203	199		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	欠員が生じている地区の民生委員・児童委員の確保に努めた。また、広報紙等による情報発信に努めた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	民生委員・児童委員活動がコロナ禍以前に戻り、目標値を達成することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	地域福祉計画に基づいた取組みを推進することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	民生委員・児童委員、社会福祉協議会等の関係機関との連携を図るとともに、包括的な支援体制を構築するための重層的支援体制づくりの検討を進める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	8
実施計画事業名	多様化・複合化する地域福祉課題への対応	担当部署名	社会福祉課	
事業の実施目的 及び概要	近年、大規模な自然災害の発生や新卒の特殊詐欺・サイバー犯罪の増加、新型コロナウイルス感染症の流行等、市民の安全を脅かす要因が増加する中、特に、高齢者や障がい者等の支援が必要な人を地域ぐるみで守っていけるよう、地域人材を活用した防災・防犯体制を構築・推進していくとともに、市民の生活面に重大な影響を及ぼすことになりうる「生活困窮」「自殺」「ひきこもり」「8050問題」「ダブルケア」などの地域福祉が抱える様々な問題への対策についても取り組んでいきます。			
関連施策	【1-3】地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市避難行動要支援者避難計画 生活困窮者自立支援法 生活保護法 印西市地域福祉計画 印西市成年後見制度利用促進基本計画	
取組方針	多様化・複合化する課題への対応			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	    			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・離職などにより住居を失った方、又は失うおそれの高い方に、就職に向けた活動などを条件に、一定期間家賃相当額の支給をする「住居確保給付金」の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図ることを目的とし、被保護者支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行う「被保護者就労支援事業」の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・離職などにより住居を失った方、又は失うおそれの高い方に、就職に向けた活動などを条件に、一定期間家賃相当額の支給をする「住居確保給付金」の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図ることを目的とし、被保護者支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行う「被保護者就労支援事業」の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・離職などにより住居を失った方、又は失うおそれの高い方に、就職に向けた活動などを条件に、一定期間家賃相当額の支給をする「住居確保給付金」の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図ることを目的とし、被保護者支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行う「被保護者就労支援事業」の実施
事業費	73,303千円	73,303千円	73,303千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	3-1-1	社会総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会総務費	生活困窮者自立支援事業に要する経費
	3-4-1	生活保護総務費	生活保護事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・避難行動要支援者同意者名簿作成のため、避難行動要支援対象者に個別に通知を発送し、同意者名簿に掲載してよいか、また、支援者となり得る関係団体(町内会や民生委員等)に名簿を提供してよいか確認するため同意書の提出をもらった。併せて、町内会等への説明会を実施し、避難行動要支援者の個別計画の作成等、避難支援への協力を依頼した。システムにおいて名簿等の管理を行い、有事に迅速に対応・活用できるようにした。 ・生活困窮者自立支援事業について、毎月1日号の広報に生活困窮相談を行っている旨を掲載(「今月の各種相談」コーナー)する他、ホームページにも生活困窮者に対する支援制度などの情報掲載を行った。また、委託先事業所でもチラシを作成し、周知に努めた。 ・住居確保給付金を7世帯に給付した。 ・被保護者就労支援事業においては、被保護者本人・就労支援員・担当ケースワーカーによる三者面談や「被保護者就労支援会議」を開催し、就労支援の方向性などを検討した。	当初予算	73,303,000円
		予算現額	148,393,000円
		決算額	142,674,355円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	避難行動要支援者同意者数	人	目標値	2,100	2,500	2,700	2,900	3,100
			実績値	2,399	2,686	2,412		
	自立支援事業の広報等による周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	被保護者就労支援事業利用者数	人	目標値	15	15	20	20	25
			実績値	20	10	21		
			目標値					
			実績値					
成果指標	避難行動要支援者個別計画作成件数	件	目標値	50	125	216	232	248
			実績値	103	157	216		
	自立相談事業による相談件数	人	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	267	188	207		
	被保護者就労支援事業を利用し増収した者	人	目標値	5	7	10	10	15
			実績値	9	9	6		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	避難行動要支援者避難計画、生活困窮者自立支援制度等の周知に努め、利用者の増加を図っていく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	被保護者就労支援事業を利用し増収した者の減少があったが、今後も関係機関等と連携し支援を継続していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ほぼ計画どおりであった。今後も制度の周知及び生活困窮者の支援に努める。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も市民が安心して生活できるよう、関係機関や地域の団体と連携し、継続して各事業を実施していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	9
実施計画事業名	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的 及び概要	高齢者の多様な交流の促進を図り、いつまでも元気で住み慣れた地域に住み続けられるよう、老人福祉センター等の施設を提供及び各種事業を実施するほか、高齢者クラブが高齢者の生きがいづくりや孤立化防止に資するような自主的活動団体となるよう支援します。 また、高齢者が長年培ってきた経験・知識・技能を発揮し、生きがいを持って社会に参加しつつ生活の安定も享受できるよう、臨時的・短期的な就業を提供するシルバー人材センターの運営を支援します。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 老人福祉法 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援 ・旧永治小学校跡地活用による高齢者就労支援センター施設整備	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターへの活動支援
事業費	421,863千円	178,260千円	178,260千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者生きがい事業
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者就労支援センター運営に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	総合福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター運営事務に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	高花老人福祉センター事業に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	そうふけ老人福祉センター事業に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	中央駅前地域交流館高齢者福祉事業活動に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	高齢者就労支援センター施設整備に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	老人福祉センター等では、高齢者の生きがいづくりや健康な体の維持、教養の向上などを目的に、主催事業を224日開催した。また、自由来館の場を設け、高齢者同士の交流を図るとともに、サークルなどを通じて生きがいづくりの推進を図り、老人福祉センター等5施設で延べ51,361人の方に利用された。 高齢者クラブの活動は、高齢者の生きがいづくりや体の健康の維持、社会参加促進を目的としており、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の位置づけが見直されたこともあり、影響下にあった時期と比較して、社会奉仕活動やサークル活動が復調の兆しにある。 また令和5年10月1日に開設した高齢者就労支援センターでは各種講習会を37回開催した。 シルバー人材センターの入会説明会参加者に対しては、高齢者就労支援センターの紹介や就業情報の提供を目的として、「ハローワーク成田」等の案内を行った。	当初予算	421,863,000円
		予算現額	359,611,000円
		決算額	349,153,375円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	老人福祉センター等施設の主催事業開催日数	日	目標値	170	170	200	200	200
			実績値	183	167	224		
	シルバー人材センター登録会員数	人	目標値	450	455	460	465	470
			実績値	404	447	449		
	就業支援講座・講習会の開催数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	7	37		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	老人福祉センター等施設の延べ利用者数	人	目標値	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000
			実績値	27,222	30,617	51,361		
	シルバー人材センター受注事業件数	件	目標値	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500
			実績値	2,260	2,469	2,428		
	シルバー人材センター就業延べ人員	人	目標値	50,000	50,100	50,200	50,300	50,400
			実績値	46,842	48,458	44,965		
	高齢者クラブ登録会員数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	1,812	1,625	1,482		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	全体的に増加傾向であった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各施設において、新型コロナウイルス感染症の影響下の時期と比較して利用者が回復・増加傾向にある。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	全体的に目標値どおりの結果であったため、今後も目標値以上の結果になるよう努めたい。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	老人福祉センター等については、引き続き利用者の増加に努める。 シルバー人材センターや高齢者クラブ連合会などの運営についても、継続して支援をしていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	10
実施計画事業名	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的 及び概要	各種介護予防事業の取組により、要介護状態になることを予防するとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるように支援します。 また、加齢に伴い生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護を要する方に対して、自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスの給付を行います。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業 ・高齢者の介護予防把握事業 ・通所型サービスC ・介護予防普及啓発講演会(隔年) ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化 ※通所型サービスCとは、保健・医療の専門職が生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラムを3～6か月の短期間で行うサービスです。	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業 ・高齢者の介護予防把握事業 ・通所型サービスC ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業 ・高齢者の介護予防把握事業 ・通所型サービスC ・介護予防普及啓発講演会(隔年) ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化
事業費	6,023,087千円	6,001,883千円	6,001,883千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-2-1	高齢者福祉総務費	介護人材育成事業
	3-2-1	高齢者福祉総務費	介護施設等整備事業
	3-2-1	高齢者福祉総務費	介護サービス事業者等物価高騰対策支援給付金事業
	【介護保険特別会計予算】		
	2-1-1 ～ 2-1-6	介護サービス費	施設サービス給付事業、居宅サービス給付事業、地域密着型サービス給付事業、特定入所者介護サービス給付事業、居宅介護支援サービス諸費給付事業、審査支払に要する経費
	2-2-1 ～ 2-2-4	介護予防サービス費	介護予防サービス給付事業、地域密着型介護予防サービス給付事業、介護予防支援サービス諸費給付事業、特定入所者介護予防サービス給付事業
	3-1-2	介護予防・日常生活支援総合事業費	介護予防・日常生活支援総合事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	介護予防の推進については、介護予防把握事業において介護認定を受けていない75歳以上9,563人に健やかチェックリストを送付し、5,421人の回答(回答率56.7%)あり。その結果、よりフレイルのリスクが高い人(3,049人(56.3%))が介護予防事業の利用につながるよう活用した。また、通所型サービスC利用にも活用した。ちょきん運動は、新規に立ちあがるグループが増えるなど、予定通りに実施できた。認知症予防として、出前講座の実施、脳活パンフレットの作成などを行っている。介護予防普及啓発講演会では「人生100年どう生きる」という題名で講演を行い、71名が聴講した。講演会では市の介護予防・健康づくりの紹介も行った。 令和5年度における施設整備としては、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に基づき地域密着型特別養護老人ホームとグループホームが新設された。物価高騰の影響を受けている介護サービス事業者等に対し給付金を支給し、事業者の負担軽減を図った。	当初予算	6,023,087,000円
		予算現額	6,032,727,000円
		決算額	5,681,541,997円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ちょきん運動出前講座	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	2	5	7		
	介護予防事業の周知活動(介護保険証に同封、窓口設置モニター掲載、HP・広報掲載等)	回	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	19	28	24		
	介護支援ボランティアの登録人数	人	目標値	100	110	120	130	140
			実績値	48	43	54		
	介護職員初任者研修等費用助成	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	6		
			目標値					
			実績値					
成果指標	ちょきん運動参加者人数	人	目標値	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
			実績値	1,059	1,307	1,412		
	ちょきん運動実施グループ数	グループ	目標値	75	79	83	87	91
			実績値	72	75	83		
	介護支援ボランティアの受入施設	事業所	目標値	26	27	28	29	30
			実績値	26	34	34		
	研修費用助成による市内介護保険サービス事業所への就業者数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	4	6		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ちょきん運動のグループ立ち上げ支援など実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ちょきん運動のグループが増え、介護予防事業は予定通り実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ちょきん運動の活動支援や把握事業から介護予防事業への展開を行うことができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	介護予防の推進については、把握事業から予防事業へつながる展開がみられているため、引き続き事業を実施していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	11
実施計画事業名	地域包括ケアシステムの推進		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的 及び概要	高齢者ができるだけ要支援・要介護状態にならず、住み慣れた地域で安心して暮らし、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護予防と生活支援の観点から、地域の多様な社会資源を本人が活用できるような地域包括ケアの実現のために、地域包括ケアシステムの推進及び各種生活支援サービスを実施します。また、その中核となる地域包括支援センターの運営を継続し深化させていきます。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	地域包括ケアシステムの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・圏域の再編について検証 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの構築を図る 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業 ・高齢者ふれあいバス無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業	地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの構築を図る 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業 ・高齢者ふれあいバス無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業	地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの構築を図る 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業 ・高齢者ふれあいバス無償化 ・高齢者補聴器購入費助成事業
事業費	237,967千円	237,967千円	237,967千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者在宅福祉事業
	【介護保険特別会計予算】		
	3-1-1	包括的支援事業・任意事業費	包括的支援事業・任意事業
	4-1-1	保健福祉事業費	保健福祉事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	地域包括支援センターの周知啓発、各事業を実施した。高齢者人口の増加に伴う圏域の再編についての検討を行い、地域包括支援センターの人員配置について見直しを行った。在宅医療介護連携の推進において、介護と医療サポートガイドを刷新し周知を行うほか、医療介護に関わる多職種の連携を図るため研修や交流会を実施した。認知症施策としては、小学生対象の認知症サポーター養成講座を学校の理解と協力のもと、9割(16校)の小学校にて実施した。成人や一般市民を対象とした講座を開催し、幅広い層への周知を実施することができた。認知症に対する正しい知識の周知を図るためのイベント開催、認知症支援の流れを示した認知症ケアパスの配布、認知症カフェ(オレンジカフェ)の開催を行うほか、認知症の人の支援体制の構築を集中的に行う認知症初期集中支援事業を実施した。	当初予算	237,967,000円
		予算現額	240,785,000円
		決算額	222,341,595円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	認知症サポーター養成講座の開催	回	目標値	28	28	28	28	28
			実績値	21	30	28		
	外出支援サービス利用実績	件	目標値	400	400	400	400	400
			実績値	342	484	426		
	緊急通報装置の設置実績	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	41	34	53		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	総合相談支援利用者数	件	目標値	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
			実績値	5,865	7,296	5,903		
成果指標	認知症サポーター養成数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,033	1,565	1,316		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	全体的に目標値を達成した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	幅広い年代において、認知症を正しく理解する人が増える成果があった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	認知症サポーターが増加し、地域包括支援センターが相談先として定着している状況から、支援が必要になっても、安心して生活できる地域づくりが進んでいると思われる。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	小学校・成人・一般市民等を対象とした認知症サポーター養成講座を開催し、幅広い層への周知を継続していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	12
実施計画事業名	障がいのある人の地域生活支援の充実		担当部署名	障がい福祉課
事業の実施目的 及び概要	障がいのある人の福祉の増進を図ることを目的とし、障がいのある人が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 児童福祉法 印西市障害者基本計画 印西市障害福祉計画	
取組方針	障がいのある人の地域生活支援の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	    			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成
事業費	2,875,770千円	2,962,043千円	3,050,904千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者援護費
	3-1-2	障害福祉費	障害福祉事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び児童福祉法に基づく障害児通所支援サービスの給付及び補装具の交付を行った。 ・基幹相談支援センターを設置し、24時間365日の一般相談及び、特定相談支援事業所による障害福祉サービス等の利用支援を行った。(一般相談支援 27,136件、計画相談支援 1,652件) ・グループホーム運営費の補助及び入居する障がいのある人への家賃の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と日常生活の確保を図った。(グループホーム等運営費補助金 20事業所、グループホーム等入居者家賃助成 120人) ・重度心身障害者の医療費を助成することにより、障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図った。(支払件数 36,140件) ・物価高騰の影響を受けている市内障害福祉サービス施設等に支援金を給付し、安定的な事業継続を支援した。	当初予算	2,875,770,000円
		予算現額	3,111,604,000円
		決算額	2,999,784,296円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	障害支援区分認定調査人数	人	目標値	110	116	150	160	170
			実績値	183	152	201		
	一般・特定相談事業所数	所	目標値	7	7	7	8	8
			実績値	7	7	9		
	障害福祉サービス(共同生活援助)利用決定者数	件	目標値	110	115	120	125	130
			実績値	137	149	175		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	障害福祉サービス利用者数(就労系及び共同生活援助を除く。)	人	目標値	999	1,042	1,085	1,130	1,177
			実績値	925	1,012	1,079		
	相談支援件数	件	目標値	19,500	19,700	23,000	23,500	24,000
			実績値	22,563	25,473	27,136		
	グループホーム等への入居者数	人	目標値	95	100	105	116	128
			実績値	125	132	161		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	平成30年度に基幹相談支援センター及び障がい者虐待防止センターを設置し、24時間・365日の相談支援を行える体制を整備し、相談事業の充実を図ることができた。 今後も障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援を行うため引き続き事業を継続する。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	13
実施計画事業名	障がいのある人の社会参加の促進		担当部署名	障がい福祉課
事業の実施目的 及び概要	障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や障がいのある人の状況に応じて、効率的・効果的な事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 印西市障害者基本計画 印西市障害福祉計画	
取組方針	障がいのある人の社会参加の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	    			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発
事業費	2,672,994千円	2,726,454千円	2,780,983千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	3-1-2	障害福祉費	障害福祉事業に要する経費
	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援を行った。 ・障がい者理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発を行った。(精神障がい理解促進講座(3回)、障害者差別解消講演会(1回)、手話講習会(4回)、こころの整理術(1回)、障がい者作品展(Web1回)、お仕事応援フェア(1回)、ペアレントトレーニング(1回))	当初予算	2,672,994,000円
		予算現額	2,832,830,000円
		決算額	2,746,520,437円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労系障害福祉サービス利用決定者数	人	目標値	250	285	306	327	348
			実績値	214	253	285		
	差別の解消や理解促進に関する周知・啓発回数	回	目標値	8	8	9	9	10
			実績値	11	12	13		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労移行支援事業利用者数	人	目標値	65	70	75	80	85
			実績値	73	79	74		
	就労継続支援事業利用者数	人	目標値	130	138	146	154	162
			実績値	137	170	191		
	就労定着支援事業利用者数	人	目標値	18	21	24	27	30
			実績値	16	18	16		
	生活訓練事業利用者数	人	目標値	34	39	44	50	57
			実績値	37	41	49		
	差別の解消や理解促進に関する講習等への参加延人数	人	目標値	330	340	370	380	410
			実績値	360	509	531		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	就労系障害福祉サービス利用決定者数は目標値を下回ったものの、実績値は昨年度より増加している。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き障がいのある方の個々の心身の状況やニーズに応じた福祉サービスの充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的・経済的な自立を支援していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	14
実施計画事業名	健康診査及び保健指導の充実	担当部署名	健康増進課 国保年金課	
事業の実施目的 及び概要	高齢化などを要因として全国的に医療費の増加が課題となっており、国民健康保険における医療費の抑制に向け、健康診査の受診率向上などの取組が求められています。本市では糖尿病を中心に、生活習慣病が増加しているため、継続的な運動や食生活の改善をはじめとする健康づくりや、健診などで病気を早期に発見することが求められます。 そこで、健康診査やがん検診等の受診率向上に努め、精密検査の場合には、個別勧奨などにより適切に医療機関へ受診できるよう支援します。加えて個別指導や保健指導などの充実により、市民の健康意識を高め、病気の早期発見や重症化予防など市民の健康増進を支援します。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 高齢者の医療の確保に関する法律 国民健康保険法 介護保険法 第2次健康いんざい21(改訂版)～印西市健康増進・食育推進計画～ 印西市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画第2期データヘルス計画	
取組方針	健康診査及び保健指導の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	2 食料 安全保障 3 良好な健康と 福祉の実現 11 住み続けたい まちづくり			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施 - 国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画策定	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談事業の実施 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施
事業費	328,246千円	326,596千円	326,596千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に要する経費
	4-1-4	健康づくり推進費	健康診査事業、がん検診事業、がん検診推進事業
	【国民健康保険特別会計予算】		
	5-1-1	保健衛生普及費	保健衛生普及事務に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	データヘルス事業に要する経費
	【後期高齢者医療特別会計】		
	3-1-1	健康診査費	健康診査に要する経費
	3-1-2	保健衛生普及費	人間ドック等費用助成事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	特定健康診査については、6月から12月に集団健診と個別健診を実施。8月に特定健診を受けていない人への受診勧奨通知後は受診者数が増えたため一定の効果があつたと考えるが、受診率は令和4年度と同程度であつた。その他各種健(検)診を予定どおり実施することができた。 令和4年度に骨粗しょう症検診の判定方法の見直しにより、年齢が高い人に判定が厳しくなった結果、要指導、精密検査区分となる人が増加したため、事後指導数や健康相談実施者数が増加した。高齢者の筋骨格系及び結合組織に関する患者数が多いことが市の健康課題の1つである中、多くの人の生活改善につなげることができた。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、ポピュレーションアプローチは15団体を対象に、ハイリスクアプローチは96人に実施した。 人間ドック及び脳ドックの受検者数は、人間ドックが1,064人、脳ドックが268人となり、増加傾向である。助成制度を周知した効果があつたものとする。 令和6年度から令和11年度までを計画期間とする国民健康保険第3期データヘルス計画及び第4期特定健康診査等実施計画を策定した。	当初予算	328,246,000円
		予算現額	293,247,000円
		決算額	284,340,964円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各種健康診査・検(健)診の周知 広報・HP等の掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	16	19	28		
	がん検診精密検査未受診者への再勧奨(電話・訪問・来所・手紙等)	%	目標値	90	95	95	97	100
			実績値	100	100	100		
	特定保健指導実施率 (法定審査前暫定値)	%	目標値	28	29	30	31	32
			実績値	18.5	18.3	14.7		
	健康相談実施者数(糖尿病性腎症対策・健診事後相談)	人	目標値	100	105	360	365	370
			実績値	366	396	444		
	人間ドック等受検費用助成の広報・HP等による周知	回	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	17	17	17		
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2	81.5 84.8	82.1 85.3		
	特定健診の受診率 (法定審査前暫定値)	%	目標値	39.0	39.0	40.0	40.0	41.0
			実績値	37.1	36.3	37.4		
	がん検診精密検査受診率の増加	%	目標値	90	90	95	95	90
			実績値	88.2	87.5	89.1		
	印西市国民健康保険被保険者中、糖尿病を原疾患とする新規人工透析導入者数	人	目標値	25	25	23	23	23
			実績値	28	10	9		
	印西市国民健康保険被保険者一人当たりの医療費	円	目標値	380千円	400千円	410千円	420千円	420千円
			実績値	372千円	379千円	399千円		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	特定健康診査や人間ドック等助成について、多様なツールを取り入れPRすることで周知が図れた。特定保健指導の実施率は、勧奨、再勧奨と工夫をしたが前年度より下がった。健康相談利用者は増加した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	平均自立期間は昨年比男女共に微増し、目標値を上回った。特定健康診査は、当該制度の周知や実施体制の工夫により、昨年度より微増し、目標値に近い成果を上げることができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であつた	特定健康診査の受診や人間ドック等の受検を促進できた。健(検)診、その後の相談・指導を通じて平均自立期間(健康寿命)の延伸につなげることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	特定健康診査の受診や人間ドック等の受検を促進するため、引き続き周知等に努める。また、健(検)診結果をもとに、事後フォローとなる各種相談・指導事業により生活改善支援、医療受診勧奨を行い、市民の生活の質の維持・向上、自立期間の延伸を目指していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	15
実施計画事業名	健康づくり活動の促進		担当部署名	健康増進課 スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	高齢期をむかえても誰もが住みなれた地域で、生涯を通じて健康で安心して暮らすことができるように、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図る、健康づくりの施策の推進をします。 より良い生活習慣を身につけることは、丈夫な体をつくり、健康の維持・増進につながります。健康講演会や健康教育等の実施や健康情報を発信して、住民が自らの健康に関心を持ち、各年代に合わせた運動や睡眠・休養を含めた健康づくりを行えるよう支援し、禁煙・受動喫煙の防止など、健康増進に向けた取り組みを進めます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～ 自殺対策基本法 いのち支えあういんざい自殺対策計画	
取組方針	健康づくり活動の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・第3次健康いんざい21の計画策定	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施 ・第3次健康いんざい21の計画策定	・健康講演会、健康教育等の実施 ・自殺対策 ・受動喫煙の防止対策 ・健康ポイント事業 ・健康情報の周知・啓発 ・健康相談の実施 ・健康づくりセンター運営事業の実施 ・健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施
事業費	46,161千円	46,020千円	42,465千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-4	健康づくり推進費	保健対策推進事業
	4-1-4	健康づくり推進費	健康づくりセンター等運営事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	新型コロナウイルス感染症が5類になったため、健康講演会を開催できた。 自殺対策では、啓発物の作成及び配布により周知啓発を行い、商工会の協力により働く世代、学校の協力により高校生に啓発を行うことができた。また、ゲートキーパー研修を開催し、ゲートキーパーについて認識を深めることができた。 受動喫煙防止対策では、保育園・幼稚園にてオリジナル絵本・塗り絵「ナスちゃんとモクモクの森」の読み聞かせを行うとともに、啓発資料を配布することで保護者への啓発にもつなげた。 健康ポイント事業は県の「元氣ちば！健康チャレンジ事業」に参加して実施しており、従来までの紙カードに加え、令和6年2月から電子カードを可能とするよう充実を図れた。 市内14か所の健康情報コーナーにより、健康情報の周知、啓発を行った。 健康相談は、骨粗しょう症検診の事後相談を中心に実績が伸びた。 健康づくりセンターについて、年間利用者が6,731人と令和4年度より増加した。 ヘルスアップ教室は、令和5年度移転に伴い新規募集回数が4回から3回になったため新規参加者数は55名と目標値実績値を下回った。 第3次健康いんざい21策定のため、市民アンケートを行った。	当初予算	46,161,000円
		予算現額	43,632,000円
		決算額	40,752,839円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	健康講演会・健康教育等の参加者数	人	目標値	150	170	960	970	980
			実績値	650	842	1066		
	健康情報コーナー等による啓発	か所	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	14	14		
	健康ポイント事業の参加者数	人	目標値	150	170	190	210	230
			実績値	49	76	55		
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	105	360	365	370
			実績値	366	396	444		
	健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)新規参加者実人数	人	目標値	80	90	100	110	120
			実績値	62	74	55		
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2	81.5 84.8	82.1 85.3		
	1日30分以上の運動を週2回以上、1年間以上実施している人の割合(%)	%	目標値	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0
			実績値	42	43	45		
	睡眠で休養が十分とれている人の増加	%	目標値	73	76	79	79	79
			実績値	75	76	75		
	たばこを習慣的に吸っている人数	%	目標値	11	9	7	7	7
			実績値	9	9	9		
	ヘルスアップ教室参加者の入会時から3か月後の体力年齢改善率	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	77	88	67		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	健康ポイント事業やヘルスアップ教室の参加者は目標に届かなかった。ヘルスアップ教室は、令和5年度移転に伴い新規募集回数が4回から3回になったため新規参加者数は55名と目標値実績値を下回った。引き続き全戸回覧等周知方法を工夫し増加に努める。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	運動習慣に関しては、目標達成はできなかったが昨年度に比べ上昇している。睡眠やたばこの習慣に関しては横ばいである。ヘルスアップ教室の体力測定については、3か月後評価のできた対象者が6名と少なかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	健康教育、健康相談は目標達成しており健康づくりの支援につながった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、市民が自ら健康に関心を持ち、各年代に合わせた健康増進に向けた取り組みを続ける。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	16
実施計画事業名	歯科保健の推進		担当部署名	健康増進課 子ども家庭課
事業の実施目的 及び概要	歯の状態や口腔疾患は、全身の健康に影響します。歯みがきや歯科健診の定期的な受診を促し、家庭や学校、職場などでできる歯みがき習慣の定着化を目指します。また、歯の健康や歯周病予防は、子どもから高齢者まで、年齢に関係なく取り組みが求められます。そこで、歯を失う原因となるう蝕(むし歯)及び歯周病の予防について、口腔衛生に関する正しい知識の普及と歯科健診の受診を勧奨します。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 歯科口腔保健法(歯科口腔保健の推進に関する法律) 印西市歯と口腔の健康づくり推進条例 第2次健康いんざい21(改訂版)～印西市健康増進・食育推進計画～ 印西市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画・第2期データヘルス計画	
取組方針	歯科保健の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診の受診促進
事業費	8,255千円	8,255千円	8,255千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	4-1-4	健康づくり推進費	保健対策推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	歯科保健啓発事業として市民公開講座を4回開催した。また、二十歳を祝う会で歯科健診の受診勧奨を目的とした啓発チラシを900枚配布した。 依頼・出前教育では、子ども発達センターや子育て支援センター、児童館において歯科指導及び歯科健診を実施し、成人においては、家庭教育学級や、高齢者グループへ口腔体操や、歯科指導を実施した。 乳幼児に対しては公立だけでなく私立の保育園や幼稚園、こども園においても歯科指導を行い歯みがきの習慣化に努めた。 学校歯科指導は市内小学校14校、中学校8校で実施し、口腔内環境に適した歯みがき方法を指導した。 その他、就学時健診時に保護者1403名に向けて、むし歯予防や仕上げ磨きの必要性について資料を配布した。 口腔疾患健診においては、30歳、35歳を対象に受診勧奨を行った結果、受診率が向上した。 妊娠前から歯・口腔の衛生習慣を身につけるために妊婦歯科健診を開始した。	当初予算	8,255,000円
		予算現額	8,050,000円
		決算額	7,269,963円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	歯科保健啓発事業の周知(広報・HP等の掲載)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	4		
	依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の増加	回	目標値	68	69	70	71	72
			実績値	58	77	90		
	口腔疾患健診受診者数	人	目標値	254	263	280	292	297
			実績値	176	247	291	—	—
	歯科保健啓発事業	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	1	4		
成果指標	乳幼児う蝕罹患率の減少	%	目標値	11.5	11.3	10.0	9.9	9.8
			実績値	8.4	5.5	5.1		
	小学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	39.3	39.2	39.1	39.0	38.9
			実績値	33.1	25.2	23.6		
	中学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	34.4	34.3	34.2	34.1	34.0
			実績値	21.9	22.5	22.4		
	小学生の歯肉炎罹患率の減少	%	目標値	13.1	11.0	10.0	9.9	9.8
			実績値	10.9	7.0	7.1		
	中学生の歯肉炎罹患率の減少	%	目標値	31.3	28.2	25.0	24.9	24.8
			実績値	23.0	19.6	21.2		
	口腔疾患健診受診率	%	目標値	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
			実績値	1.4	1.9	2.2		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	口腔疾患健診においては、30歳・35歳に向けて受診勧奨を実施したため、前年度より受診者が増加した。小中学校での歯科指導では染め出しを実施する学校もあった。二十歳を祝う会で歯科保健の啓発物を配布した。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	おおむね目標を達成。小中学校の歯科指導は年齢に応じた内容で指導し歯みがき習慣に繋がった。歯肉炎に関しては引き続き効果的な指導を検討して実施する。
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	小中学校での歯科指導では、パワーポイントや媒体を使うなどして、効果的に指導に当たれた。今後もさらにブラッシュアップを重ね、効果的な指導を行えるようにする。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	保育園等の歯科指導では公立だけでなく、私立の保育園や幼稚園にも働きかけていく。学校歯科指導では、養護教諭等と協議し、染め出しを含めた実技指導を実施していく。健診事業においては受診率の向上を図るため、対象を広げ受診勧奨を行う。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	17
実施計画事業名	食育の推進		担当部署名	健康増進課 子ども家庭課
事業の実施目的 及び概要	健康的な食習慣の大切さを伝え、生活習慣病の予防や健康な身体の発育を促すような生涯にわたる健全な食生活の実践を支援します。 地場産品を活用したレシピなど農業との連携や、給食などを通じた食育など保育・教育との連携を進め、食育推進の実施体制を整備、強化していきます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	食育基本法 食育推進基本計画(国) 食育推進計画(県) 第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～	
取組方針	食育の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信(年24回) ・乳幼児健診・相談事業の実施(通年) ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信(年25回程度) ・相談事業等での個別支援の実施(年360件程度) ・小中学校を通じた指導・啓発(通年) ・保育園・幼稚園を通じた啓発(通年) 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催(年2回) ・食育関係者研修会の開催(年1回) ・食育関係事業者との連携(年12回)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信(年24回) ・乳幼児健診・相談事業の実施(通年) ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信(年25回程度) ・相談事業等での個別支援の実施(年365件程度) ・小中学校を通じた指導・啓発(通年) ・保育園・幼稚園を通じた啓発(通年) 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催(年2回) ・食育関係者研修会の開催(年1回) ・食育関係事業者との連携(年12回)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信(年24回) ・乳幼児健診・相談事業の実施(通年) ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信(年25回程度) ・相談事業等での個別支援の実施(年370件程度) ・小中学校を通じた指導・啓発(通年) ・保育園・幼稚園を通じた啓発(通年) 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催(年2回) ・食育関係者研修会の開催(年1回) ・食育関係事業者との連携(年12回)
事業費	215千円	252千円	252千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-4	健康づくり推進費	食育推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	野菜いっぱい食育レシピ、にこにこクッキングレシピ合わせて年24回、市ホームページ、SNS、店舗配布(市内スーパー5店舗)、広報掲載(にこにこクッキング)し、野菜摂取の啓発と具体的な方法を示した。 乳幼児健診・相談事業の中で年齢に応じた食生活のポイントについての資料を配布して啓発し、心配事のある人への個別相談を実施し食生活の悩みに対応した。 食育事業、教育事業としては、家庭教育学級等への周知により依頼が増え、実施回数の増加につながった。 小中学校において栄養教諭等が中心となり、印西市食育ミニマム、学校毎に立案する食の指導の全体計画に基づき、授業や給食指導を実施した。公立保育園においては年間計画に基づき保育課栄養士の巡回指導を実施。よい食習慣が身につくよう保育士が指導した。 食育の推進体制として、食育関係者研修会を平成27年度以来9年ぶりに会場・オンラインのハイブリット型で開催することができ、活発な意見交換会も行われ食育推進計画の理解を深めることができた。また、食育事業者との連携として、市内スーパー全店舗に食育の取り組み状況や市の食育イベントへの協力の可否等のインタビュー調査を実施するとともに、5店舗にてイベントを実施し、野菜摂取の普及啓発やレシピ配布をした。	当初予算	215,000円
		予算現額	215,000円
		決算額	214,511円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座・教育の実施回数	回	目標値	20	25	25	25	25
			実績値	43	39	46		
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピ配信回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24		
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	105	360	365	370
			実績値	366	396	444		
	栄養士調整会開催回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	1		
	食育関係者研修会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	—	—	1		
成果指標	健康相談の内容を理解し、生活改善目標がたてられる	%	目標値	95	95	97	97	100
			実績値	100	100	90		
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピツイートをみた人数(平均)	人	目標値	2,000	2,200	2,300	2,400	2,500
			実績値	2,569	1,557	1,600		
	1日に5皿以上の野菜料理を食べている人の割合	%	目標値	10	15	20	20	20
			実績値	6	7	9		
	食育関係者研修会参加者の市食育推進計画への理解	%	目標値	80	85	90	95	95
			実績値	—	—	100		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	家庭教育学級、高齢者等に対する講座の依頼件数が増え、食事の大切さについて周知することができた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	1日5皿以上(350g以上)の野菜を食べている人の割合が微増はしているものの低かったため、野菜摂取の大切さを周知するために広報のにこにこクッキングのホームページ掲載を開始した。また、スーパーでの啓発を継続していく。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	1日5皿以上(350g以上)の野菜を食べている人の割合が低いことへの課題解決を模索しているため。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和5年度に実施した食育関係者研修会をさらに充実したものにできるよう内容を検討し、より推進体制を強化できるようにしていく。 市の食育上の大きな課題である野菜摂取量については、評価指標の年代ではないが、幼児期では改善がみられる。野菜の価格は気候に左右されやすく、そのため摂取量は経済的な影響を受けやすいものであるが、引き続きレシピの配布・周知の工夫及び市内協力スーパー等と協力し野菜摂取の大切さを市民に伝えるなどを実施し、1日5皿以上の野菜を食べている人の割合を増やせるようにしていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	18
実施計画事業名	医療体制の充実		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	市民が医師との信頼関係をもとに日常的な医療や健康の相談ができる「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」を持つことの重要性を周知するとともに、誰もがいざというときに必要な診察が受けられるように医療体制の整備・充実を図ります。特に休日・夜間などの急患に対応するための救急医療体制の充実を図ります。			
関連施策	【1-7】医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～	
取組方針	医療体制の充実及び在宅医療と介護の連携推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援
事業費	30,000千円	45,000千円	45,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	地域医療推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	新型コロナウイルス感染症に加え、季節性インフルエンザ等の感染者が 例年より増加したため、急病時の相談先等の周知を多く実施した。 市内医療機関数については、微増となった。 医療機関数及び市内医療機関への救急搬送率が増加した。	当初予算	30,000,000円
		予算現額	15,000,000円
		決算額	15,000,000円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	かかりつけ医等を持つことの重 要性の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	13	14	15		
	休日・夜間などの急病時の相談 先等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	14	15	16	17
			実績値	13	14	15		
	救急医療機関への財政支援	機関	目標値	1	1	2	2	2
			実績値	0	0	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	医療機関数	機関	目標値	90	92	95	97	100
			実績値	91	90	92		
	市内医療機関への救急搬送率	%	目標値	44	45	46	47	48
			実績値	38	40	43		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	救急医療機関への財政支援について、新規となる印西総合病院へは満額支援を行ったが、日本医科大学千葉北総病院からは交付要件を満たさないため辞退の申し出があり実施しなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市内における救急事案4,698件のうち、市内医療機関に搬送された件数は令和4年度と比較し263件増加し2,035件となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続きかかりつけ医の重要性を周知していくとともに救急医療機関への財政支援を行って市内への救急搬送率をさらに高め、医療体制の充実を図っていく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続きかかりつけ医の重要性を周知していくとともに医療体制の充実を図っていく。 市内医療機関への救急搬送率をさらに増加させるため財政支援を継続して行っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	19
実施計画事業名	健康危機管理対策の推進		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	感染症の流行を防ぐため、感染症予防対策についての意識の向上を図るとともに、予防接種の知識の普及や接種機会の安定的な確保を図ります。また、救命率の向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置を推進するとともに市民への周知を図ります。			
関連施策	【1-7】医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～ 予防接種法	
取組方針	健康危機管理対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・予防接種法に基づく臨時予防接種事業(新型コロナウイルスワクチン接種事業)	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業
事業費	1,081,266千円	466,199千円	466,199千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	保健事務に要する経費
	4-1-2	予防費	予防接種事業
	4-1-2	予防費	健康危機管理事業
	4-1-2	予防費	新型コロナウイルス対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	広報やホームページ等により感染症予防対策についての啓発を図るとともに、定期予防接種や予防接種費用助成事業等を実施し、安定的な接種機会の確保を図った。 救命率の向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置継続及び新規設置を行い、市民への周知を図った。 臨時予防接種事業として新型コロナウイルスワクチン接種事業を生後6か月以上の方を対象として実施した。	当初予算	1,081,266,000円
		予算現額	913,626,000円
		決算額	675,820,753円
		翌年度繰越額	7,100,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	感染症予防対策の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	26	26	36		
	AED(自動体外式除細動器)設置 状況等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	4	4	5	5
			実績値	2	2	4		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	24時間営業のコンビニエンス ストアへのAED(自動体外式除細 動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	市内公共施設等へのAED(自 動体外式除細動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	各種感染症予防のため、広報毎号(24回)、ホームページ、X(旧ツイッター)で予防対策等の周知を行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	24時間営業のコンビニエンスストア及び市内公共施設等全てにAEDを設置している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	感染症予防についての啓発を図り、意識を高めることができたとともに、コンビニ設置AED及び市内公共施設等全てに三角巾等を設置し、さらなる健康危機への対策を図ることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き市民の安全安心な生活を守るために取り組んでいく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	20
実施計画事業名	スポーツ参加機会の拡充		担当部署名	スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	スポーツ人口の拡大を目的に、市民スポーツ大会及び教室を関係団体と連携し継続的に開催するとともに市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する関心を図ることのできるイベントの開催やトップアスリートによるイベントの開催誘致に努めます。 また、市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として学校体育施設の利用促進に努めるとともに快適に活動ができるよう、継続的にスポーツ施設の維持管理・改善検討を行います。			
関連施策	【1-8】 スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、印西市スポーツ推進基本計画、第13次千葉県体育・スポーツ推進計画、いんざい子育てプラン、第2次健康いんざい21（改訂版）～印西市健康増進・食育推進計画～、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	スポーツ参加機会の拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・夏季休業中の民間プール活用の実施 ・パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・夏季休業中の民間プール活用の実施 ・パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・夏季休業中の民間プール活用の実施 ・パラスポーツ体験会・パラアスリート講演会の開催 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営
事業費	116,743千円	136,743千円	116,743千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	9-6-2	体育振興費	学校体育施設開放事業
	9-6-2	体育振興費	社会体育施設維持管理に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ推進委員に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ振興に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	スポーツ教室については、ニュースポーツ教室8回(237名参加)、ら・ら・らす スポーツ祭1回(14名参加)、クライミング教室12回及び認定会3回(193名参加)、 リフレッシュ教室90回(1,741名参加)、印西アスリート教室1回(38名参加)、パ ラスポーツ体験会15回(1,125名参加)陸上クリニック1回(100名参加)を開催し た。また、スポーツ協会主催により、5競技7回(691名参加)の教室を開催し た。市民ぐるみのスポーツイベントであるスポーツ健康フェス(807名参加)を開 催した。学校体育施設の利用については、市内小中学校27校及び旧小学校2 校において、学校体育施設の開放を実施した。また、市内民間プール等を活用 し、小中学生に利用券の配布事業を実施した。 スポーツ施設の維持管理及びパークゴルフ場、フットサルパークの運営につ いては、市民がより快適にスポーツに親しむことができるよう日々の整備、修繕に 努め、施設環境を整えた。	当初予算	116,743,000円
		予算現額	98,520,000円
		決算額	89,919,903円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ教室開催数	回	目標値	143	150	150	150	150
			実績値	97	133	140		
	学校体育施設利用団体数	団体	目標値	210	215	220	220	220
			実績値	185	185	192		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	スポーツ教室参加者数	人	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900	4,000
			実績値	1,867	4,354	4,968		
	学校体育施設利用者数	人	目標値	5,900	6,000	6,100	6,100	6,100
			実績値	4,455	4,797	4,792		
	スポーツ施設利用者数	人	目標値	370,000	380,000	500,000	510,000	520,000
			実績値	496,843	500,477	505,381		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	スポーツへの参加機会の拡充を図るため、引き続き、市民が気軽にスポーツに親しめるよう スポーツ教室などを開催していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	21
実施計画事業名	スポーツ団体や指導者への支援		担当部署名	スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	市民がスポーツを行う際に適切な指導を受けることができる環境を整えるために、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、その他スポーツ団体の活動を支援し、競技力の向上及び指導体制の強化を図ります。 また、あらゆる世代がスポーツに参加し、指導を受けることができる総合型地域スポーツクラブの設立を支援するとともに、既存クラブの育成を行います。			
関連施策	【1-8】 スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、印西市スポーツ推進基本計画、第13次千葉県体育・スポーツ推進計画、いんざい子育てプラン、第2次健康いんざい21（改訂版）～印西市健康増進・食育推進計画～、印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	スポーツ団体や指導者への支援			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民スポーツ大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成
事業費	31,592千円	31,592千円	31,592千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	9-6-2	体育振興費	スポーツ推進委員に要する経費
	9-6-2	体育振興費	印旛郡市スポーツ大会に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ振興に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	市スポーツ協会、スポーツ少年団などの活動の支援を行った。(補助金交付等) 印旛郡市スポーツ大会17種目及び印旛駅伝に際し、選手の派遣を行った。 全国大会出場奨励金を交付した(31名) 運動教室等に、スポーツ推進委員を講師として派遣を行った。(3回) スポーツ医学セミナーを開催した。(1回・22名参加) 総合型地域スポーツクラブへの支援を行った。(活動場所の確保等) 市民スポーツ大会の支援を行った。(30回・3,831名参加)	当初予算	31,592,000円
		予算現額	22,091,000円
		決算額	19,695,112円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ団体数 (スポーツ協会・少年団)	団体	目標値	39	40	40	40	40
			実績値	38	37	37		
	郡市民スポーツ大会・印旛駅伝 参加数	種目	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	—	16	17		
	総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	スポーツ医学セミナー開催数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	市民大会開催数	回	目標値	34	34	34	34	34
			実績値	16	26	30		
成果指標	スポーツ団体会員数 (スポーツ協会・少年団)	人	目標値	3,500	3,520	3,540	3,560	3,580
			実績値	3,395	3,142	2,936		
	スポーツ指導者数	人	目標値	145	147	149	151	153
			実績値	141	155	156		
	総合型地域スポーツクラブ会員 数	人	目標値	99	100	105	110	115
			実績値	69	82	78		
	スポーツ医学セミナー参加人数	人	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	47	23	22		
	市民大会参加者数	人	目標値	7,400	7,450	7,500	7,550	7,600
			実績値	2,097	3,664	3,831		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市スポーツ協会、スポーツ少年団などのスポーツ団体の活動を今後も継続して支援し、選手の競技力向上や指導体制の強化を図るとともに、スポーツ団体の活動を周知し、団体や会員を増やしていく。また、各種団体と連携し、市民大会等の参加者を増やしていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	22
実施計画事業名	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進	担当部署名	子育て支援課 保育課	
事業の実施目的 及び概要	○子どもの健全な育成を図るため、子どもたちの放課後や週末などの安全で安心な居場所づくりに取り組むとともに、異年齢や世代間の交流や体験活動の充実を図ります。また、児童の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とした健全育成の場を提供します。さらに、子どもの現在及び将来が生まれ育った環境によって左右されないよう、経済的な理由や家庭環境などによって困難を抱える子どもに対して、学習習慣の定着及び子どもの居場所の提供に努めます。 ○学童クラブへのニーズの高まりに対応するため、計画的な学童クラブの整備・改修を図るとともに、公立学童クラブの指定管理者への委託、民間学童クラブへの支援を行います。			
関連施策	【2-1】子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 第2期子ども・子育て支援事業計画	
取組方針	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	         			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) ・児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) ・学童クラブの実施及びサービス充実の検討 ・民間学童クラブへの補助の実施(13学童クラブ) ・民間学童クラブ設置の検討 ・指定管理者による運営(24学童クラブ) ・学童クラブの新設等の検討	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) ・児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) ・学童クラブの実施及びサービス充実の検討 ・民間学童クラブへの補助の実施(13学童クラブ) ・民間学童クラブ設置の検討 ・指定管理者による運営(24学童クラブ) ・学童クラブの新設等の検討	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) ・児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館等:4カ所、児童遊園等10カ所) ・学童クラブの実施及びサービス充実の検討 ・民間学童クラブへの補助の実施(13学童クラブ) ・民間学童クラブ設置の検討 ・指定管理者による運営(24学童クラブ) ・学童クラブの新設等の検討
事業費	622,647千円	622,647千円	622,647千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ひとり親家庭等生活向上事業
	3-3-5	児童福祉施設費	児童遊園に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	中央駅前地域交流館児童健全育成事業活動に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	子どもふれあいセンターに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	そうふけ児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	いんば児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブ施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・生活困窮世帯及びひとり親世帯等の児童(小学4年生から18歳まで)に対し、学習支援や居場所の提供を行うことで、学習習慣等の定着を図ることができた。(小学生登録者:12名、中高生登録者:29人) ・児童館等事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間帯予約制で行った。児童館利用人数(そうふけ児童館11,544人)(いんば児童館3,594人)(子どもふれあいセンター4,476人)(中央駅前地域交流館3,923人) ・牧の原第2学童クラブ(公立)、DUCK学童クラブ(民間)を開設した。 ・公立学童クラブ(24学童クラブ)の運営を行った。 ・民間学童クラブ(13学童クラブ)への運営費補助を実施。 ・原学童クラブ(図書室)、滝野学童クラブ(図書室)、牧の原学童クラブ(空き教室)の整備を行った。 ※ 公設民営(指定管理者) 24学童クラブ・民設民営 13学童クラブ 計37学童クラブ	当初予算	622,647,000円
		予算現額	613,441,000円
		決算額	561,122,116円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子どもの学習支援事業の実施回数(1週あたり)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	4		
	児童館事業の周知(児童館だよりの配布)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	学童保育実施箇所数	箇所	目標値	33	34	35	35	35
			実績値	33	35	37		
	学童クラブ入所定員数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,685	1,685
			実績値	1,570	1,645	1,770		
	学童クラブ新設・改修工事の実施数	箇所	目標値	2	1	—	—	—
			実績値	2	1	3		
成果指標	子どもの学習支援事業利用登録者数	人	目標値	30	40	40	40	50
			実績値	31	32	41		
	児童館利用件数	人	目標値	80,600	80,700	80,800	80,900	81,000
			実績値	11,851	18,711	24,562		
	学童クラブ入所児童数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,685	1,685
			実績値	1,467	1,654	1,847		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	児童館利用について、感染防止対策のため施設の面積に応じて利用人数を制限したことにより、利用件数が伸びなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	児童館利用については、新型コロナウイルス感染症予防対策の行動制限が緩和されているため、今後は感染状況を見ながら利用人数の見直しを行っていく。 また、学童クラブの待機児童解消に向けて、学童クラブの整備について検討していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	23
実施計画事業名	子どもと親の健康づくりの推進と 特別な支援が必要な子育て家庭への取組	担当部署名	子育て支援課、子ども家庭課、障がい福祉課	
事業の実施目的 及び概要	○子どもと保護者にとっての心身の健康は充実した生活の基本であることから、親子の健康の保持増進をより一層図るとともに、望ましい食習慣の定着を図る食育を推進します。また、乳幼児健診や専門相談等を実施し、成長発達に支援が必要な乳幼児の早期発見及び親の育児不安等に対する支援の充実を図ります。 ○ひとり親家庭は子育ての負担が大きくなる傾向があるため、相談体制の充実や生活・就業・経済的支援等を行っていきます。また、全国で児童虐待の事件が後を絶たない現状を踏まえ、今後も育児不安や虐待などの問題に早期に対応するための相談体制の整備・充実を図ります。			
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	母子及び父子並びに寡婦福祉法 母子保健法 児童福祉法 第2期子ども・子育て支援事業計画	
取組方針	子どもと親の健康づくりの推進と 特別な支援が必要な子育て家庭への取組			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1 2 3 4 5 8 10 11 16 17			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・乳幼児健診事業 ・出産育児支援事業 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成 ・ひとり親家庭の自立支援及び子育て家庭の不安や悩み解消に向けた相談体制の整備・充実 ・虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 ・巡回相談等の実施 ・知識啓発のための定期的な学習会の開催 ・発達の遅れなどのある児童への支援(児童発達支援センターへ移行)	・乳幼児健診事業 ・出産育児支援事業 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成 ・ひとり親家庭の自立支援及び、子育て家庭の不安や悩み解消に向けた相談体制の整備・充実 ・虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 ・巡回相談、保育所等訪問支援等の実施 ・知識啓発のための定期的な学習会の開催 ・発達の遅れなどのある児童への支援	・乳幼児健診事業 ・出産育児支援事業 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成、自立に向けた相談体制の充実 ・全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関(子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を統合したこども家庭センター)において、虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 ・巡回相談、保育所等訪問支援等の実施 ・知識啓発のための定期的な学習会の開催 ・発達の遅れなどのある児童への支援
事業費	379,502千円	379,102千円	379,102千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	3-3-1	児童福祉総務費	子ども家庭総合支援拠点事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等医療費等助成に要する経費
	3-3-3	母子福祉費	児童扶養手当給付事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	子ども発達センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	母子保健事業
	4-1-3	母子衛生費	不育症治療費助成事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・ひとり親家庭に対し、各種手当や助成金の支給をするともに、母子・父子自立支援相談を実施し、ひとり親家庭への福祉の増進を図った。 ・家庭児童相談を実施し、子育て家庭の不安や悩みの軽減を図った。 ・児童虐待防止のための周知・啓発を行うとともに、関係機関との会議等を行い、連携を図ること、児童虐待の早期発見・早期対応に努めた。 ・乳幼児健診事業は1歳6か月児健診を1,063人、2歳児歯科健診を951人、3歳児健診を1,364人が利用し、相談等対応に努めた。 ・出産育児支援事業は、産婦健康診査を延べ1,333人・新生児聴覚スクリーニング検査を818人が利用した。また、こども家庭庁のこどもデータ連携実証事業に参加し、AIを活用した困難の類型(産後うつや児童虐待)と関連性の深いデータ項目を分析した。今後、リスク区分の判定の補助ツールとして職員のスキルや経験差を埋められるようになることを期待している。1月からはLINE相談を導入し、登録者318人、相談件数74件となった。 ・出産後、助産師による電話相談を1,811件対応し、乳児家庭全戸訪問事業では884件(乳児897人)訪問し、出産後の支援に努めた。 ・発達に支援が必要なお子さんが通う保育園及び幼稚園44園に対し、定期巡回を74回、延べ236人に実施した。園での対応方法やアドバイスをを行い、支援が必要なお子さんに対する理解が図られた。 ・子ども発達センター利用者のニーズと状況に合わせたグループを組み、それぞれに課題を設定し療育を行った。契約者111人に対し延べ 3682回療育を実施し、小集団の療育の中で児の困り感が改善されたり生活習慣や行動が身についた。10月から児童発達支援センターに移行し、保育所等訪問支援利用児の対象園との連携を密に行うことができた。また、障害児相談支援事業で療育利用児49人と契約し、計画相談を実施、保護者支援の充実を図った。	当初予算	379,502,000円
		予算現額	390,815,000円
		決算額	366,976,360円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ひとり親家庭等医療費助成の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3		
	相談事業の周知(広報への掲載)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	母子・父子自立支援員による相談事業実施日数	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242	243	243		
	乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)の実施率	%	目標値	92	94	96	98	100
			実績値	95	95	99		
成果指標	ひとり親家庭等医療費助成件数	件	目標値	3,600	3,600	6,500	6,500	6,500
			実績値	6,322	6,613	6,672		
	母子・父子自立支援相談件数	件	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	35	39	66		
	児童家庭相談件数	件	目標値	360	360	360	360	360
			実績値	367	327	356		
	児童虐待相談件数	件	目標値	180	180	180	180	180
			実績値	258	234	245		
	健やか親子21聞き取り項目育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	%	目標値	85	90	95	95	95
			実績値	83	80	84		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	児童数の増加や児童虐待についての認識の高まりにより、児童虐待相談件数が目標値より増加している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	児童虐待防止のため、周知・啓発に努め、関係機関と連携して対応していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	24
実施計画事業名	子育て家庭への切れ目のない支援		担当部署名	子育て支援課、保育課、子ども家庭課
事業の実施目的及び概要	○少子化や核家族化が進む中、育児の孤立化や育児不安が大きくなる前に支援することが重要であることから、子育て家庭が身近な地域で切れ目のない支援を受けられる体制づくりを推進するとともに、子育てに関する相談体制や情報提供体制の充実に努めます。 ○公立保育園での安全かつ質の高い保育サービスの提供及び老朽化した保育施設の計画的な改修整備を推進するとともに、民間保育園の運営に対する補助や民間保育園新設に対する施設整備補助を行い、保育サービスの充実と保育の受け皿拡大による保育園待機児童解消を図ります。また、保育を必要とする児童の受入れを行う民間保育園に対して、国が定める公定価格に基づき委託料を支出します。			
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 母子保健法 第2期子ども・子育て支援事業計画	
取組方針	子育て家庭への切れ目のない支援			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	         			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・児童手当の支給及び医療費の助成 ・地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・子育てヘルプサービス事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ・子育て短期支援事業の実施 ・子育て世代包括支援センター事業の実施 ・伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 ・内野保育園改修工事 ・子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) ・各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ・民間保育園の運営に対する補助 ・民間保育園新設に対する施設整備補助	・児童手当の支給及び医療費の助成 ・地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・子育てヘルプサービス事業の実施 ・子育て世帯訪問支援事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ・子育て短期支援事業の実施 ・子育て世代包括支援センター事業の実施 ・伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 ・保育園改修工事検討 ・子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) ・各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ・民間保育園の運営に対する補助 ・民間保育園新設に対する施設整備補助	・児童手当の支給及び医療費の助成 ・地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・子育てヘルプサービス事業の実施 ・子育て世帯訪問支援事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ・子育て短期支援事業の実施 ・子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を統合したこども家庭センターにおける育児相談の実施 ・伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業 ・保育園改修工事検討 ・子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) ・各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ・民間保育園の運営に対する補助 ・民間保育園新設に対する施設整備補助
事業費	8,210,885千円	8,140,980千円	8,140,980千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ブックスタート事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てヘルプサービス事業、養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業、利用者支援事業に要する経費、子育て短期支援事業に要する経費、産後ケア事業に要する経費
	3-3-2	児童措置費	児童手当給付事業
	3-3-4	保育所費	保育園運営に要する経費、保育園施設改修事業、民間保育園の保育委託に関する経費、民間保育園等運営費支援事業、民間保育園施設整備事業
	3-3-5	児童福祉施設費	つどいの広場事業、小林子育て支援センターに要する経費、中央駅前地域交流館子育て支援事業活動に要する経費、滝野子育て支援センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	子ども医療費助成事業、未熟児養育医療事業、高校生等医療費助成事業、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・子どもの医療に要する費用の全部又は一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担を軽減することができた。 ・ファミリーサポートセンター事業については、育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人による会員組織への登録を行い、会員同士が相互援助活動を実施することで、子どもの預かりや送迎など地域への子育て支援の推進を図ることができた。 ・子育てヘルプサービス事業、養育支援訪問事業、産後ケア事業及び子育て短期支援事業を実施し、安心して子育てができるよう、必要な支援を行うことができた。 ・施設の長寿命化を図るため、内野保育園の大規模改修工事を実施した。 ・病児・病後児保育事業については定員を増やし、サービスの拡充が図れた。 ・民間保育園の運営に対して計画どおりに補助を実施。 ・民間保育園に対して物価高騰に伴う給食費の補助を実施。 ・伴走型相談支援及び出産・子育て応援交付金の一体的実施事業の開始を受け、妊娠期からの相談事業の更なる充実に努め、出産・子育て応援交付金の円滑な支給に努めた。	当初予算	8,210,885,000円
		予算現額	8,557,475,723円
		決算額	7,994,227,410円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

※高校生等医療費助成制度は令和5年8月より子ども医療費助成制度に統合しました。

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子ども医療費・高校生等医療費助成制度の周知(広報への掲載)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	地域子育て支援拠点事業実施箇所	箇所	目標値	24	24	25	25	25
			実績値	24	25	23		
	ファミリーサポートセンターの提供会員	人	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	91	94	96		
	育児相談実施箇所	箇所	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	11	11	11		
	改修工事の実施数	園	目標値	—	1	1	—	1
			実績値	—	1	1		
成果指標	子ども医療費及び高校生等医療費助成件数	件	目標値	265,000	265,000	265,000	265,000	265,000
			実績値	242,747	268,843	342,540		
	地域子育て支援拠点事業利用者数	人	目標値	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
			実績値	49,892	69,523	69,906		
	ファミリーサポートセンター事業の利用時間	時間	目標値	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
			実績値	2,919	2,937	2,442		
	育児相談利用者数	人	目標値	320	320	320	320	320
			実績値	317	256	323		
	4月1日現在保育園在園児童	人	目標値	2,700	2,800	3,200	3,200	3,200
			実績値	2,748	3,057	3,334		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地域子育て支援拠点事業利用者数について、感染防止対策のため時間帯の予約及び人数を制限したことにより、利用件数が伸びなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	ファミリーサポートセンターの提供会員及び地域子育て支援拠点事業の利用者の拡大を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	25
実施計画事業名	子どもたちの学ぶ力を育む		担当部署名	指導課
事業の実施目的及び概要	3つを柱とした子どもたちの資質・能力(①生きて働く知識及び技能、②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など、③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など)を育成するため、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	学ぶ力を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)				単位:千円
	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ・イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ・ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	・漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ・イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ・ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	・漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ・イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ・ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	
事業費	307,469千円	240,574千円	240,574千円	

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	特別支援教育事業
	9-1-3	教育研究指導費	進路対策事業
	9-1-3	教育研究指導費	国際理解教育推進事業
	9-1-4	教育センター費	教育に関する調査・研究・開発事業
	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-1-4	教育センター費	教職員研修事業
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	職場体験事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・「漢字級別認定テスト」「計算力認定テスト」については各3回実施した。のべ数で目標値を大きく上回る受検者があった。 ・各校で行われる授業研修会等に指導主事を261回派遣し、授業の工夫・改善に向けた指導助言を行った。 ・特色ある教育活動について、教科等の指導におけるICT活用・情報教育の指定を全小中学校、外国語教育の推進の指定を小学校3校に、環境教育（SDGs）の推進の指定を小学校1校にし、指導主事が指導・助言を行った。 ・夏季研修会については、現場のニーズや教育課題に応じた19講座を開催した。参加した教職員にとって満足度の高い研修を実施した。 ・学校図書館システムによる、検収、検索、貸出、返却、各種統計処理等を円滑に進めたことで、学校図書館の機能の充実を図った。 ・イングリッシュアカデミーホップ・ステップの事業については、2日間で合計159名の児童が参加し、外国語を使ったコミュニケーション能力の育成を図ることができた。ジャンプの事業では、中学生20名がオーストラリアのメルボルンに7日間ホームステイし、現地校との交流や英語の能力の向上を図った。 ・ALT13名の派遣及び英語教育コーディネーター9名の配置を通じて、幼・小・中学校での外国語教育の円滑な推進を図ることができた。 ・特別支援教育研修会は、特別支援コーディネーターと特別支援学級担任を対象に年1回実施のべ54名が受講し、市内の特別支援教育や個別指導計画作成方法について共通理解を図った。 ・早期就学相談では、101件の相談を実施した。 ・学習指導員・介助員を対象とした研修会は、個々のニーズに応じたきめ細かな教育的支援を行うための研修会を年2回実施し54名が受講した。 ・生き生き体験として、8校の生徒1026名が、市内の158事業所で職場体験を行った。	当初予算	307,469,000円
		予算現額	315,044,000円
		決算額	283,407,530円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	漢字級別認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	計算力認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	夏季研修会に参加した教職員の満足度割合	%	目標値	90	90	91	91	92
			実績値	95	95	99		
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	中止	代替実施	1		
	就学相談を実施することが望ましいと見込まれる対象児童の割合 *2	%	目標値	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5
			実績値	8	7	7		
成果指標	漢字級別認定テストの受検者数	人	目標値	11,000	11,110	11,221	11,333	11,447
			実績値	12,970	12,810	12,605		
	計算力認定テストの受検者数	人	目標値	10,000	10,100	10,201	10,303	10,406
			実績値	12,304	12,940	12,719		
	学校評価(授業力向上)における児童生徒の肯定的回答率	%	目標値	88	88	88	89	90
			実績値	91	90	93		
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の事後追跡調査結果 *1	%	目標値	80	—	—	—	80
			実績値	90	R2年度中止	R3年度中止	R4年度中止	
	上記の見込対象児童に対する就学相談の実施率 *2	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		

*1 イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)を実施した2年後に行う追跡調査において、「研修経験が高校進学や将来の職業観など、進路選択に生かした」と回答した参加生徒の割合
*2 ここでは就学前児童及び就学前相談を対象としている。

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ目標値どおりである	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実施できたものの多くで目標値を上回る実績値となっている。今後も事業内容を改善しながら継続し、児童生徒の学ぶ力の育成や教職員の指導力向上に努めていきたい。

令和5年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	26
1. 事業の概要				
実施計画事業名	子どもたちの豊かな心を育む		担当部署名	指導課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの豊かな心や創造性を涵養するため、道徳科を要とした体系的・系統的な道徳教育を推進するとともに、体験活動や多様な表現、鑑賞活動等の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	豊かな心を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・適応指導教室の充実 ・面接相談・電話相談の充実	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・適応指導教室の充実 ・面接相談・電話相談の充実	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・適応指導教室の充実 ・面接相談・電話相談の充実
事業費	24,641千円	24,641千円	24,641千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-3	教育研究指導費	小中学校芸術文化体験事業
	9-1-4	教育センター費	自然科学体験学習事業
	9-1-4	教育センター費	教育相談事業
	9-1-4	教育センター費	適応指導教室事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・道徳教育実践研修会については、教育センターでの理論研修を受け、各学校での授業実践をし、最後にまとめの活動を行うという形式で、各学校1名参加し、道徳教育の核となる教員の育成と資質向上を図った。 ・各学校で実施した教職員対象の学校評価アンケート結果から、心の教育の充実の設問に対して好意的回答をした割合が90%を超えた。 ・学校での人権教育研修において、事例を踏まえて今日の子どもの人権問題を中心に理解を深めた。 ・さわやかハートフルコンサートは、コロナ禍前の実施形態に戻して実施し全小中学校が参加した。音楽活動を通して児童生徒の学びあいや豊かな情操を養った。 ・小学校6年生児童を対象に小学校芸術鑑賞教室を6回に分けて開催しおよそ1100人児童が参加した。狂言や落語等の古典芸能を味わい、日本の伝統芸能についての理解を深めた。 ・教育センター主催の自然科学体験は、施設改修による一時移転のため代替案も検討したが一部中止とし、児童生徒対象の里山観察会と科学実験講座の2講座を実施した。 ・適応指導教室には最大22名の児童生徒が在籍した。児童生徒個々の状況に応じ、心の安定に努めたり、学校との心的距離を縮めたりした。 ・面接および電話にて、184件の相談に応じた。	当初予算	24,641,000円
		予算現額	25,417,000円
		決算額	19,051,582円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道徳教育授業実践研修会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	さわやかハートフルコンサートの開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	小学校芸術鑑賞教室の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	自然科学体験教室の開催回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	3	2		
	適応指導教室の開室日数	日	目標値	195	195	195	195	195
			実績値	193	194	190		
成果指標	学校評価(道徳・心の教育の充実)における教職員の肯定的回答率 * 1	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	99	95	97		
	市内全児童生徒に対するさわやかハートフルコンサート参加児童生徒数の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	20	20	21		
	小学校芸術鑑賞教室の参加児童数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,131	1,180	1,206		
	事後アンケートにおける自然科学体験教室参加者の肯定的回答率 * 2	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100	100	100		
	適応指導教室に通室する児童生徒の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		

* 1 学校評価「あなたは豊かな人間性を育む心の教育の充実」に努めているか」の問いに対し、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した教職員の割合

* 2 事後アンケート「今後も体験学習会に参加してみたいか」の問いに対し、「とても思う」「思う」と回答した参加者の割合

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実施できたもののほとんどが目標値程度か上回る実績値となっている。今後も事業内容を改善しながら継続し、児童生徒の豊かな心や創造性の育成に努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	27
実施計画事業名	子どもたちの健やかな体を育む		担当部署名	指導課 学校給食課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの運動に親しむ資質・能力の育成や体力の向上を図るため、学校体育の充実や部活動の支援に努めるとともに、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、学校給食を活用した食に関する指導の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 学校給食法 第2期印西市教育振興基本計画 学校保健安全法	
取組方針	健やかな体を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善 ・(仮称)新高花学校給食センター建設工事	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善
事業費	4,145,466千円	1,846,549千円	1,846,549千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	部活動推進事業
	9-1-3	教育研究指導費	小学校駅伝競走大会
	9-6-1	保健体育総務費	学校保健事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業
	9-6-3	学校給食費	学校給食事務費
	9-6-3	学校給食費	中央学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	牧の原学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	印旛学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	学校給食センター整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・小学校駅伝競走大会は、応援児童の参加は無しにするなど多少の縮小は行ったが、例年に近い形で実施した。 ・市内全中学校に部活動サポーター21名を、陸上・ソフトテニス・卓球・バレーボール・サッカー・剣道・吹奏楽・野球の部活動に配置した。学校の部活動と地域スポーツ、地域文化活動をつなぐ架け橋となった。 ・児童生徒の定期健康診断、小児生活習慣病予防検診及び事後指導は、感染対策を講じながら通常どおり実施した。 ・小児生活習慣病検診には、およそ3000人の児童生徒が受検し、その後の事後指導を受け、自己の生活習慣を振り返り、今後の生活の仕方について目標をもつことができた。 ・歯科ブラッシング指導については、ブラッシングなどの実技を一部の小学校で再開し、パワーポイント資料等を使っての講義形式とあわせて実施した。 ・栄養教室については、全小学校で実施した。 ・家庭・地域と連携した食育については、ホームページ、献立表及び食育通信等で保護者に情報配信した。	当初予算	4,145,466,000円
		予算現額	4,176,853,000円
		決算額	4,019,961,150円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	小学校駅伝競走大会の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	小学校における歯科健診の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校		
	中学1年生における小児生活習慣病予防検診及び事後指導の実施校数	校	目標値	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校
			実績値	全中学校	全中学校	全中学校		
	小学校における栄養教室の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校		
			目標値					
			実績値					
成果指標	大会に向けた課外活動に参加する児童数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,214	1,114	1,245		
	健歯またはむし歯を治癒した児童の割合	%	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	88	88	89		
	中学3年生時における肥満度有所見者の割合	%	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	11	10	12		
	小学生の朝食の欠食率	%	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	児童生徒の発達段階をふまえて工夫して実施することで、目標値程度の実績を収めている。今後も事業内容を工夫しながら継続し、児童生徒の健やかな体の育成に努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	28
実施計画事業名	教育環境整備の充実		担当部署名	学務課 教育総務課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境が充実したまちを目指します。 児童・生徒数が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設や教育環境を継続的に整えます。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	印西市教育大綱 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基本方針 印西市学校施設長寿命化計画	
取組方針	教育環境整備の充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	1貧困をなくそう  4質の高い教育をみんなに  7エネルギーをみんなに そしてクリーンに  11住み続けられる まちづくりを 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援(就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) - 学校現場における適切な人材確保及び人員配置 - 小中学校が実施する修学旅行費の一部補助 - 印西市立小中学校への通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対し、定期乗車券分の全額補助	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援(就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) - 学校現場における適切な人材確保及び人員配置 - 小中学校が実施する修学旅行費の一部補助 - 印西市立小中学校への通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対し、定期乗車券分の全額補助	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援(就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) - 学校現場における適切な人材確保及び人員配置 - 小中学校が実施する修学旅行費の一部補助 - 印西市立小中学校への通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対し、定期乗車券分の全額補助
事業費	1,196,424千円	1,097,220千円	1,257,920千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-2	事務局費	通学支援に要する経費
	9-1-3	教育研究指導費	きめ細かな教育の充実事業
	9-2-1	学校管理費	小学校施設整備改修事業
	9-2-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業
	9-2-2	教育振興費	就学援助事業
	9-2-2	教育振興費	小学校修学旅行費補助事業
	9-3-1	学校管理費	中学校施設整備改修事業
	9-3-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業
	9-3-2	教育振興費	就学援助事業
	9-3-2	教育振興費	中学校修学旅行費補助事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・高花小学校校舎改修工事、原小学校体育館改修工事、大森小学校設計 ・牧の原小学校校舎増築 ・特別教室エアコン設置の教室(高花小学校3室) ・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給:387件、特別支援教育就学奨励費の支給:270件) ・学校現場における適切な人材確保及び人員配置 (学習指導員:52人、介助員:42人、日本語指導員:8人) ・小中学校が実施する修学旅行費の一部補助実績数 小学校18校、中学校9校 ・印西市立小中学校へ通学手段として路線バスを利用している児童及び生徒に対する補助実績数 33件	当初予算	1,196,424,000円
		予算現額	1,224,221,800円
		決算額	1,125,074,324円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	大規模改修及び設計実施数	件	目標値	2	3	3	3	3
			実績値	2	4	3		
	増築事業の実施件数	件	目標値	2	2	1	—	—
			実績値	2	2	1		
	小中学校特別教室エアコン設置の教室数	室	目標値	—	2	3	3	3
			実績値	—	7	3		
	特別支援教育支援員の配置人数	人	目標値	44	47	50	53	56
			実績値	40	41	42		
			目標値					
			実績値					
成果指標	改修実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	133	100		
	増築事業の進捗率	%	目標値	100	100	100	—	—
			実績値	100	100	100		
	特別教室エアコン設置率	%	目標値	—	100	100	100	100
			実績値	—	350	100		
	特別支援教育支援員の配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	90	87	84		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校施設の改修や学級増に対応した増築工事については、計画どおり実施した。また、就学援助等の経済的支援や介助員配置等の学校現場で必要とされる支援について適切に実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	印西市学校施設長寿命化計画に則り、計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。また、引き続き、児童・生徒の急増に対応するため校舎増築等の必要がある。就学援助等の経済的支援や介助員配置等の学校現場で必要とされる支援について継続的に実施する必要がある。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	29
実施計画事業名	学校の適正規模・適正配置の推進		担当部署名	学務課
事業の実施目的 及び概要	学校規模により生じる教育指導上及び学校運営上の課題を解消し、より良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、学校の適正規模・適正配置を推進します。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引(文部科学省) 第2期印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基本方針	
取組方針	学校の適正規模・適正配置の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 学校の適正規模・適正配置の推進 - 学校適正配置審議会の開催 - 保護者説明会等の実施	- 学校の適正規模・適正配置の推進 - 学校適正配置審議会の開催 - 保護者説明会等の実施	- 学校の適正規模・適正配置の推進 - 学校適正配置審議会の開催 - 保護者説明会等の実施
事業費	3,183千円	151千円	151千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-1-3	教育研究指導費	学校適正配置に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・学校適正配置審議会の開催(4回) ・住民説明会等の実施 ①原小学校校舎増築に伴う対応の経過報告等の説明会(1回) ②通学区域制度の弾力的運用に関する学校見学会の開催(7回)	当初予算	3,183,000円
		予算現額	3,183,000円
		決算額	2,125,121円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市学校適正配置審議会の開催回数	回	目標値	2	4	5	2	2
			実績値	6	8	4		
	保護者説明会等の開催	回	目標値	実施	実施	実施	実施	実施
			実績値	4	14	8		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	学校適正配置の推進		目標値	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠であるため、目標指標は設定しない。				
			実績値					
成果指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校適正配置審議会において、答申をいただいた第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針について、策定完了に向けてご意見をいただいた。原小学校校舎増築に伴う対応の経過報告を行った。また、通学区域制度の弾力的運用に関し、就学先の高花小学校・いには野小学校・本埜小学校・船穂小学校の見学会を行った。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠なため、目標は設定しない。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	小規模特認校制度の検証を行う。 大規模校については分離新設について検討を行う。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	策定完了した第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針に基づき、進捗管理を行う。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	30
実施計画事業名	情報化社会に対応した教育の推進		担当部署名	学務課 指導課
事業の実施目的 及び概要	国が提唱するGIGAスクール構想の実現に向け、情報化社会に対応した教育を実施するため、無線LANやパソコンなどのICT環境の整備を推進します。 また、研修等を通じた教員の ICT 活用指導力の向上や情報モラル教育等、ハード・ソフトの両面から情報教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画 印西市DX推進方針	
取組方針	情報化社会に対応した教育の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置 ・校内の無線LAN工事 ・校務用パソコン入替え	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・大型提示装置の整備(学級増分) ・ICT支援員の配置
事業費	977,468千円	228,745千円	228,745千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-1	学校管理費	小学校管理運営に要する経費
	9-2-2	教育振興費	小学校ICT環境整備事業
	9-3-1	学校管理費	中学校管理運営に要する経費
	9-3-2	教育振興費	中学校ICT環境整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	令和6年度の児童生徒増分として701台のパソコンを購入した。また、小中学校教室等へのLAN配線、無線アクセスポイント設置を行い、ICT環境の整備を推進した。 教科等の指導におけるICT活用や校務の情報化推進のための研修を行った。教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修などを開催し、26校の教員60名がプログラミング講座を受講した。	当初予算	977,468,000円
		予算現額	925,665,000円
		決算額	728,387,293円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	教育用パソコン整備台数	台	目標値	355	467	645	425	232
			実績値	770	332	701		
	ICT教員研修回数	回	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	22	20	19		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	教育用パソコン整備率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	ICT教員研修参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	96		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	教科等の指導におけるICT活用や校務の情報化推進に向けた研修を積極的に実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修などを開催し、26校の教員が受講した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	1人1台の児童生徒用パソコンを整備し、また、教員の研修等を実施し、授業におけるICT活用が図られ、子どもたちの情報教育の推進につながった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	情報教育の推進のため、引き続き、児童生徒増分のパソコン等の整備及びICT活用研修を実施する必要がある。 また、児童生徒用タブレットの更新時期を迎えることから、調達準備を進める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	31
実施計画事業名	信頼される学校づくり		担当部署名	指導課
事業の実施目的 及び概要	生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うため、安全に関する資質・能力を育てます。 また、社会に開かれた教育課程の実現に向け、家庭や地域に対してホームページや学校だより等を活用して、積極的に学校の状況を情報発信し、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	信頼される学校づくり			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全公立幼稚園・小中学校) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援
事業費	221,326千円	154,431千円	154,431千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-6-1	保健体育総務費	学校安全事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	- 交通安全教室は、感染対策を講じながら全校(小中学校27校)において実施することができた。 - 防犯教室は、感染対策を講じながら全園全校(公立幼稚園2校と小中学校27校)において実施することができた。 - 防犯ブザーについては、対象となる児童全員(1492名)に貸与した。 - 自転車通学用ヘルメットは、対象となる生徒全員(325名)に貸与した。 - メール配信システムを全校で随時活用し、不審者情報や緊急の連絡事項を迅速に配信した。 - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた、通学路点検の実施や関係各課・関係機関との連携により通学路89か所の改善(注意喚起の看板の設置、白線の引き直し、ガードレールの設置、信号点灯時間の調整等)を図った。 - 日本スポーツ振興センター災害給付制度に10679名の児童生徒が加入し、639件の請求に係る事務手続きを行った。 - 市内の全小中学校が学校ホームページを運営し、日常的に学校の様子を公開している。1校1日あたりのアクセス数は平均で1500件程度と、多く閲覧された。 - 交通パトロール・除草等の環境整備・読み聞かせ等の地域ボランティアの621名の保険加入をした。	当初予算	221,326,000円
		予算現額	226,669,000円
		決算額	201,076,565円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施校数	校	目標値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
			実績値	全小中学校	全小中学校	全小中学校		
	対象者への自転車通学用ヘルメットの貸与率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	メール配信システムの活用	回	目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	3,506	5,390	5,244		
	印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校	全小学校	全小学校		
	学校HPの更新		目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	随時	随時	随時		
成果指標	重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0		
	自転車通学時における重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0		
	メール配信システムへの登録率(家庭数)	%	目標値	95	95	95	96	96
			実績値	100	99	98		
	通学路の改善対応箇所(公表値)	箇所	目標値	7	7	20	20	20
			実績値	68	63	89		
	学校HPへの年間アクセス総数	件	目標値	360万	360万	600万	600万	600万
			実績値	1,010万	1,250万	1,560万		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も事業を継続し、児童生徒の安全を確保に努めるとともに、家庭や地域への積極的な情報発信をしていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	32
実施計画事業名	文化・芸術活動の推進		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	市民により豊かな心を育み生活に潤いをもたらしていただくことを目的とし、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を目標とします。文化・芸術振興のための施設整備や改修を計画的に行い、発表の場を確保するとともに、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、市民のニーズに合った文化・芸術活動の推進に取り組みます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	社会教育法、文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン	
取組方針	文化・芸術活動の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・印西まちなか音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者による管理運営
事業費	141,397千円	141,397千円	141,397千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-5-3	文化振興費	文化振興活動に要する経費
	9-5-6	文化ホール費	文化ホール運営事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・第28回印西市民文化祭及びオンライン文化祭を実施した。 ・芸術文化活動への共催・後援事業等支援を行った。 ・芸術文化振興に関する各種団体との連携及び自立した運営のための助言を行った。 ・第2回目となる「印西まちなか音楽祭」を実行委員会と共催で実施し、約21,500人の方々が来場した。 ・令和5年度より、文化ホールの管理運営は指定管理者となったことからモニタリングを行った。 ・文化ホール主催事業(自主文化事業)として、全25事業(鑑賞型12事業・育成7事業・普及育成2事業・創出4事業)を実施した。	当初予算	141,397,000円
		予算現額	140,340,000円
		決算額	138,496,765円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民文化祭への参加・出品募集の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4	4	4		
	市民文化祭開催の周知	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4		
	芸術文化活動への共催・後援の周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	文化ホール主催事業の広報・HP掲載	回	目標値	16	16	16	16	16
			実績値	22	32	47		
	文化ホール機関情報紙の発行	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	16		
成果指標	市民文化祭への参加・出品数	点	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	308	310	322		
	市民文化祭来場者数	人	目標値	1,200	1,250	1,300	1,350	1,400
			実績値	3,652	4,722	5,997		
	芸術文化活動への共催・後援数	件	目標値	5	10	15	20	25
			実績値	21	32	37		
	文化ホール利用率 (大森図書館除く)	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	43	59	54		
	チケット売上率(有料公演有効 チケット枚数に対する売上枚 数)	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	86	75	72		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市民に対し周知等を積極的に行い、目標値を上回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値を概ね上回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	継続し取り組んでいく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民文化祭、印西まちなか音楽祭及び文化ホール事業を実施し、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を継続し進めていく。 文化・芸術の発信拠点である、文化ホールの役割を果たすべく、事業を継続していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	33
実施計画事業名	文化財の保護・活用の推進	担当部署名	生涯学習課	
事業の実施目的 及び概要	地域に対する愛着心を醸成することを目的とし、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護や保存及び活用を進めます。先人の残した文化遺産である本市の歴史や文化財の価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、資料に触れる環境整備に努めます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	博物館法、文化財保護法、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例、印西市文化財保護条例、第2期印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン	
取組方針	文化財の保護・活用の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 4 質の高い教育を みんなに  11 安全で 住み続けられる まちづくりを			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・石造物調査の実施(印旛地区) ・仏像調査報告書(印旛地区)の調査整理 ・社寺建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ・有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の検討 ・木下交流の杜歴史資料センター集約化に伴う検討 ・歴史文化施設基本計画策定	・道作1号墳調査報告書の刊行 ・石造物調査の実施(印旛地区) ・仏像調査報告書(印旛地区)の調査整理 ・社寺建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ・有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の準備 ・木下交流の杜歴史資料センター集約化に伴う検討 ・歴史文化施設の基本設計	・石造物調査の実施(印旛地区) ・仏像調査報告書(印旛地区)の刊行準備 ・社寺建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ・有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の準備 ・木下交流の杜歴史資料センター集約化に伴う検討
事業費	37,514千円	104,597千円	156,616千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-3	文化振興費	文化財審議会運営に要する経費
	9-5-3	文化振興費	文化財保護調査事業
	9-5-3	文化振興費	資料整理保管に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史民俗資料館運営委員会に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館事業活動費
	9-5-7	資料館費	資料館運営事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・石造物調査(印旛地区) ・仏像調査報告書(印旛地区)の調書整理の実施 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業の実施 ・有形(10件)、無形(4件)文化財保護に対する補助 ・貝化石分類作業の実施 ・文化財等活用事業(道作古墳説明会2回、貝化石採取会1回)の実施 ・(仮称)印西市歴史文化施設基本計画の策定 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ①展示事業 常設展示を実施 ②資料の収集・整理保管事業 寄贈で224点を受け入れ、そのほかに収蔵資料の整理、資料くん蒸を実施 ③調査研究事業 石造物調査、市内出土埴輪調査、個人宅資料調査、民俗行事取材の実施 ④普及事業 体験講座4講座、資料館講座を1講座を実施し、94人の参加があった。 ・歴史民俗資料館研究紀要第6号刊行(400部) ・収蔵資料データベース化に向けて資料整理を実施した。 ・集約化の検討に伴い、収蔵資料数量を確認した。	当初予算	37,514,000円
		予算現額	38,166,000円
		決算額	30,614,139円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	調査報告書・パンフレットの刊行	部	目標値	600	600	600	3,300	600
			実績値	5,300	2,800	300		
	調査報告書・パンフレット刊行の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	1		
	文化財等活用事業の周知	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	5	4	7		
	歴史民俗資料館運営事業における利用資料数	点	目標値	300	300	300	300	300
			実績値	486	703	668		
	歴史民俗資料館企画展・講座、調査等実施回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	7	24	29		
成果指標	調査報告書・パンフレットの販売・配布数	冊	目標値	300	350	350	400	350
			実績値	1,300	1,400	1,400		
	文化財等活用事業参加者数	人	目標値	50	60	70	80	90
			実績値	140	80	135		
	歴史民俗資料館収集資料数	点	目標値	65,000	65,020	65,520	65,530	65,540
			実績値	65,503	65,509	65,733		
	歴史民俗資料館入館者数	人	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	842	751	794		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市内文化財の調査・保護・活用を進めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	34
実施計画事業名	市史編さん事業や地域史料の保存		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	市民の活動を記録した地域資料を次世代に引き継ぎ、郷土の歴史・文化への関心・理解・愛郷心の高揚を育むため、歴史的公文書の移管並びに歴史資料や古文書を収集し、整理・調査研究・保存に努めるとともに、その活用を図ります。 また、市史編さん事業の実施により、市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を順次刊行し、市民共有の財産として後世に継承します。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市史編さん事業基本方針、博物館法、文書管理法、公文書館法、国立公文書館法、第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	市史編さん事業や地域史料の保存			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 古文書等の収集・整理保管 - 歴史公文書の収集・整理保管 - 市史刊行事業の実施 - 市史(通史編(近現代)・市史研究誌刊行)、各専門部会の資料収集・調査、市史刊行物頒布 - 資料のくん蒸 - 市史編さん講演会等の実施 - 常設展示の一部展示替え - 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 - 資料館との集約化に伴う検討等	- 古文書等の収集・整理保管 - 歴史公文書の収集・整理保管 - 市史刊行事業の実施 - 近世資料編編集、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 - 資料のくん蒸 - 市史編さん講演会等の実施 - 常設展示の一部展示替え - 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 - 資料館との集約化に伴う検討等	- 古文書等の収集・整理保管 - 歴史公文書の収集・整理保管 - 市史刊行事業の実施 - 近世資料編編集、各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 - 資料のくん蒸 - 市史編さん講演会等の実施 - 常設展示の一部展示替え - 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 - 資料館との集約化に伴う検討等
事業費	21,717千円	17,500千円	17,500千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-7	資料館費	市史刊行事業
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター事業活動費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター運営事務に要する経費
	9-5-7	資料館費	市史編さん委員会運営に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	- 古文書等の収集・整理保管を実施した。 - 令和6年3月現在総数 寄託49件約34,000点、寄贈130件約3,300点、移管1件10点、購入4件415点、収集地域情報紙253点、広告986点、新聞7,844点 - 歴史公文書の収集・整理保管を実施した。 - 令和5年度収集文書保存箱64箱、行政資料292件 - 市史(通史編(近現代))を刊行した。(500部) - 各専門部会の資料収集・調査を実施した。近現代部会:山田・圓天寺古文書調査、近世部会:市保管古文書調査、中世部会:龍腹寺・龍腹寺境内出土石板碑調査 - 市史刊行物頒布を実施した。(販売数185冊) - 令和4年度受け入れ資料等のくん蒸及び収蔵・展示環境調査を実施した。 - 木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営を実施した。 - 資料館との集約化については、(仮称)印西市歴史文化施設基本計画策定の中で検討した。	当初予算	21,717,000円
		予算現額	21,615,000円
		決算額	15,136,825円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市史編さん委員会の開催	回	目標値	2	2	3	3	3
			実績値	2	2	3		
	専門部会の開催(原始・古代)	回	目標値	—	—	—	—	2
			実績値	—	—	—		
	専門部会の開催(中世)	回	目標値	2	4	4	4	4
			実績値	2	1	2		
	専門部会の開催(近世)	回	目標値	3	3	4	4	4
			実績値	0	1	2		
	専門部会の開催(近・現代)	回	目標値	3	6	3	—	—
			実績値	4	3	4		
成果指標	市史刊行物等の頒布	部	目標値	58	59	61	62	62
			実績値	59	60	63		
	市史編さん講演会等の参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	35	70	0		
	木下交流の杜歴史資料センターの来所者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,833	3,174	3,495		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値を上回った指標があった一方、目標値に満たない指標があった。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値を上回った指標があった一方、目標値に満たない指標及び実施できなかった指標があった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標値を上回る指標があった一方、目標値に満たない指標、実施できなかった指標があった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	目標値に満たなかった指標、実施できなかった指標について目標値を達成できるよう努める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	35
実施計画事業名	多様な学習機会の提供		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	市民の関心や参加意欲の向上を目指し、市民アカデミーや出前講座で市民の学習に対するニーズや年齢層に合わせた多種多様な学習機会を提供するとともに、様々な生涯学習の取り組みに参加できるよう、生涯学習情報の収集に努め、生涯学習ガイドやホームページによる情報提供の充実を図ります。 また、大学や企業などとの連携・協力した事業を展開し、市民の学習機会の拡充を図ります。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	第2期印西市教育振興基本計画	
取組方針	多様な学習機会の提供			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 生涯学習ガイドの発行 - ホームページによる情報提供 - 生涯学習講師、指導者情報の充実 - 印西市民アカデミーの実施 - 出前講座の実施 - 高等教育機関等との連携した事業の実施 - 社会教育関係団体の支援	- 生涯学習ガイドの発行 - ホームページによる情報提供 - 生涯学習講師、指導者情報の充実 - 印西市民アカデミーの実施 - 出前講座の実施 - 高等教育機関等との連携した事業の実施 - 社会教育関係団体の支援	- 生涯学習ガイドの発行 - ホームページによる情報提供 - 生涯学習講師、指導者情報の充実 - 印西市民アカデミーの実施 - 出前講座の実施 - 高等教育機関等との連携した事業の実施 - 社会教育関係団体の支援
事業費	646千円	646千円	646千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-1	社会教育総務費	生涯学習推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・生涯学習ガイドを300部発行し、市内各施設(支所・公民館・保育園・幼稚園・小中学校・コミュニティセンター等)に配置するとともにホームページにも掲載した。また、講師、指導者が公開しているホームページ情報なども追加し、内容の充実を図った。 ・出前講座は回覧・広報等により、周知に努め昨年度より申込数は増加したものの、利用者は減少した。 ・市民アカデミーは学習プログラムの見直し、新型コロナウイルスの影響により、一部プログラムを変更したが、1年生12人・年間24回、2年生12人・年間7回実施することができた。 ・順天堂大学生涯学習公開講座で4講座を実施し、21組55名が参加した。また、市民アカデミーでもオープンキャンパスに12人が参加した。 ・社会教育関係団体の活動事業に対し後援支援を行った。(27事業)	当初予算	646,000円
		予算現額	646,000円
		決算額	568,264円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	生涯学習ガイドの広報での周知回数	回	目標値	—	—	2	2	2
			実績値	—	—	2		
	出前講座講座数	件	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	64	63	60		
	市民アカデミー開催数	回	目標値	76	76	76	76	76
			実績値	25	30	31		
	高等教育機関等との連携した講座数	件	目標値	4	5	5	6	6
			実績値	4	5	5		
			目標値					
			実績値					
成果指標	出前講座利用申込数	件	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	31	53	57		
	出前講座利用人数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	419	928	848		
	市民アカデミー参加人数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	46	26	24		
	生涯学習ガイドのホームページアクセス数	件	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	1,262	2,088	2,506		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市民アカデミーは学習プログラムの見直しを図ったため回数における目標値と実績値では乖離が生じたものの、安定したプログラムで実施できた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	出前講座の利用人数は回復傾向にあるものの、参加者は前年と比較すると減少し、利用年層も偏りが出てしまった。内容のブラッシュアップを図り、幅広い年齢層から利用してもらえる事業としたい。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	全体的には目標値を下回る結果となったが、回復傾向は見受けられるため、改善に向けた方策を研究していきたい。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民アカデミーは生涯学習の起点でもあるリカレント教育の場であり、欠かす事の出来ない事業である。また、出前講座や生涯学習ガイドは、自分や仲間内で学びの機会のきっかけとなるため、今後も内容の充実に対して検討を進めていきたい。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	36
実施計画事業名	図書館サービスの充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	市民の読書活動や学習活動を推進し、また、地域における情報やコミュニティの拠点として市民生活に役立つ施設となるよう、従来の来館型サービスの他、電子書籍の導入など非来館型サービスの充実を図り、図書館の利用を促進します。 また、利用しやすい環境整備に努めるため、施設整備のあり方などについて調査・研究します。 さらに、読書活動を深める機会の提供や読書環境の整備・充実に努め、子どもの読書活動を推進します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	図書館法、印西市立図書館設置条例及び同条例施行規則、第2期印西市教育振興基本計画、印西市子ども読書活動推進計画(第四次)、印西市公共施設等総合管理計画、印西市DX推進方針	
取組方針	図書館サービスの充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 資料の収集・管理及び提供 - ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 - 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 - 子どもの読書活動推進 - 小林図書館保全改修工事 - 小倉台図書館保全改修工事基本設計・実施設計 - ふれあいセンターいんば大規模改修工事設計(印旛図書館) - 図書館サービスに関する方針・計画の策定	- 資料の収集・管理及び提供 - ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 - 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 - 子どもの読書活動推進 - 小倉台図書館保全改修工事基本設計・実施設計 - ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館) (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書の貸出窓口の準備	- 資料の収集・管理及び提供 - ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 - 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 - 子どもの読書活動推進 - 小倉台図書館保全改修工事 - ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事(印旛図書館) (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設内に設置する図書の貸出窓口運用開始
事業費	134,991千円	147,661千円	631,679千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	9-5-5	図書館費	図書館協議会運営に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館運営事務に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館施設管理に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書資料の整備に要する経費
	9-5-5	図書館費	小倉台図書館立替償還金

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	- 資料の収集・管理及び提供を行った。 - 電子書籍を新たに278タイトル提供し、非来館型サービスの充実を図った。 - 子ども読書活動推進計画(第四次)に基づき児童書の収集や児童向けの事業等の実施。 - ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上を図った。 - 小林コミュニティプラザの保全改修工事を令和4年10月1日から令和5年9月30日まで実施し、小林図書館は10月1日より再開館した。 - 小倉台図書館保全改修工事の基本設計・実施設計を行った。 - 施設の改修工事設計に伴い、印旛図書館・本埜図書館の改修工事内容を検討した。 - 図書館の運営のあり方について、図書館協議会から答申をいただき、「印西市立図書館の運営基本方針」及び「印西市立図書館サービス計画」を定めた。 - 民話絵本の作成のため、印西市民話絵本作成活用検討会を開き、内容等について検討した。	当初予算	134,991,000円
		予算現額	131,791,000円
		決算額	120,878,129円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	図書資料受入点数	点	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	10,406	10,033	11,496		
	内児童資料受入点数	点	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	2,075	1,976	2,664		
	資料予約件数	件	目標値	127,000	127,100	127,200	127,300	127,400
			実績値	142,754	142,449	156,685		
	電子書籍受入点数	点	目標値	300	350	400	450	500
			実績値	350	295	278		
			目標値					
			実績値					
成果指標	個人貸出点数	点	目標値	820,000	820,500	821,000	821,500	822,000
			実績値	839,613	814,954	845,338		
	内児童資料貸出点数	点	目標値	320,000	320,200	320,400	320,600	320,800
			実績値	349,754	346,295	360,201		
	レファレンス件数 ※レファレンス-調べものを支援 するサービス	件	目標値	25,000	25,100	25,200	25,300	25,400
			実績値	17,970	18,873	19,766		
	電子書籍貸出点数	点	目標値	1,000	1,150	1,200	1,350	1,500
			実績値	1,395	988	1,610		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も図書館サービスの充実として継続して実施する。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	37
実施計画事業名	生涯学習施設の整備・充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	子どもから高齢者まで市民一人ひとりの多様な学習活動の実践や参画を側面から支援し、自己実現につながる生涯を通じて学習できるまちづくりを推進していきます。 そのためには、多様化する市民ニーズに対応した学習機会を提供するため、各公民館等では年齢層等に対応した事業や地域の特性を生かした事業を展開するとともに、学習の場を提供するため、だれもが安全で安心して快適に施設を使用するため、適正な施設機能の確保に努めていくこととします。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 印西市立公民館の設置及び管理に関する条例及び規則 印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 第2期印西市教育振興基本計画等	
取組方針	生涯学習施設の整備・充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・小林公民館保全改修工事 ・小林公民館保全改修工事監理業務委託 ・本埜公民館保全改修工事 ・本埜公民館保全改修工事監理業務委託	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・本埜公民館保全改修工事 ・本埜公民館保全改修工事監理業務委託	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象)及び共催事業の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・中央駅前地域交流館及び(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の指定管理者による管理運営
事業費	827,072千円	972,705千円	505,512千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	9-5-4	公民館費	公民館運営審議会運営費
	9-5-4	公民館費	中央公民館運営事務に要する経費、小林公民館運営事務に要する経費、そうふけ公民館運営事務に要する経費、印旛公民館運営事務に要する経費、本埜公民館運営事務に要する経費、中央駅前地域交流館運営事務に要する経費
	9-5-4	公民館費	中央公民館事業活動費、小林公民館事業活動費、そうふけ公民館事業活動費、印旛公民館事業活動費、本埜公民館事業活動費、中央駅前地域交流館事業活動費
	9-5-4	公民館費	中央公民館施設管理に要する経費、小林公民館施設管理に要する経費、そうふけ公民館施設管理に要する経費、印旛公民館施設管理に要する経費、本埜公民館施設管理に要する経費、中央駅前地域交流館施設管理に要する経費
	9-5-4	公民館費	ふれあい文化館立替償還金

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・公民館等主催事業(子ども対象事業、大人対象事業等)の実施 ・子ども対象事業 38事業 12,926人 ・大人対象事業 35事業 3,158人 ・共催事業 4事業 153人 ・団体育成事業の実施 131団体 ・個人学習事業の実施 3,602人 ・貸館事業の実施 169,352人 ・施設維持管理事業(中央公民館 4,306,280円 印旛公民館 813,910円) ・小林公民館保全改修工事 287,500,000円(令和4・5年度継続) ・小林公民館保全改修工事監理業務委託 6,050,000円(令和4・5年度継続) ・本埜公民館保全改修工事 94,800,000円(令和5・6年度継続) ・本埜公民館保全改修工事監理業務委託 4,603,500円(令和5・6年度継続)	当初予算	827,072,000円
		予算現額	803,922,000円
		決算額	533,617,655円
		翌年度繰越額	222,236,500円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	主催事業実施数	事業	目標値	70	75	70	75	80
			実績値	51	67	77		
	公民館定期利用団体数(利用者登録団体)	団体	目標値	230	240	240	240	240
			実績値	136	133	131		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	主催事業参加者数	人	目標値	24,000	24,000	23,800	24,700	25,000
			実績値	11,838	15,241	16,237		
	公民館利用者数(延べ総数)	人	目標値	200,000	226,000	220,000	235,000	242,000
			実績値	111,626	152,964	189,191		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	事業を順調に実施したものの、その事業体験をきっかけとしたサークル立ち上げには至らず、既存サークルの解散も見られ団体数は減少した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	一部の公民館で改修工事があり利用できない時期もあったが、他館の利用を促すなど、事業参加者数及び利用者数は共に昨年度より増えたが、目標値には届かなかった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	事業への参加者数や公民館利用者数は目標値に届かなかったものの増加傾向にあることから、今後も継続した事業を行っていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	より魅力的な事業の企画や、その周知方法を検討し実施する。より多くの市民に事業へ参加いただくことや公民館利用団体への支援が、新たなサークル立ち上げのきっかけや既存団体活動の活性化へつながるよう努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	38
実施計画事業名	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	子どもたちを地域ぐるみで守り育てるために、学校・家庭・地域との連携を図り、青少年の健全な育成にむけた活動を行います。 また、家庭における教育力の向上を目指し、市内公立幼稚園・小中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 第2期印西市教育振興基本計画 新・放課後子ども総合プラン 次世代育成支援対策推進法他	
取組方針	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の検討 ・二十歳を祝う会の開催	・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の検討 ・二十歳を祝う会の開催	・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の検討 ・二十歳を祝う会の開催
事業費	9,111千円	9,111千円	10,831千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	9-5-2	青少年対策費	青少年相談員運営に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	青少年対策事業活動費
	9-5-2	青少年対策費	家庭教育学級事業
	9-5-2	青少年対策費	二十歳を祝う会に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	放課後子ども教室に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・こども110番の看板・ステッカーの配布を行った。 ・社会を明るくする運動青少年健全育成大会は若者が犯罪に巻き込まれる実情について講演をいただいた。 ・青少年相談員連絡協議会事業、地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業及び家庭教育学級事業の活動支援として補助金を交付した。 ・家庭教育学級について必修学級28学級、任意開設の学年学級6学級を開設した。各学級3～5回程度の学習会を開催し、1375名が参加した。 ・放課後子ども教室については滝野小学校48人、本埜小学校24人で開設し、計20回実施し、延べ72人が参加した。 ・二十歳を祝う会を開催し、716名が参加した。	当初予算	9,111,000円
		予算現額	9,111,000円
		決算額	7,531,887円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	放課後子ども教室開催数	回	目標値	24	36	36	36	36
			実績値	16	20	20		
	家庭教育学級講座開催総数	回	目標値	270	270	270	270	270
			実績値	95	147	147		
	家庭教育学級開設学級数	学級	目標値	42	42	42	42	42
			実績値	33	33	34		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	こども110番協力家庭・事業所数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,466	1,543	1,601		
成果指標	放課後子ども教室参加児童数	人	目標値	90	110	110	110	110
			実績値	62	81	72		
	家庭教育学級講座参加者数	延べ人数	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値	1,051	1,557	1,375		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値には到達出来なかった項目については、それぞれの事業において活動の活性化に向けた工夫と関係者の理解が必要である
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標を上回る成果を果たした項目もあるが、それ以外の活動については活動の活性化に向けた創意工夫と関係者の理解が必要
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標値には到達出来なかった項目については、それぞれの事業において活動の活性化に向けた工夫と関係者の理解が必要である

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成の推進を図るため、事業を継続する。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	39
実施計画事業名	農業の担い手の確保		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐため、関係団体と連携を図り、意欲ある担い手への優良農地の利用集積を進めます。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農地中間管理事業の推進に関する法律 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	担い手の確保			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 新規就農者への支援 - 農業版ハローワーク事業 - 農地中間管理事業	- 新規就農者への支援 - 農業版ハローワーク事業 - 農地中間管理事業	- 新規就農者への支援 - 農業版ハローワーク事業 - 農地中間管理事業
事業費	12,030千円	12,030千円	12,030千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	5-1-3	農業振興費	新規就農促進事業
	5-1-3	農業振興費	農地中間管理事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・新規就農者への資金交付 2経営体(うち夫婦型0経営体) ・経営発展支援事業補助金 2経営体 ・農業版ハローワーク事業研修2回 新規求人登録者 0名 新規求職登録者 4名 ・農地中間管理事業(農地中間管理機構による貸借) 借受面積 4.4ha 転貸面積 4.4ha	当初予算	12,030,000円
		予算現額	10,773,000円
		決算額	10,219,500円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	農業次世代人材投資資金事業の周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	—	—	—
	新規就農者育成総合対策の周知	回	目標値	—	—	1	1	1
			実績値	—	—	1		
	農業版ハローワーク事業に係る研修会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	農地中間管理事業の周知	回	目標値	1	1	5	5	5
			実績値	5	5	4		
			目標値					
			実績値					
成果指標	農業次世代人材投資資金交付者数	延べ経営体数	目標値	11	12	13	14	15
			実績値	11	11	—	—	—
	新規就農者への資金交付数	延べ経営体数	目標値	—	—	13	14	15
			実績値	—	—	12		
	農業版ハローワーク事業の求職登録者数	人数	目標値	40	42	52	54	56
			実績値	50	59	60		
	農地中間管理事業のマッチング面積	延べ面積(ha)	目標値	70	71	82	83	84
			実績値	81	84	88		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐには、新規就農者対策や農地の集積・集約化対策が必要であり、各種事業を実施していくことで、その対策に取り組んでいく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	40
実施計画事業名	農業経営への支援		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	農業経営の安定化を図るため、認定農業者や新規就農者等の担い手に対する栽培施設整備等への支援を行います。 また、農作物被害の防止対策、主食用米の需給バランスを図るための新規需要米等への作付け、家畜の疾病問題等の経営環境面の改善や畜産物の品質向上への支援を行います。			
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業経営への支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	2 気候変動に 適応する 8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう 15 陸の豊かさも 守ろう			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・家畜伝染病予防事業 ・営農継続特別給付金事業	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・家畜伝染病予防事業	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・家畜伝染病予防事業
事業費	288,378千円	167,547千円	167,547千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	5-1-3	農業振興費	園芸振興事務に要する経費
	5-1-3	農業振興費	植物防疫事業
	5-1-3	農業振興費	多目的水田農業推進事業
	5-1-3	農業振興費	農業経営基盤強化促進事業
	5-1-3	農業振興費	営農継続特別給付金事業
	5-1-4	畜産業費	家畜防疫事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・認定農業者・認定新規就農者連絡会議の開催 1回 ・認定農業者に係る農業経営改善計画認定申請書作成会の開催13回 ・農業用廃プラスチック対策推進事業 処理量7.31t ・園芸産地生産力強化支援事業 2経営体 ・気象災害に強い果樹産地支援事業補助金 4経営体 ・担い手水田利活用高度化対策事業 3経営体 30.17ha ・農業制度資金利子補給 1件 ・飼料用米等生産支援事業 249件 ・植物防疫事業 1,324.7ha ・家畜伝染病予防事業 予防接種77頭(牛47・豚30)、防疫資材配布 ・営農継続特別給付金交付 465経営体	当初予算	288,378,000円
		予算現額	237,834,000円
		決算額	231,478,416円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	飼料用米取組への周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	飼料用米取組面積	ha	目標値	65	71	71	71	71
			実績値	534	646	—	—	—
	飼料用米取組目標面積達成率	%	目標値	—	—	90	90	90
			実績値	—	—	133		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業者の農業経営の安定化等を図るため、引き続き各種事業を実施することにより栽培施設の整備や経営環境面の改善、畜産物の品質向上への支援を行っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	41
実施計画事業名	農業生産基盤の整備		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、関係団体と連携を図りながら、土地改良施設の改修や農地の面整備等を行う土地改良事業実施主体への支援等により、農業生産基盤の整備に努めます。			
関連施策	【3-1】 農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業生産基盤の整備			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業 ・飛里橋落し排水路の整備及び維持管理(土地改良施設維持管理適正化事業等)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・飛里橋落し排水路の整備及び維持管理(土地改良施設維持管理適正化事業等)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・飛里橋落し排水路の整備及び維持管理(土地改良施設維持管理適正化事業等)
事業費	105,978千円	136,980千円	147,234千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	5-1-5	農地費	農地事務に要する経費
	5-1-5	農地費	土地基盤整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)に係る国等との連絡調整 ・国営印旛沼二期土地改良事業に係る国等との連絡調整 ・小規模土地改良事業補助 13経営体 3土地改良区 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)	当初予算	105,978,000円
		予算現額	106,406,000円
		決算額	65,911,865円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	小規模土地改良事業補助金の周知	回	目標値	2	2	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	小規模土地改良事業実施率	%	目標値	80	80	90	90	90
			実績値	99	99	68		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	周知を実施したものの、目標を下回る成果となった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	周知を実施したものの、目標を下回る成果となった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、引き続き、各種事業による支援等を行い、農業生産基盤の整備に努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	42
実施計画事業名	農林業を通じた地域振興		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	市民の農業への理解と関心を高めるため、農業に親しむ機会を設けるとともに、地元農産物の消費拡大や安全・安心な農産物づくりに関わる取組を支援します。 また、農村環境を保全するため、農地や用排水施設の管理活動や森林の保全に取り組む活動に対し支援等を行います。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	
取組方針	農林業を通じた地域振興			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・いんざいふるさと産業まつりの開催 ・ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ・農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・いんざいふるさと産業まつりの開催 ・ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ・農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・いんざいふるさと産業まつりの開催 ・ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ・農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業
事業費	46,861千円	46,861千円	46,861千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大業予算)
	5-1-3	農業振興費	多面的機能・環境保全向上対策事業
	5-1-3	農業振興費	ふるさと産業まつりに要する経費
	5-1-3	農業振興費	ふるさと農園振興事業
	5-1-3	農業振興費	地産地消推進事業
	5-2-1	林業振興事務に要する経費	林業振興事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・多面的機能支払交付金 13団体 52,800a ・環境保全型農業直接支援対策事業補助金 1団体 57a ・草深ふるさと農園全284区画を貸出し ・農業体験教室の実施 ミニトマト栽培 263人(4小学校) イモ植付体験(2保育園、2幼稚園、1小学校、1教育センター) イモ収穫体験(4保育園、2幼稚園、8小学校、1教育センター) ・印西農産物地産地消推進事業補助 2経営体 ・産業まつり来場者数 約25,000人 ・林業体験教室(1小学校、1教育センター) ・県単森林整備事業補助 2件、0.2ha	当初予算	46,861,000円
		予算現額	42,927,000円
		決算額	41,612,211円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	多面的機能支払交付金事業の周知	回	目標値	1	1	3	3	3
			実績値	4	4	4		
	ふるさと農園の利用案内	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	農業体験教室の開催 (ミニトマト・イモ収穫体験)	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3	2	2		
	ちばエコ農業の啓発	回	目標値	1	1	2	2	2
			実績値	2	2	2		
			目標値					
			実績値					
成果指標	多面的機能支払交付金事業活動団体数	団体数	目標値	11	12	13	14	15
			実績値	12	12	13		
	ふるさと農園利用率	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100	100	100		
	農業体験教室の参加人数 (ミニトマト・イモ収穫体験)	人	目標値	400	700	700	700	700
			実績値	976	1,074	1,055		
	ちばエコ農産物認証件数	件	目標値	20	21	22	23	24
			実績値	22	17	24		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民の農業への理解と関心や農村環境を保全していくために、引き続き、農林業の各種事業に取り組んでいく。□

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	43
実施計画事業名	商工業の活性化		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	企業経営の安定化、事業継続などが図られるよう市商工会などの関係機関との連携により、企業への支援事業を推進します。また、企業の設備投資や事業の拡大などに向けて、制度融資や利子補給などの経済的支援を行います。 さらに、地域の活性化を図るため、市にゆかりのある地元産品や特産品などを開発するために必要な支援を行います。			
関連施策	【3-2】商工業の振興	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画	
取組方針	商工業の活性化/新たな地元産品の開発の支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知
事業費	41,428千円	41,428千円	41,428千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業
	6-1-2	商工振興費	中小企業資金融資事業
	6-1-2	商工振興費	キャッシュレス決済ポイント還元事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・市内商工業の総合的な改善発達を図るため、商工会の運営及び事業に要する経費の一部を補助した。 ・中小企業者の振興に資するため、資金融資のあっせん和利子補給により中小企業者を支援した。 ・いんざいふるさと地元産品をHP等で周知を図り、新たな産品を追加した。 ・地域経済や市内事業者を支援するため、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施した。	当初予算	41,428,000円
		予算現額	155,713,000円
		決算額	151,426,430円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	融資についての記事を広報紙・HPに掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	5	5	7		
	いんざいふるさと地元産品の広報紙・HP掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1	1	8		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	中小企業資金融資利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	28	25	19		
	小規模事業者経営改善利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	39	27	34		
	商工会経営指導員による相談及び指導	回	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
			実績値	1,868	1,821	1,914		
	いんざいふるさと地元産品の新規登録数	件	目標値	—	—	1	1	2
			実績値	—	—	2		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、関係機関と連携し、商工業の改善発達及び中小企業の経営の安定化、事業継続を図っていく。また、市にゆかりのある地元産品を積極的にPRし、商工業の活性化を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	44
実施計画事業名	創業・起業の支援と企業誘致		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	県や商工会、大学などの関係機関と連携し、創業・起業希望者に対して創業セミナーや相談事業などを行い、市内への創業・起業を促進します。また、成田国際空港や都心などへのアクセス性や安全性など地理的優位性を積極的にPRし、誘致活動を推進します。			
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	創業支援等事業計画	
取組方針	企業誘致の実施/創業・起業の支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催 ・創業支援資金利子補給 ・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR ・優良企業への誘致活動	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催 ・創業支援資金利子補給 ・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR ・優良企業への誘致活動	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの共催 ・創業支援資金利子補給 ・アクセス性や安全性など地理的優位性のPR ・優良企業への誘致活動
事業費	91,977千円	91,977千円	91,977千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大業予算)
	6-1-2	商工振興費	中小企業資金融資事業
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業
	6-1-2	商工振興費	企業誘致推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・創業、起業希望者に対して創業セミナーや相談事業を実施し、市内の創業、起業を支援した。(いんざい創業塾・創業支援セミナー) ・市内において創業しようとする者を支援するため、株式会社日本政策金融公庫から新創業融資制度による資金の融資を受けた市内の事業者に対し、利子補給を実施した。 ・印西市の産業動向に係る、現状と今後の方向性を把握・整理するとともに、企業からみた印西市に進出する魅力や企業立地に関する考え方を把握し、今後の企業立地の方向性を検討することを目的に産業動向基礎調査を実施した。 ・県外大手民間事業者及び報道機関に対し、市の地理的優位性等のPRを行った。	当初予算	91,977,000円
		予算現額	91,977,000円
		決算額	87,322,563円
		翌年度繰越額	-

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの周知	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	5	9		
	地理的優位性をPR	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	0	5	7		
	優良企業への誘致活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2	4	6		
			目標値					
			実績値					
成果指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの参加人数	人	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	6	17	24		
	創業支援資金利子補給	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	3	3	2		
	創業についての相談及び指導	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	31	110	133		
	新規企業数(経済振興課調べ)	社	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	152	139	139		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	・セミナー参加者の増加を図るための更なる周知を図っていく。 ・利子補給対象期間満了に伴い、件数が減少したため
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	・セミナー参加者の増加を図るための更なる周知を図っていく。 ・利子補給対象期間満了に伴い、件数が減少したため

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、新たな創業支援策を検討しつつ、創業支援事業計画に基づく創業支援策(創業セミナー・創業ワンストップ相談窓口の設置等)を実施し地域に密着した創業者を増やし、地域経済の活性化を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	45
実施計画事業名	就労支援の充実		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	ハローワーク成田などの関係機関との連携を図るとともに、本市の就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」などの就労に関する情報提供の充実を図ります。また、若者、女性、高齢者、障がいのある人等、誰もがそれぞれの意欲や能力を生かしライフスタイルに合わせて働くことができるように、ワークライフバランスや働き方改革について、市民及び企業に意識啓発を図ります。			
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画 創業支援等事業計画	
取組方針	就労支援の充実/働きやすい環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 就労に関する情報提供 - 就労セミナーの開催 - 就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 - ワークライフバランスや働き方改革についての周知	- 就労に関する情報提供 - 就労セミナーの開催 - 就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 - ワークライフバランスや働き方改革についての周知	- 就労に関する情報提供 - 就労セミナーの開催 - 就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 - ワークライフバランスや働き方改革についての周知
事業費	13,712千円	13,712千円	13,712千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・就労支援サイト「いんざいお仕事探ナビ」を活用した求人情報の発信やハローワークと連携した求人情報(月2回更新)を公共施設の窓口で提供した。 ・若年(15歳～44歳まで)者を対象とした求職者就職活動相談会を開催を企画した。(ジョブカフェちばカウンセラー派遣事業・千葉県と市の共催) ・女性や中高年齢者の再就職の促進及び就職後の職場定着を図るため、再就職セミナーを開催した。(ジョブサポートセンター事業・千葉県と近隣市共同共催) ・働くことに悩みを抱えている若者を対象に就労に向けた支援を実施。(地域若者サポートステーション・厚生労働省と市の共催・月2回開催) ・ワークライフバランスの推進を図るため、セミナーを開催した。	当初予算	13,712,000円
		予算現額	13,712,000円
		決算額	11,003,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労支援セミナー開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	3	3		
	就労支援に関する情報提供	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	48	48	48		
	ワークライフバランスや働き方改革についてのセミナー開催回数	回	目標値	—	1	1	1	1
			実績値	—	0	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労支援セミナー参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	35	53	98		
	新規就労支援サイト登録事業所数	事業所	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	46	26	44		
	ワークライフバランスや働き方改革についてのセミナー参加者数	人	目標値	—	20	20	20	20
			実績値	—	0	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	セミナー参加者の周知に努める。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、就労支援に関する情報の提供や就労支援セミナーの充実を図るとともに、ワークライフバランスや働き方改革についても、市民や企業等に対し意識啓発を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	46
実施計画事業名	シティプロモーションの推進		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	地域の貴重な財産である人や自然、文化、産業、都市基盤などの「まちの魅力」を磨き上げるとともに、新たな魅力を創出することにより、選び続けてもらうためのまちづくりを行います。また、効果的かつ積極的に市内外にプロモーションしていくことで、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」につなげていきます。			
関連施策	【3-4】 定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市シティプロモーションプラン	
取組方針	シティプロモーションの推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・シティプロモーションプランの進行管理 ・ふるさと納税を活用した市のPR ・プロモーションイベントの実施 ・市内外イベントでのプロモーションの実施 ・市のマスコットキャラクターによるPR ・シティプロモーション効果検証に係るWEB調査	・シティプロモーションプランの進行管理 ・PR動画制作業務 ・ふるさと納税を活用した市のPR ・プロモーションイベントの実施 ・市内外のイベントでのプロモーションの実施 ・市のマスコットキャラクターによるPR	・シティプロモーションプランの進行管理 ・PR動画制作業務 ・ふるさと納税を活用した市のPR ・プロモーションイベントの実施 ・市内外のイベントでのプロモーションの実施 ・市のマスコットキャラクターによるPR
事業費	95,252千円	111,975千円	111,975千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-6	企画費	シティプロモーションに要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	シティプロモーションプランに基づき、以下のような各種プロモーション事業を実施した。 市内外へのプロモーションとして、イルミネーションイベント「イルミライ★INZAI」の実施や、各種イベントでの市のPR、いんざい君グッズの販売等を行った。 また、順天堂大学とプロモーションに関する連携の一環として、広告に関する契約を締結し、同大学陸上競技部男子駅伝チーム、体操競技部男子チーム女子チームのユニフォーム等に印西市のロゴを表示し、市のPR、知名度向上を図った。 ふるさと納税では、新規ポータルサイトでのPRを行うことで、寄付件数、寄付額を増やすことができた(2,088件→2,261件、44,727,000円→68,066,080円)。 シティプロモーションの効果検証として、市の認知度や魅力などについてのWEB調査を実施した。	当初予算	95,252,000円
		予算現額	95,252,000円
		決算額	83,797,171円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	マスコミへの情報提供	件	目標値	60	63	66	69	72
			実績値	53	76	85		
	ふるさと納税返礼品目数	件	目標値	30	32	43	45	47
			実績値	45	52	63		
	プロモーション事業数	件	目標値	10	12	14	16	18
			実績値	11	13	15		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	ふるさと納税件数	件	目標値	744	772	805	844	890
			実績値	700	2,088	2,261		
	シティプロモーション専用ホームページアクセス数	件	目標値	160,000	170,000	90,000	—	—
			実績値	181,551	74,106	71,492		
	シティプロモーションに関する市ホームページアクセス数	件	目標値	—	—	90,000	190,000	200,000
			実績値	—	—	69,957		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	シティプロモーション専用ホームページについては、契約終了に伴い令和3年度以降は新規コンテンツがないため、目標を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	シティプロモーションプランに沿い、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」を目指し、引き続き効果的なプロモーション活動を推進していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	47
実施計画事業名	国際化の推進		担当部署名	企画政策課
事業の実施目的 及び概要	外国人を含めたすべての市民が互いの文化や価値観を受け入れ、理解しあいながら、ともにいきいきと暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていくため、日本人の多文化共生意識の醸成や外国人が安心して暮らせる取組等を推進します。			
関連施策	【3-4】 定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市国際化推進方針	
取組方針	国際化の推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援 ・外国人市民意識調査の実施	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援 ・国際化推進方針の改訂
事業費	2,341千円	4,501千円	2,341千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-6	企画費	国際化推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・国際化推進懇談会を2回開催した。 ・多様な市民を対象とした異文化理解講座を開催した。 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援をした。 ・外国人市民相談(予約制)を3回実施した。 ・外国人市民への生活・行政情報の提供として、NEWSLETTERを発行するとともに広報にて「外国人のみなさんへ」を掲載するほか、市HPにて情報提供をした。 ・日本語教室の活動支援をした。	当初予算	2,341,000円
		予算現額	2,341,000円
		決算額	2,247,618円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	国際化推進懇談会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2		
	異文化理解講座の開催	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	6	10		
	職員研修の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	外国人相談の開催周知	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	NEWSLETTER及び「外国人のみなさんへ」の発行	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24		
成果指標	異文化理解講座の参加者数	延べ人数	目標値	170	170	170	170	170
			実績値	371	218	289		
	職員研修の参加者数	延べ人数	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	28	26	25		
	国際理解・交流事業の参加者数	延べ人数 (語学講座は 実数)	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	288	250	302		
	NEWSLETTERの配布・閲覧件数	件	目標値	2,400	2,410	2,420	2,430	2,440
			実績値	2,955	3,087	3,121		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	異文化理解講座や国際理解・交流事業等の参加者数の増加により、多文化意識の醸成が図れた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	異文化理解講座や国際理解・交流事業等の参加者数の増加により、多文化意識の醸成が図れた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	外国人人口の増加や国籍の多様化が続く中、今後も引き続き多文化共生のまちづくりに向けた取り組みを実施する。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	48
実施計画事業名	観光資源の活用による地域の活性化		担当部署名	経済振興課、企画政策課、都市整備課
事業の実施目的及び概要	点在する文化財や市を囲む水資源、商業施設を再評価するとともに、地域に眠る観光資源の発掘や新たな魅力を発見します。また、それぞれを結ぶ観光モデルコースやガイドマップなどの充実を図り、市内の周遊や商業施設の誘客を図り、活性化につなげていきます。			
関連施策	【3-5】観光資源の活用と観光の振興	根拠法令 関連計画	木下駅南口公共用地活用検討方針	
取組方針	観光資源の活用による地域の活性化 /観光資源の創出/観光資源の周知			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			
関係するSDGs				

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 観光施設の維持管理 - 観光イベントへの支援 - 観光情報の発信 - 観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備 - 観光協会への支援 (仮称)にぎわい広場整備工事 - 木下駅南口公共用地の活用検討	- 観光施設の維持管理 - 観光イベントへの支援 - 観光情報の発信 - 観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備 - 観光協会への支援 - 木下駅南口公共用地整備基本計画の策定	- 観光施設の維持管理 - 観光イベントへの支援 - 観光情報の発信 - 観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備 - 観光協会への支援 - 木下駅南口公共用地整備基本計画の策定
事業費	74,091千円	41,000千円	41,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	2-1-6	企画費	企画事務に要する経費
	2-1-7	まちづくり推進事業費	地域活性化の推進に要する経費
	6-1-2	商工振興費	観光振興対策事業
	7-3-3	公園費	(仮称)にぎわい広場整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・桜の開花状況等についてホームページ等で周知を図るとともに、花見対策として警備員の配置や仮設駐車場、仮設トイレの設置・管理、ごみ処理等を行った。 ・大六天については令和4年度に整備した駐車場を含め、例年同様、草刈、清掃を行った。 ・きおろし水辺の広場については例年同様、管理、草刈、植栽剪定を行った。 ・舟運事業、軽トラ市、フォトコンテスト事業等に対する支援として市観光協会に対し補助を行った。 ・柏市、我孫子市との3市連携周遊事業として、デジタルスタンプラリーを実施し、交流人口の増加に努めた。 ・木下駅前にぎわい広場の整備が完了し、9月1日から供用を開始した。	当初予算	74,091,000円
		予算現額	190,297,000円
		決算額	149,545,167円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	観光イベント等に係る観光協会との打ち合わせ回数	回	目標値	3	4	5	6	7
			実績値	3	6	6		
	市内外の観光イベント参加回数	回	目標値	3	3	4	4	5
			実績値	5	7	8		
	観光ブック等の配布総数	冊(年)	目標値	6,000	6,000	7,000	8,000	9,000
			実績値	13,200	12,000	15,000		
	HPやSNS等を活用した情報発信	回	目標値	80	85	90	95	100
			実績値	92	89	108		
	観光モデルコース等の作成	コース(延べ)	目標値	—	1	2	3	3
			実績値	—	1	2		
成果指標	観光入込客数	人	目標値	1,060,000	1,070,000	1,080,000	1,090,000	1,100,000
			実績値	1,110,073	1,200,184	829,105		
	HPやSNS等の閲覧回数	回	目標値	57,000	58,000	59,000	60,000	61,000
			実績値	155,973	200,125	92,142		
	観光資源の発掘及び再整備	箇所(延べ)	目標値	—	1	1	2	2
			実績値	—	1	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き市観光協会や地域と連携し、観光資源を活用した誘客、交流人口の増を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	49
実施計画事業名	良好な土地利用の推進		担当部署名	都市計画課
事業の実施目的 及び概要	都市マスタープランにおいて定めた将来都市像に向け、自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、地区計画制度の活用を通じて、地域ごとに規制項目を定め、良好な都市環境の実現と居住環境の保全を目指します。また、都市計画基本図や都市計画情報等のデータ整備を通じて、地図情報の高度化を図り、市民サービスの向上を目指します。 良好な景観の形成に向けて、景観法・景観条例による届出制度を運用するとともに、市民や事業者との協働による景観まちづくりを推進します。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	都市計画法 印西市都市マスタープラン 印西市景観計画	
取組方針	駅圏機能の強化/地域生活拠点の 機能保全/産業拠点の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 都市計画GISデータ修正、システム保守 - 景観まちづくり市民懇談会の開催 - 景観計画区域内行為の届出制度の運用 - 協働による景観まちづくりの推進	- 都市計画GISデータ修正、システム保守 - 景観まちづくり市民懇談会の開催 - 景観計画区域内行為の届出制度の運用 - 協働による景観まちづくりの推進	- 都市計画GISデータ修正、システム保守 - 景観まちづくり市民懇談会の開催 - 景観計画区域内行為の届出制度の運用 - 協働による景観まちづくりの推進
事業費	4,307千円	3,000千円	3,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画決定・変更に要する経費
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画GIS整備事業
	7-3-1	都市計画総務費	景観形成促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	■都市計画地理情報システム整備 ・都市計画GISシステム保守、運用サポート ■良好な景観形成の推進 ・景観計画区域内行為の届出制度の運用 ・景観まちづくり市民懇談会の開催	当初予算	4,307,000円
		予算現額	4,230,000円
		決算額	3,974,003円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	景観まちづくり市民懇談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1	1	1		
	都市計画基礎調査	%	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	100	—	—		
	都市計画基本図の修正	%	目標値	—	—	—	—	—
			実績値	—	—	—		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	景観区域における行為の届出数	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	86	77	69		
	市街化区域人口	人	目標値	82,500	83,500	84,400	85,400	86,300
			実績値	85,115	86,613	86,743		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	D 目標値を下回る	景観まちづくり市民懇談会の開催数は目標に届かなかったが良好な景観形成の推進に向けた検討を進めることができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	景観まちづくり市民懇談会の開催数は目標に届かなかったが良好な景観形成の推進に向けた検討を進めることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	良好な土地利用の推進に向け、今後も継続して事業を推進していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	50
実施計画事業名	印旛中央地区の市街地形成の支援		担当部署名	都市整備課
事業の実施目的 及び概要	印旛中央地区については、千葉ニュータウンに隣接し、北千葉道路により東京方面や成田国際空港へのアクセスに恵まれた立地条件などを活かし、産業・業務機能及び居住機能を備えたまちづくりが求められており、組合施行による土地区画整理事業の事業化が検討されています。市としても、この地区の都市的土地利用の実現のために、事業化を含めた必要な支援を行っていきます。			
関連施策	【4-1】 適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	土地区画整理法 都市計画法	
取組方針	開発検討拠点の事業促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・土地区画整理事業の実施に対する支援	・土地区画整理事業の実施に対する支援	・土地区画整理事業の実施に対する支援
事業費	50,742千円	未定	未定

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	7-3-5	区画整理事業費	印旛中央地区に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・土地区画整理組合設立の支援として、「印旛中央土地区画整理組合設立支援補助金交付要綱」に基づき、印旛中央土地区画整理事業発起人会（以下、「発起人会」という。）に対し、補助金の交付を行った。 ・組合設立の認可取得に向け、事業計画(案)を策定中である発起人会对する支援として、千葉県などの関係機関協議のほか、発起人会の開催及び、協議を4回実施し、助言等を行った。	当初予算	50,742,000円
		予算現額	50,742,000円
		決算額	10,007,798円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地権者説明会(会の総会含む)の実施	回	目標値	2	1	1	2	2
			実績値	1	0	0		
	発起人会又は組合設立準備委員会の会議開催	回	目標値	5	5	6	—	—
			実績値	9	8	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	組合設立準備委員会の発足		目標値	発足	—	—	—	—
			実績値	発足	—	—	—	—
成果指標	土地区画整理組合の発足(事業認可取得)		目標値	—	—	発足	—	—
			実績値	—	—	—		
	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	—	—	5	10	15
			実績値	—	—	—	—	—
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	発起人会において、事業計画(案)を策定中のため、地権者説明会の開催には至らなかった。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	発起人会からの新たな事業スキーム提案に対する検討に時間を要し、目標値を下回る結果となった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	土地区画整理組合の発足に向け、事業計画(案)を策定すべく、発起人会对し支援を行なった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	上位計画である印西市総合計画や、印西市都市マスタープランに基づき、引き続き組合施行での土地区画整理事業による産業・業務機能と居住環境が集積・調和した土地利用を誘導していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	51
実施計画事業名	地籍調査の推進		担当部署名	都市計画課
事業の実施目的 及び概要	土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等を図るため、地籍調査を実施していきます。			
関連施策	【4-1】 適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	国土調査法 地籍調査事業計画	
取組方針	土地保全の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、 境界立ち会い及び測量と閲覧の実施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、 境界立ち会い及び測量と閲覧の実施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、 境界立ち会い及び測量と閲覧の実施
事業費	82,538千円	85,000千円	80,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	7-3-1	都市計画総務費	地籍調査事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	当初予定していた第3工区、第4工区、第5工区、第6工区の測量作業等について、概ね計画どおり実施することができた。なお、第3工区については、3年目作業が終了したことで、完了工区となった。 ・第3工区(3年目) 地籍図の作成、面積測定、権利者による閲覧等を実施 ・第4工区(2年目)、第5工区(2年目) 復元測量、現地調査等を実施 ・第6工区(1年目) 調査図素図作成、地籍調査票作成、事前現地調査、現況測量等を実施	当初予算	82,538,000円
		予算現額	78,456,000円
		決算額	78,406,253円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	説明会の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0	8	3		
	現地調査を実施した筆数	筆	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	894	838	1,891		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	境界同意率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99.7	99.7	98.4		
	完了工区数(総数)	工区	目標値	1	2	3	4	5
			実績値	1	2	3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	説明会(1年目作業)の開催回数は計画どおり実施、また、調査の筆数は新規着手工区が2工区あったため、目標値を上回ることとなった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	完了工区数は当初計画どおり累計3工区となったが、同意率が100%に至らなかったことが今後の課題である。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	令和5年度は、第3工区の県認証依頼まで行うことができ、計画どおり事業を進めることができた。また、令和6年度は引き続き第4、第5、第6工区の作業を進めるとともに、第7、第8工区を新規着手工区として作業を開始し、事業進捗を図ることとする。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	地籍調査事業計画に基づき、計画的に地籍調査を実施することは、災害復旧の迅速化や公共事業の円滑化等につながることから、継続的に事業を進めていく必要がある。一方、長期的な事業となることから、今後、経済性等の課題がある。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	52
実施計画事業名	災害に強い住まいづくりの促進		担当部署名	建築指導課
事業の実施目的 及び概要	地震災害から市民の生命及び財産を効果的かつ効率的に保護するため、印西市耐震改修促進計画を基に、建築物の耐震化の促進や危険ブロック塀等の除却の促進を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	建築物の耐震改修の促進に関する法律 印西市耐震改修促進計画	
取組方針	災害に強い住まいづくりの促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金20件 ・耐震相談会の開催3回	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金20件 ・耐震相談会の開催3回	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金20件 ・耐震相談会の開催3回
事業費	2,481千円	2,481千円	2,481千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	7-3-1	都市計画総務費	住宅・建築物耐震改修促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金 3件 ・耐震相談会の開催 3回	当初予算	2,481,000円
		予算現額	399,000円
		決算額	399,000円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	耐震相談会等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	耐震相談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件)	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2	2	1		
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修設計1件)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修工事1件)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0	0		
	危険ブロック塀等除却費補助金	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	4	7	3		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	補助事業や相談会の周知を広報、市ホームページ、町内会回覧にて行うと共に、相談会を計画的に実施できた。
②成果に対する評価	D 目標値を下回る	千葉県からは、補助金額が周辺市町村に比べ低く、必要な改修工事にかかる費用と効果から、申請件数が目標に達することのできない要因ととらえられている。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	補助事業等の広報、相談会については、ほぼ目標のとおり周知を図ることができたが、補助申請件数が目標を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金については、対象とする建築物等を絞り込み、対象事業にかかる補助額の上限の見直しを行い、耐震化の促進を図る。また、危険ブロック塀等除却費補助金は、所有者に直接補助金の案内を配布するなど周知を図る。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	53
実施計画事業名	空家等対策の推進		担当部署名	建築指導課
事業の実施目的 及び概要	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼすことを鑑み、印西市空家等対策計画を基に、利活用の促進や管理不全な空家等の解消を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法 印西市空家等対策計画	
取組方針	空家等対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 空家等対策協議会の開催3回 - 空き家リフォーム工事補助金10件 - 空き家バンク成約補助金10件	- 空家等対策協議会の開催3回 - 空き家リフォーム工事補助金10件 - 空き家バンク成約補助金10件	- 空家等対策協議会の開催3回 - 空き家リフォーム工事補助金10件 - 空き家バンク成約補助金10件
事業費	6,478千円	4,608千円	4,608千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	7-3-1	都市計画総務費	住生活基本計画推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・空き家等対策協議会の開催 2回 ・空き家リフォーム工事補助金 1件	当初予算	6,478,000円
		予算現額	2,137,000円
		決算額	1,910,280円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	空き家の適切な管理の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	空き家バンク等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	空き家リフォーム工事補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	0	2	1		
成果指標	空き家バンク成約補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	1	0	0		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	空き家の適切な管理に関して、広報、市ホームページの他、市民課等窓口モニターや、市内ショッピングモール内のデジタルサイネージにて周知した。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	空き家リフォーム工事補助金は、広報、市ホームページの他、市内の不動産仲介業者に通知して周知を図り、空き家バンクは、広報、ホームページの他、空き家の所有者に案内を郵送して周知を図り、体制を整えたが目標値を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	空き家の利活用を図る目的で令和2年度に創設した2つの補助金は、広報、ホームページの他、関係者に周知を図ったが目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	広報、ホームページ及び関係者に通知して周知をする。また、他自治体の取り組みなどを研究し、効果的な事業実施を図りたい。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	54
実施計画事業名	公園の適切な維持管理の推進		担当部署名	都市整備課
事業の実施目的 及び概要	すべての公園利用者が快適かつ安全で安心して利用できるよう適切な維持管理に努めます。 遊具などの公園施設については、定期的な点検を実施し、安全性の確保や機能の維持を図りつつ、公園施設長寿命化計画に基づき計画的な補修や更新等を行います。 また、市民参加による公園の美化活動への支援を行い、市民と市が一体となったまちづくり活動を推進します。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	都市公園法 印西市緑の基本計画 印西市公園施設長寿命化計画	
取組方針	公園の適切な維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等(松山下公園、高花公園等) ・松山下公園陸上競技場屋外観覧場保全改修工事 ・松山下公園野球場照明改修工事 ・松山下公園野球場保全改修実施設計 ・松山下公園園路等改修工事 ・松山下公園総合体育館天井改修工事 ・松山下公園総合体育館外壁等修繕実施設計 ・テニスコート夜間照明改修実施設計(本笠スポーツプラザ) ・指定管理者制度の導入・活用の検討 ・公園美化活動への支援	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等(松山下公園、萩原公園等) ・松山下公園総合体育館外壁等修繕工事 ・松山下公園野球場保全改修工事 ・松山下公園園路等改修工事 ・松山下公園総合体育館天井改修工事 ・テニスコート夜間照明改修工事(本笠スポーツプラザ) ・テニスコート夜間照明改修実施設計(印旛中央公園・印旛西部公園) ・指定管理者制度の導入・活用・活用 ・公園美化活動への支援	・遊具、建築物等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等(松山下公園、印旛西部公園、木刈東児童公園等) ・松山下公園総合体育館外壁等修繕工事 ・松山下公園野球場保全改修工事 ・テニスコート夜間照明改修工事(印旛中央公園・印旛西部公園) ・指定管理者制度の導入 ・公園美化活動への支援
事業費	1,074,705千円	1,000,000千円	1,000,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	7-3-3	公園費	公園緑地維持管理事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・116公園、2緑地の遊具等の点検を実施した。 ・公園施設長寿命化計画に基づく改修を11件実施した。その他、園路灯などの修繕を149件、野球場グラウンド等の工事を24件実施した。 ・指定管理者制度の導入・活用について、課題などの整理を行った。 ・公園美化活動への支援として、管理に必要となる清掃用具等を提供した。	当初予算	1,074,705,000円
		予算現額	1,037,409,000円
		決算額	745,059,641円
		翌年度繰越額	70,803,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	遊具等点検回数	回	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	25	25	25		
	市民参加による公園美化団体数	団体	目標値	25	26	27	28	29
			実績値	30	31	31		
	公園施設長寿命化計画に基づく改修施設数	件	目標値	7	7	12	2	15
			実績値	7	5	11		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公園施設長寿命化計画の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	70	92		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりとなったため
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりとなったため
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ほぼ目標値どおりの事業実績・成果となったため

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和6年度も適切な公園施設の管理を推進する。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	55
実施計画事業名	道路網の整備		担当部署名	道路建設課
事業の実施目的 及び概要	駅圏と地域拠点を結ぶ地域間ネットワークを充実するため、印西牧の原駅圏と小林駅圏を結ぶ市道00-031号線の整備を進めます。また、市道00-008号線、市道00-107号線、市道00-116号線、市道00-122号線等の整備を進め道路網の整備を図ります。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	印西市都市マスタープラン	
取組方針	主要幹線道路(国道)と都市幹線道路(県道)の充実/ 都市幹線道路(市道)、補助幹線道路、区画道路の充実			
総合戦略	基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得、補償 ・文化財調査 ○市道18-045号線整備事業 ・整備工事 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線用地取得、補償 ・市道25-083号線道路予備設計 ○市道00-031号線整備事業 ・用地取得、補償 ○市道00-008号線整備事業 ・道路改良工事 ・用地取得、補償 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・橋梁詳細設計 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得、補償 ・文化財調査 ・流末排水整備工事 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線道路改良工事 ・市道25-083号線路線測量 ○市道00-031号線整備事業 ・排水整備工事 ○市道00-008号線整備事業 ・道路改良工事 ・用地取得、補償 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・橋梁詳細設計 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得、補償 ・文化財調査 ・道路改良工事 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線道路改良工事 ・市道25-083号線道路詳細設計 ○市道00-031号線整備事業 ・排水整備工事 ○市道00-008号線整備事業 ・道路改良工事 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施
事業費	854,922千円	854,000千円	967,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	7-1-3	道路新設改良費	道路新設改良事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道18-045号線(小林駅南口駅前広場等)整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	通学路交通安全対策事業
	7-3-2	街路事業費	都市計画道路新設改良事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得、補償 ・文化財調査 ○市道18-045号線整備事業 ・整備工事 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線用地取得、補償 ・市道25-083号線道路予備設計 ○市道00-031号線整備事業 ・用地取得、補償 ○市道00-008号線整備事業 ・道路改良工事 ・用地取得、補償 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施	当初予算	854,922,000円
		予算現額	791,713,000円
		決算額	571,475,351円
		翌年度繰越額	52,679,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市道00-122号線整備事業工事延長	m	目標値	440	840	420	20	-
			実績値	250	400	580		
	市道00-107号線整備事業工事延長	m	目標値	-	-	-	725	725
			実績値	-	-	-		
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線工事延長	m	目標値	-	-	-	145	145
			実績値	-	-	-		
	市道00-008号線整備事業工事延長	m	目標値	-	-	330	-	-
			実績値	-	-	291		
	北千葉道路建設促進要望活動	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
成果指標	市道00-026号線延伸区間道路整備事業進捗率	%	目標値	80	100	-	-	-
			実績値	70	95	100		
	市道00-122号線整備事業進捗率	%	目標値	60	75	90	100	-
			実績値	45	50	60		
	市道竜腹寺線整備事業進捗率	%	目標値	20	30	40	60	80
			実績値	20	20	20		
	市道00-107号線整備事業進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	10	20	30		
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	20	40	55		
	市道00-031号線整備事業進捗率	%	目標値	55	60	65	70	75
			実績値	45	50	50		
	市道00-008号線整備事業進捗率	%	目標値	50	70	100	-	-
			実績値	20	30	88		

5. 事業に対する評価

評価項目		
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値をやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値をやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られた。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	総合的な事業実績はやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られている。

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引続き、各事業の完了に向け取り組む。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	56
実施計画事業名	道路などの適切な維持管理の推進		担当部署名	土木管理課
事業の実施目的 及び概要	市が管理する道路などの適切な維持管理を推進し、安全で快適な道路環境を保ちます。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	道路法 橋梁長寿命化修繕計画 印西市道路舗装修繕計画	
取組方針	道路の維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 市道及び市管理道路等の維持管理 - 道路パトロールの実施 - 舗装修繕の実施 - 街路樹等の維持管理 - ふれあいロード美化活動への支援 - 橋梁定期点検の実施 - 橋梁補修の実施 - 側溝整備の実施 - 側溝等の清掃	- 市道及び市管理道路等の維持管理 - 道路パトロールの実施 - 舗装修繕の実施 - 街路樹等の維持管理 - ふれあいロード美化活動への支援 - 橋梁定期点検の実施 - 橋梁補修の実施 - 側溝整備の実施 - 側溝等の清掃	- 市道及び市管理道路等の維持管理 - 道路パトロールの実施 - 舗装修繕の実施 - 街路樹等の維持管理 - ふれあいロード美化活動への支援 - 橋梁定期点検の実施 - 橋梁補修の実施 - 側溝整備の実施 - 側溝等の清掃
事業費	1,002,655千円	865,054千円	966,735千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	7-1-2	道路維持費	道路維持修繕に要する費用
	7-1-4	橋りょう維持費	橋りょう維持修繕に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・道路パトロール 週5日、243日/年 ・ふれあいロード美化活動への支援 17団体に花苗支給等 ・街路樹等の維持管理 10地区に分割し除草及び樹木剪定等を実施 ・舗装修繕工事 L=4, 087m ・橋梁定期点検 N=64橋 ・橋梁補修工事 N=4橋 ・側溝整備工事 L=35m ・側溝等の清掃 L=3, 550m	当初予算	1,002,655,000円
		予算現額	1,142,649,000円
		決算額	991,928,700円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242	243	243		
	点検実施橋梁数	橋	目標値	75	56	50	11	13
			実績値	72	45	64		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	舗装修繕延長	m	目標値	1,400	680	1,595	2,093	2,759
			実績値	3,974	4,957	4,087		
	橋梁長寿命化修繕実施数	橋	目標値	—	1	3	7	8
			実績値	1	2	4		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	安全で快適な道路環境を保つため、舗装の破損状況に応じて順次必要な修繕を進めるとともに、道路パトロールや市民からの情報提供などにより、事故に直結する破損個所の対応に努める。橋りょうについては、継続的に点検を実施し、橋りょうの健全度に応じて順次必要な修繕を進める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	57
実施計画事業名	水道の安定供給		担当部署名	水道課
事業の実施目的 及び概要	将来に渡り安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水需要を的確に把握し、受水量の確保や水道施設の計画的な整備・更新を進めます。			
関連施策	【4-4】 上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	水道法 印西市水道ビジョン 印西市水道事業経営戦略	
取組方針	水道の安定供給/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・配水整備工事 岩戸・吉田地先 大森地先 ・管洗浄及び漏水調査業務 小林地区 ・経営戦略に基づく整備・更新 平岡配水場3号ポンプ機械電装 設備更新	・配水整備工事 吉田地先 大森地先 ・管洗浄及び漏水調査業務 小林地区 ・経営戦略に基づく整備・更新 配水場及び末端監視局の設備更 新	・配水整備工事 吉田地先 大森地先 ・管洗浄及び漏水調査業務 小林地区 ・経営戦略に基づく整備・更新 配水場及び末端監視局の設備更 新
事業費	545,423千円	550,000千円	550,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	【水道事業会計予算(収益的支出)】		
	1-1-2	配水及び給水費	
	【水道事業会計予算(資本的支出)】		
	1-1-1	建設工事費	
	1-1-3	建設事務費	

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	吉田地区配水整備 L=27.6m 大森地区配水整備 L=852.6m 平岡配水場ポンプ機械電装設備更新工事 一式 印西地区配水管洗浄業務委託(漏水調査) L=4.5km	当初予算	545,423,000円
		予算現額	545,423,000円
		決算額	384,237,433円
		翌年度繰越額	152,353,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	吉田地区配水管整備延長	m	目標値	708	406	996	1,047	1,396
			実績値	761	777	28		
	水道の漏水調査	km	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	1	4.5	4.5		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市営水道の普及率	%	目標値	70.70	71.00	71.30	71.60	72.00
			実績値	73.38	73.72	74.40		
	水道の普及率 (千葉県・印西市・長門川水道 企業団など)	%	目標値	84.10	84.30	84.50	84.70	85.00
			実績値	86.70	87.80	88.30		
	吉田地区整備率	%	目標値	9	15	28	43	62
			実績値	10	21	21		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	吉田地区の工事を繰り越しているが、令和6年度には、工程通りとなるよう努力していく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	普及率と同様に吉田地区の整備率も目標値を上回るよう、努力していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	吉田地区の工事を繰り越してはいるものの、概ね目標通りであるため、引き続き上回るよう努力していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も水道の安定供給に努めるとともに、計画的に配水管の整備を行い給水区域内の未普及地域の解消を図る。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	58
実施計画事業名	計画的な下水道の整備		担当部署名	下水道課
事業の実施目的 及び概要	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質保全に資するため、汚水の未整備地区の解消を進めます。 また、市街地の雨水排水対策として、公共下水道(雨水)の整備・充実を図り、浸水防除に努めます。 さらに、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るため、下水道施設全体を一体的に捉え、ストックマネジメント計画や総合地震対策計画等に基づく対策を進めていきます。			
関連施策	【4-4】上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	下水道法 手賀沼流域関連公共下水道事業計画 印旛沼流域関連公共下水道事業計画 公共下水道ストックマネジメント計画 公共下水道総合地震対策計画	
取組方針	計画的な下水道の整備/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区実施設計業務委託 ・公共下水道全体計画変更業務委託 公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設改築工事 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策工事 ・マンホールトイレ整備工事 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水詳細設計業務委託	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 ・公共下水道事業計画変更業務委託 公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設改築工事 ・修繕改築計画業務委託 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策工事 ・マンホールトイレ整備工事 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設詳細設計業務委託 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策詳細設計業務委託 ・マンホールトイレ整備工事 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事
事業費	521,372千円	500,000千円	480,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	【下水道事業会計予算(収益的支出)】		
	1-1-4	総係費	
	【下水道事業会計予算(資本的支出)】		
	1-1-1	汚水管路建設改良費	
	1-1-2	雨水管路建設改良費	
	1-1-3	ポンプ場建設改良費	
	1-1-5	建設事務費	

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	【老朽化対策】 マンホール蓋改修工事 35箇所 管更生工事 47m 【地震対策】 管更生工事 334m マンホール浮上防止対策工事 39箇所 マンホール管口可とう化工事 90箇所 マンホールトイレ整備工事 10基 【計画策定】 公共下水道全体計画変更業務委託	当初予算	521,372,000円
		予算現額	526,872,000円
		決算額	405,913,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	工事発注数	本	目標値	3	5	4	2	3
			実績値	3	5	6		
	測量・詳細設計等業務委託発注数	本	目標値	1	—	2	3	2
			実績値	2	2	1		
	岩戸地区面整備面積	ha	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
			実績値	1.0	0.6	0.0		
	中継ポンプ場設備改築数	箇所	目標値	1	1	—	1	1
			実績値	1	1	—		
			目標値					
			実績値					
成果指標	工事発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	150		
	測量・詳細設計等業務委託発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	—	100	100	100
			実績値	100	200	50		
	岩戸地区面整備率	%	目標値	59	60	61	62	63
			実績値	62	63	63		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	令和4年度に未普及対策(汚水)の整備方針を変更し、老朽化対策や地震対策工事を優先的に進めた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	令和4年度に未普及対策(汚水)の整備方針を変更し、老朽化対策や地震対策工事を優先的に進めた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	岩戸地区の未復旧対策(汚水)については目標を下回ったが、下水道事業の社会動向等を考慮し、老朽化対策、地震対策の工事を優先的に進めた結果であり、工事実施数は目標を上回る状況となっている。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・老朽化する施設への対策や災害等に備えるため、老朽化対策事業、地震対策事業を進めていく。 ・未普及対策(汚水)については、市街化区域の整備は概成しており、市街化調整区域で浄化槽による汚水処理が進んでいる下水道事業計画区域は、地域のニーズや汚水処理の状況を勘案しつつ、適切な時期に整備を行っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	59
実施計画事業名	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成		担当部署名	交通政策課
事業の実施目的 及び概要	市民の移動ニーズや地域の特性を踏まえ、路線バスとコミュニティバス「ふれあいバス」などの再編を進め、バス交通の効率化と充実を図り、利用者の負担が少なく利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを目指します。 また、高齢者や最寄りのバス停が自宅から離れており利用することが困難な方の移動手段は、市民のニーズや地域の状況に応じて、市、事業者及び関係機関が連携・協力して、移動手段を確保できるよう検討します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	道路運送法 地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・ふれあいバスの運行(6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ・印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理 ・ふれあいバス運行ダイヤ改正 ・ふれあいバス新ルートの再編検討	・ふれあいバスの運行(6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ・印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理 ・ふれあいバス新ルートの再編検討	・ふれあいバスの運行(6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ・印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理、見直し ・ふれあいバス新ルートの再編
事業費	217,989千円	217,989千円	217,989千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-6	企画費	公共交通網整備促進事業
	2-1-6	企画費	路線バス運行対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・燃料価格の高騰対策として、公共交通事業者に対し支援金を交付した。 ・路線バス事業者(六合路線、宗像路線、印旛学園線、小林線)への路線バス運行経費の一部を対象に補助金交付した。 ・ふれあいバス(6ルート)のうち、4ルートについて、遅延緩和の解消に向けたダイヤ改正(R6.4.1～)を行い、南ルートにバス停を新設した(大塚三丁目入り口)。 ・ふれあいバス運行ルート再編に向け、ルート再編(案)を策定した。 ・スワン号の実証運行を10月31日を以て終了し、地域公共交通助成実証実験として、新たにタクシー利用助成制度を導入した。 ・バス停付近(木刈フレンドリープラザ前)にベンチを1カ所(1基)設置した。	当初予算	217,989,000円
		予算現額	221,272,000円
		決算額	186,117,988円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市地域公共交通計画に基づく利用促進策	項目	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	印西市地域公共交通計画に基づくバス待ち環境整備	箇所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	3	1	1		
	ふれあいバスのルート数	ルート	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	外出時の自家用車使用率	%	目標値	75	75	75	70	70
			実績値	75	75	75		
	ふれあいバス利用者数	人	目標値	247,000	248,000	249,000	250,000	251,000
			実績値	237,528	261,596	276,498		
	路線バス(補助路線)利用者数	人	目標値	240,000	244,000	248,000	252,000	256,200
			実績値	207,082	216,847	216,906		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	・スワン号の実証運行を令和5年10月31日を以て終了し本埜地区を対象としたタクシー利用助成事業の実証実験を開始した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	・ふれあいバス(東・中・西・南ルート)について、遅延対策としてダイヤ改正(令和6年4月1日から)を決定した。 ・路線バスについて、利便性向上に向けた、時刻改正を実施した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	・交通空白地域及び定時運行について、一定の効果があったものと捉えている。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	ふれあいバス(東・中・西・南ルート)について、遅延対策としてダイヤ改正(令和6年4月1日)を実施する。 令和7年度のふれあいバスルート再編に向け検討と併せ、交通空白地域における、高齢者等の移動支援をはじめとする、路線バスとの運賃格差、定時運行の確保、運行に要する時間や距離による速達性の向上など、これら課題解消に向け、ふれあいバスの運行ルート再編時において、印西市地域公共交通会議をはじめ、運行事業者や関係機関と協議(新規ルート、再編、増便等)を進めいく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	60
実施計画事業名	鉄道の利便性の向上		担当部署名	交通政策課
事業の実施目的 及び概要	市内の鉄道は、2路線5駅からなり、JR成田線においては、沿線自治体で組織する成田線活性化推進協議会や千葉県JR線複線化等促進期成同盟での活動をとおり、JR成田線の増発や始発電車に合わせた券売機やエレベーターの稼働など利便性と快適性の向上を目指します。 また、北総線においては、千葉県、沿線自治体、鉄道事業者で組織する北総線沿線地域活性化協議会での活動をとおり、イベントの開催や後援により、鉄道利用者の増加を目指し沿線地域全体の活性化を図るとともに、他社と比較して高い運賃を引下げ、利用者負担を軽減し、更なる利便性の向上を目指します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	北総線・成田スカイアクセスのさらなる利便性の向上/JR成田線の利便性と快適性の向上			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 〔北総線〕 ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 〔北総線〕 ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。	〔JR成田線〕 ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 〔北総線〕 ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。
事業費	2,475千円	2,475千円	2,475千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	2-1-6	企画費	鉄道整備等促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・成田線活性化推進協議会において、令和5年7月11日にJR東日本首都圏本部、令和5年7月26日に千葉支社に対し、首長等による成田線の要望活動を行った。また沿線活性化事業として、令和5年10月7日～9日に小林駅から木下駅をコースとした「駅からハイキング」を実施し385人が参加した。また、令和5年10月21日・22日に布佐駅にB.B.BASEを誘致し222人のサイクリストが参加した。令和5年12月1日に安食駅において成田線沿線地域クリーンアップ大作戦2023を実施し41人が参加した。 ・ほくそう春まつりが5年振りに復活し令和5年4月30日に開催。延べ23,000人が参加した。市ではダーツゲーム「ダーツでゲッツ」を実施し、延べ500人が参加した。 ・北総線沿線地域の魅力発信のため、北総線沿線地域活性化協議会による沿線活性化トレインの運行を令和5年11月17日～令和6年3月31日まで運行、うち3両において印西市のポスターを掲示しPRした。	当初予算	2,475,000円
		予算現額	4,125,000円
		決算額	3,874,078円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	成田線活性化推進協議会のイベント実施(駅からハイキング)	回	目標値	4	1	1	1	1
			実績値	3	2	3		
	成田線活性化推進協議会のイベント参加人数	人	目標値	4,000	1,000	1,000	1,100	1,200
			実績値	1,872	1,094	1,322		
	北総線沿線地域活性化協議会の後援事業	事業	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	2	8	21		
	ほくそう春まつり参加者数	人	目標値	12,000	12,000	21,000	22,000	23,000
			実績値	—	20,000	23,000		
成果指標	木下駅乗降客数	人/日	目標値	4,100	4,100	4,150	4,200	4,250
			実績値	3,406	3,636			
	小林駅乗降客数	人/日	目標値	3,900	3,900	3,950	4,000	4,050
			実績値	3,066	3,190			
	千葉ニュータウン中央駅乗降客数	人/日	目標値	29,000	29,500	30,000	31,000	32,000
			実績値	23,286	26,042	27,525		
	印西牧の原駅乗降客数	人/日	目標値	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500
			実績値	12,412	14,526	15,974		
	印旛日本医大駅乗降客数	人/日	目標値	6,300	6,350	6,400	6,450	6,500
			実績値	4,864	5,734	6,629		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	・JR成田線及び北総線関連のイベント等の実績による。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・成田線については、ダイヤ改正による増発増便や接続改善、駅施設設備の改善に向け、要望活動を実施するとともに、JRや成田線活性化推進協議会の沿線自治体と連携し、沿線地域の活性化向上に努めていく。 ・北総線については、鉄道事業者や北総線沿線地域活性化協議会の沿線自治体と連携し、将来的な普通運賃の更なる値下げと沿線地域の活性化向上に引き続き努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	61
実施計画事業名	美しく快適な環境づくりの推進		担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的 及び概要	ゴミゼロ運動やクリーン印西推進運動などの環境美化活動を通じて、市、市民、事業者などが一体となり、環境美化に対する意識の向上を図ります。 また、歩行喫煙・ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、歩行喫煙、タバコ・空き缶などのポイ捨て行為の取り締まりや、引き続き啓発活動を実施することで、マナーの向上を推進します。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市歩行喫煙ポイ捨て等防止条例及び同条例施行規則	
取組方針	美しく快適な環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	      			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) - 違反者に対しての指導・勧告等 - 駅頭での啓発活動 - 啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 - クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) - ゴミゼロ運動の実施	- 職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) - 違反者に対しての指導・勧告等 - 駅頭での啓発活動 - 啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 - クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) - ゴミゼロ運動の実施	- 職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) - 違反者に対しての指導・勧告等 - 駅頭での啓発活動 - 啓発物にて喫煙及びポイ捨ての注意喚起 - クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) - ゴミゼロ運動の実施
事業費	4,790千円	4,790千円	4,790千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-2-1	清掃総務費	歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業
	4-2-1	清掃総務費	クリーン印西推進運動事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	【クリーン印西推進運動・ゴミゼロ運動】 町内会・事業所等443団体に参加の呼びかけを行い、以下の通り参加があり、地域美化の意識向上を図った。 ・クリーン印西推進運動 161団体・延べ22,868人 ・ゴミゼロ運動 151団体・9,139人 【歩行喫煙、ポイ捨て等防止】 指導職員(再任用職員)によるパトロールを173日実施、市内全域において、111件の口頭指導を行った。(過料案件は無し) 条例の啓発として、4月、12月および3月に、千葉ニュータウン中央駅改札内へ啓発物資を設置した。また、キャンペーン活動を、印西牧の原駅、印樺日本医大駅、木下駅および小林駅改札前で行った。 ・歩行喫煙及びポイ捨て防止の啓発活動 51回	当初予算	4,790,000円
		予算現額	4,391,000円
		決算額	3,876,453円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員によるパトロール日数 (歩行喫煙・ポイ捨て)	日	目標値	192	192	192	192	192
			実績値	225	182	173		
	(歩行)喫煙及びポイ捨て等防止の啓発活動(車両広報・駅頭啓発)	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	73	43	51		
	クリーン印西推進運動等の啓発活動(広報紙・HP・自治会長説明会等)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	7	7	7		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	(歩行)喫煙及びポイ捨て指導件数(年)	件	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	79	112	111		
	クリーン印西推進運動参加団体数	団体	目標値	155	157	159	161	163
			実績値	150	146	161		
	ゴミゼロ運動参加団体数	団体	目標値	190	191	192	193	194
			実績値	中止	135	151		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	クリーン印西推進運動について、参加団体が令和4年度に比べて15団体増加しているが、参加人数は1,184人減少となった。 歩行喫煙、ポイ捨て等防止については、違反指導件数が令和4年度に比べて、1件減少とほぼ横ばいだった。引き続き、啓発活動を実施し周知に努めていく。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	クリーン印西推進運動事業、歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業ともに計画に沿った活動を行ったが実績値が得られなかった。今後も団体への啓発活動、喫煙者等への周知徹底を図っていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	クリーン印西推進運動に関しては、一部の地域・団体では定着しているものの、ゴミゼロ運動のように市の主導でなければ実施に踏み切れない団体も多いことから、町内会・自治会長、クリーンパートナー等の説明会時において周知に努め、クリーン印西推進運動の新規参加団体数をさらに増加させていく。また、歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業については、日々違反指導しているが令和4年度と実績がほぼ変わらなかったことから、早朝・夜間での違反行為に対し、幅広い時間帯での指導・啓発活動や看板等表示物の内容、設置場所の見直し等により、引き続きマナーの向上を推進していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	62
実施計画事業名	不法投棄防止対策の強化	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的 及び概要	不法投棄されにくい環境にすることが重要であることから、監視カメラの設置場所を状況により随時見直すことや幅広い時間帯で不法投棄防止パトロールを実施することにより、不法投棄の抑止に努めます。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
取組方針	不法投棄防止対策の強化			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 6 11 12 14 15 17			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 不法投棄監視カメラの運用 - 委託業者、市職員による監視パトロール - 自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去	- 不法投棄監視カメラの運用 - 委託業者、市職員による監視パトロール - 自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去	- 不法投棄監視カメラの運用 - 委託業者、市職員による監視パトロール - 自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去
事業費	6,708千円	6,708千円	6,708千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-2-1	清掃総務費	不法投棄対策に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・監視カメラの運用(85台) (うち機動性の高い小型監視カメラを令和5年度に5台更新) ・職員による不法投棄防止夜間パトロールの実施(7回) ・不法投棄等監視パトロール業務委託(100回)	当初予算	6,708,000円
		予算現額	5,483,000円
		決算額	4,706,685円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員による不法投棄監視パトロール(日中・夜間)	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	195	237	248		
	委託による不法投棄監視パトロール	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	103	100	100		
	広報紙による啓発	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	不法投棄監視カメラの運用	台	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	85	85	85		
			目標値					
			実績値					
成果指標	不法投棄確認件数(年)	件	目標値	150	145	140	135	130
			実績値	112	92	78		
	市民等からの不法投棄通報件数	件	目標値	60	55	50	45	40
			実績値	41	46	30		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	定期的なパトロールおよび監視カメラ等による監視体制を維持するとともに、不法投棄の発生状況や傾向を考慮し、各種見直しを行うこと等により、不法投棄されにくい環境づくりを継続的に進め、更なる不法投棄の抑止に努める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	63
実施計画事業名	環境汚染防止対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	・地下水汚染が確認されている浦部地区の汚染除去対策・効果判定業務の実施及び小林地区の汚染の確認のための水質調査並びに浄化対策の検討を実施します。 ・竹袋焼却場跡地の廃棄物が、周辺環境へ影響を及ぼすことが無いよう、適切なモニタリングを実施します。 ・東日本大地震に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による汚染について、市民への適切な情報提供を実施します。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境保全条例及び同条例施行規則、共同命令適用以前に設置された一般廃棄物最終処分場の埋立終了に係る指導指針、放射性物質汚染対処特別措置法、子ども・被災者支援法	
取組方針	環境汚染防止対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	      			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング環境調査の実施 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング環境調査の実施 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング環境調査の実施 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査
事業費	18,031千円	18,031千円	18,031千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	4-1-6	環境保全費	地下水汚染対策事業
	4-1-6	環境保全費	焼却場等跡地環境対策事業
	4-1-6	環境保全費	放射線対策事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・浦部地区の汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化を実施。浄化はすこしずつではあるが成果が出ている。 ・小林地区の汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査を実施。 ・竹袋焼却場跡地のモニタリング調査では、健康に被害のない結果が報告されている。 ・大気中放射線量等のモニタリング調査では、基準値の範囲内での結果が報告されている。 ・市内公共施設等大気中放射線量測定件数 193箇所を実施。	当初予算	18,031,000円
		予算現額	18,031,000円
		決算額	16,941,265円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	浦部地区地下水汚染除去対策	試料	目標値	130	130	130	130	130
			実績値	144	144	144	—	—
	小林地区地下水汚染機構解明モニタリング	試料	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30	27	27	—	—
	浦部地区地下水汚染モニタリング調査	箇所	目標値	—	—	18	18	18
			実績値	—	—	18		
	小林地区地下水汚染モニタリング調査	箇所	目標値	—	—	10	10	10
			実績値	—	—	9		
	竹袋焼却場跡地調査箇所数	箇所	目標値	14	14	14	14	14
			実績値	14	14	14		
成果指標	地下水汚染除去地点(浦部地区)	箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	地下水汚染基準値内地点割合(浦部地区)	%	目標値	—	—	100	100	100
			実績値	—	—	89		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	浦部地区の調査地点18カ所のうち2カ所から基準値を超えた数値の汚染物質が検出されているので引き続き浄化及びモニタリングを実施していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、汚染の除去が進んだ際には、事業の完了を検討して行く必要がある。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	64
実施計画事業名	鳥獣被害対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	鳥獣による農林業被害や生活環境被害が発生しているため、状況に応じた対策を実施し、被害の低減を図っていきます。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律 印西市鳥獣被害防止計画	
取組方針	鳥獣被害対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	      			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ・地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ・地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲、防護柵の設置、生息環境管理等 ・地域ぐるみの鳥獣被害対策の実施 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・ムクドリによる生活環境被害の減少 ・コブハクチョウによる農作物被害防止
事業費	35,169千円	35,169千円	35,169千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	4-1-6	環境保全費	鳥獣被害対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・有害鳥獣の捕獲については、業務委託等によりイノシシ1,122頭、アライグマ78匹、ハクビシン78匹、タヌキ149匹、カラス類44羽、その他鳥類9羽を捕獲駆除した。防護柵については約8,900メートル自力施工で設置した。生息環境管理については、8団体が耕作放棄地等の草刈りを行った。 ・地域ぐるみの鳥獣被害対策として、岩戸地区のイノシシ捕獲の支援のほかイノシシ被害が多い地区に対策方法等の説明会等を行った。 ・狩猟免許取得に係る助成金について12名に助成し、捕獲従事者を確保した。 ・ムクドリによる生活環境被害の減少対策として、7月から9月に千葉ニュータウン駅周辺の街路樹に集まるムクドリを器具を使用し被害が少なくなるよう追い払いを実施した。 ・コブハクチョウによる農作物被害防止対策として、水田に侵入したコブハクチョウの追い払い方法を耕作者に指導した。	当初予算	35,169,000円
		予算現額	38,684,000円
		決算額	34,678,653円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	イノシシ用電気柵設置距離数	m	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	30,500	20,600	8,900		
	捕獲従事者数(有資格者)	人	目標値	80	85	90	95	100
			実績値	65	65	75		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	イノシシ捕獲頭数	頭	目標値	800	900	1,000	1,000	1,000
			実績値	733	1,064	1,122		
	小型獣(アライグマ・ハクビシン・タヌキ)捕獲数	匹	目標値	400	500	500	500	500
			実績値	320	343	305		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	電気柵の設置要望箇所が、小規模な農地であったため、目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	小型獣の捕獲については、数年前から捕獲数はほぼ変わらず、成果指標の目標値を達成することが難しいことから業務の見直しが課題となっている。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	65
実施計画事業名	環境保全意識の高揚と自然と触れ合う機会の充実		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	豊かな自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりや担い手の育成を図ります。 また、市民自らが地域の自然を守っていく意識を高め、自然に親しむための市民参加型の里山保全活動・自然観察会等を実施し、環境について学ぶ機会を提供し、市民の自然への関心を高め、環境保全意識の高揚を図ります。併せて、開発や外来種の侵入により在来の生物や生態系に大きな影響を及ぼしていることから、生物多様性を守るための取り組みを推進します。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市市民の森の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 印西市環境基本計画	
取組方針	自然の保護、保全体制の充実/ 自然を知り、自然と触れ合う機会の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	         			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・いんざい自然探訪の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の充実 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森(ホテル等)保全	・いんざい自然探訪の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の充実 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森(ホテル等)保全	・いんざい自然探訪の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森の充実 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森(ホテル等)保全
事業費	19,187千円	20,500千円	21,500千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	4-1-6	環境保全費	環境基本計画の推進事業
	4-1-6	環境保全費	自然環境保全事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・環境白書の作成(計画の進行管理) ・いんざい自然探訪6事業のうち6事業実施 (①ホテルの鑑賞会 ②印旛沼観光船 ③ザリガニ釣り体験 ④里山学校夏編 ⑤里山学校秋編 ⑥里山学校春編) ・武西の里山の生物調査17回、保全活動(団体委託4回、市3回)、モニタリング4回 ・武西の里山法面草刈業務(2回) ・草深の森施設管理業務(鍵の開閉、清掃、ごみ拾い、トイレ掃除、巡回監視) ・草深の森保全業務5回 ・草深の森ガイドリーフレット作成業務委託 ・草深の森スギ・ヒノキ間伐・山ゆり保全業務(6回) ・草深の森危険木・朽木伐採業務(2回) ・草深の森トイレ新築工事 ・大森・別所の森保全業務(業務委託2回、市4回) ・大森・別所の森ホテル監視業務(20日間)	当初予算	19,187,000円
		予算現額	61,015,000円
		決算額	58,122,148円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	草深の森保全回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	5	5		
	武西の里山保全回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	7	7		
	別所・大森の森保全回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	5	5	6		
	いんざい自然探訪実施回数	回	目標値	—	—	5	5	5
			実績値	—	—	6		
	草深の森のPR(広報・HP等)	回	目標値	—	—	5	5	5
			実績値	—	—	5		
成果指標	草深の森来場者数(年間)	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,900	2,000
			実績値	1,845	1,707	1,713		
	いんざい自然探訪参加者数(延人数)	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	33	80	107		
	別所・大森の森ゲンジボタル個体数	個体	目標値	—	—	215	220	225
			実績値	—	—	315		
	別所・大森の森ヘイケボタル個体数	個体	目標値	—	—	25	25	30
			実績値	—	—	—		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	一部指標で目標等を達成していないが、事業実績としては、一定の成果が見られるため、全体として現行の事業体系で推進していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	66
実施計画事業名	ごみの減量化と資源化の推進		担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的 及び概要	市民・市・事業者の連携によるごみの減量化・再資源化に向けて取り組み、資源循環型社会の実現を目指します。 また、ごみの適正な処理のため、印西地区環境整備事業組合、印西地区衛生組合の既存処理施設の維持管理及び新たな処理施設の建設に、構成市町と連携して取り組みます。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	第3次印西市ごみ減量計画 印西地区ごみ処理基本計画(令和5年3月)	
取組方針	ごみの減量化と資源化の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	         			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金事業 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント
事業費	23,829千円	23,829千円	23,829千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-2-1	清掃総務費	ごみ減量化・再資源化推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・リサイクル情報広場事業は17件の譲渡が成立した。 ・ごみ減量化等説明会は、町内会等に、2回延べ86人に説明会を行った。 ・廃食用油約6.1トン、使用済み小型家電約10.3トンの拠点回収を行った。 ・生ごみ処理容器等購入の118世帯に補助金交付を行った。 ・剪定枝粉碎機貸出を14件行った。 ・有価物集団回収奨励金事業により、約1,281トンが回収できた。 ・廃棄物減量等推進員110人がごみ減量等に関する活動を行った。 ・ごみ分別アプリは、令和5年度までに13,826人がダウンロードした。 ・環境フェスタは天候不良のため中止 ・おさがりマルシェは、109人が来場し、衣類2580点、重さ約283kgを配布した。 ・ごみ分別に関するごみ減量・3R推進動画を作成し、ホームページ上で公開した。	当初予算	23,829,000円
		予算現額	23,564,000円
		決算額	18,548,192円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報による啓発	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	ごみ減量化等説明会	回	目標値	15	18	21	24	27
			実績値	7	8	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	家庭系ごみ(資源物を除く)の 一人一日あたり排出量	g/人・日	目標値	479	473	467	461	455
			実績値	526	511	493		
	生ごみ処理容器等購入費補助	世帯	目標値	70	75	80	85	90
			実績値	117	95	118		
	有価物集団回収奨励金交付団 体数	団体	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	97	97	96		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	広報による啓発は毎月15日にシリーズ化して掲載することができた。ごみ減量化等説明会については、目標値を下回ったため、引き続き周知、啓発に努める。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ごみ排出量は年々減少傾向にあったが、目標値は達成できなかった。生ごみ処理容器等購入費補助の件数は年間を通じた広報、啓発により目標値を上回った。有価物集団回収は未実施町内会への広報に努めたが目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値に達しない実績・成果となってしまった指標があるものの、概ね目標値を達成できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	現在、実施している事業を引き続き継続するとともに、事業に対する評価を踏まえ、さらなる充実にむけた検討を行う。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	67
実施計画事業名	環境への負荷の低減		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的及び概要	ゼロカーボンシティの実現に向けて、地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの削減に取り組んでいくため、定置用リチウムイオン蓄電システム等の省エネ設備の設置者に対して導入の補助を実施します。 また、環境家計簿等の普及や省エネに関する情報を広報やホームページに掲載し、情報提供を行います。生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図るため、高度処理型合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付し、普及を促進します。さらに、設置後5年を経過した浄化槽の簡易水質検査を実施し、浄化槽の維持管理の促進を図ります。			
関連施策	【4-7】自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市市内エコプラン 浄化槽法 印西地区循環型社会形成推進地域計画	
取組方針	環境への負荷の低減			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	3 6 7 8 9 11 12 13 14 17			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 合併処理浄化槽設置事業補助金 - 合併処理浄化槽の簡易水質検査 - 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 - グリーンカーテン推進事業 - 公共施設の脱炭素化の検討 - エコポイントの検討 - ゼロカーボンシティ宣言の検討	- 合併処理浄化槽設置事業補助金 - 合併処理浄化槽の簡易水質検査 - 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 - グリーンカーテン推進事業 - 公共施設の脱炭素化の実施 - エコポイントの実施 - ゼロカーボンシティ宣言の実施	- 合併処理浄化槽設置事業補助金 - 合併処理浄化槽の簡易水質検査 - 住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 - グリーンカーテン事業実施 - 公共施設の脱炭素化の実施 - エコポイントの実施
事業費	97,979千円	110,000千円	115,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-5	環境衛生費	合併処理浄化槽設置事業
	4-1-6	環境保全費	地球温暖化対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・合併処理浄化槽設置補助 90基 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 47件 ・住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金 258件 ・グリーンカーテンでゼロカーボン事業 苗配布数811苗、種配布数100袋 ・2050年の脱炭素社会の実現に向けて、ゼロカーボンシティ宣言及びその取り組みを検討した。	当初予算	97,979,000円
		予算現額	97,980,000円
		決算額	93,286,657円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	合併処理浄化槽の簡易水質検査	件	目標値	40	30	50	50	50
			実績値	50	48	47		
	合併処理浄化槽補助設置基数	基	目標値	70	70	70	70	90
			実績値	112	102	90		
	合併処理浄化槽設置及び維持管理促進のPR(広報・HP・チラシ等)	回	目標値	5	5	5	5	—
			実績値	5	5	5	—	—
	太陽光設備設置基数	基	目標値	30	—	—	—	—
			実績値	55	—	—	—	—
	集合住宅用充電設備補助件数	回	目標値	—	—	2	3	4
			実績値	—	—	0		
	定置用リチウムイオン蓄電システム設置補助件数	件	目標値	—	60	100	105	110
			実績値	—	160	138		
成果指標	水質検査結果「適正」判定率	%	目標値	90	90	100	100	100
			実績値	96	96	100		
	CO2削減効果	t-CO2	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	170	—	—	—	—
	CO2削減効果(定置用リチウムイオン蓄電システム導入による)	t-CO2	目標値	—	—	76	80	84
			実績値	—	—	151		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	合併処理浄化槽補助金は、印西地区環境整備事業組合と印西市、白井市、栄町で策定した循環型社会形成推進地域計画や、市の実施計画とほぼ計画どおりの設置数であり、現行のまま継続する。住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、今後も国内外の動向を踏まえ継続していく。2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、計画(いんざいカーボンニュートラルチャレンジ2050)を策定し、取り組みを図る。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	68
実施計画事業名	コミュニティ活動の推進		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市と町内会等の相互協力関係を推進し、行政運営の円滑化及び地域社会における住民自治の振興を図るため、コミュニティ活動を支援するとともに、町内会活動等への参加の場を確保するため、活動拠点となる集会施設の整備を促進します。 また、市民相互の理解を深め、より強い絆を持った地域づくりを推進するため、市内4館のコミュニティセンターにおいて、コミュニティの醸成事業を行い、地域コミュニティの充実を図ります。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市行政協力交付金交付要綱、印西市町内会等活動費補助金交付要綱、印西市町内会等会地区連絡会活動費補助金交付要綱、印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例、印西市青年館の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市集会所の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市構造改善センターの設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則、印西市集会施設整備事業補助金交付要綱	
取組方針	コミュニティ活動の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・青年館用地買収 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・コミュニティセンターの補修工事 ・コミュニティセンターの保全改修工事の設計(永治プラザ)	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・コミュニティセンターの保全改修工事の設計(永治プラザ)	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営 ・コミュニティセンターの保全改修工事(永治プラザ)
事業費	219,274千円	202,000千円	262,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-12	自治振興費	町内会等に要する経費
	2-1-12	自治振興費	町内会地区集会所等に要する経費
	2-1-12	自治振興費	コミュニティセンターの管理運営に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	行政協力交付金、町内会等活動費補助金、町内会等地区連絡会補助金を交付し、円滑な行政運営及び町内会活動等の活性化を図った。 また、印西市町内会自治会連合会作成の町内会加入促進パンフレットを活用し、町内会等への加入促進を図った。 町内会等へ集会施設整備事業補助金を交付し、町内会等が管理する集会施設の整備、充実を図った。青年館の国有地取得1件。 しかしながら、建築資材の物価高騰等により、町内会等において集会施設の新築に関する意見合意形成が困難であったこと等から、3件の取り下げがあった。 4館あるコミュニティセンター(指定管理)において市民向けの講座等を実施するとともに、地域の団体の活動などの場を提供し、地域コミュニティの活性化を図った。	当初予算	219,274,000円
		予算現額	177,107,000円
		決算額	157,031,737円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	町内会等への加入促進の広報活動	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	集会施設の新設、改築、修繕に対する補助	箇所	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	10	11	6		
	コミュニティセンター講座等事業数	回	目標値	185	187	189	191	193
			実績値	83	147	218		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	町内会等組織数(累計)	団体	目標値	192	194	196	198	200
			実績値	194	195	196		
	集会施設数	箇所	目標値	153	154	155	156	157
			実績値	151	150	157		
	コミュニティセンター利用者数	人	目標値	100,000	100,500	101,000	101,500	102,000
			実績値	46,034	66,890	78,905		
	コミュニティセンター登録団体数	団体	目標値	310	310	310	320	320
			実績値	228	226	182		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	・町内会等への補助金等による各種経費負担等の支援や、協力関係の維持に引き続き努める。また集会施設整備事業補助金については、改築・改修事業及び解体事業について検討する。 ・コミュニティセンターは地域コミュニティの拠点の1つとして機能していると考え。指定管理者は利用者ニーズに合わせた事業を実施する等の施設の活用を図る努力をしており、今後も地域コミュニティの活性化を図るために事業を継続する。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	69
実施計画事業名	市民の主体的な活動の支援		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民活動の推進及び活性化を図るため、活動を行うために必要な「場」「資金」「情報」「交流」等に関する様々な支援策を実施します。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市市民活動推進条例 印西市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則 市民活動団体(NPO等)との協働を進めるためのガイドライン	
取組方針	市民の主体的な活動の支援			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 - 市民活動に関する情報の収集及び提供 - 協働事業の推進 - 公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援	- 指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 - 次期市民活動支援センター指定管理者の指定 - 市民活動に関する情報の収集及び提供 - 協働事業の推進 - 公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援 - 市民活動支援センター移転準備	- 指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 - 市民活動に関する情報の収集及び提供 - 協働事業の推進 - 公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援 - 市民活動支援センター移転に伴う備品整備
事業費	16,914千円	17,400千円	18,100千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	2-1-12	自治振興費	市民活動支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	指定管理者による市民活動支援センターの管理運営、市民活動推進委員会の運営、市民活動に関する情報の収集・提供、企画提案型協働事業の実施、まちづくりファンドの実施等により、市民活動団体への支援や協働事業を推進し、市民活動の推進及び活性化を図った。	当初予算	16,914,000円
		予算現額	16,912,000円
		決算額	16,107,848円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民活動推進委員会の開催数	回	目標値	9	7	7	7	7
			実績値	6	6	7		
	市民活動支援センター年間利用者数	人	目標値	10,000	10,000	10,500	10,500	11,000
			実績値	7,460	9,307	10,523		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	協働事業の実施件数	件	目標値	80	82	84	86	88
			実績値	83	87	82		
	市民活動支援センター登録団体数	団体	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	199	219	228		
	まちづくりファンド実施件数	件	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	10	18	17		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	魅力と活力のあるまちづくりのため、市民活動の推進や協働事業の活性化を図れるよう引き続き事業を継続していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	70
実施計画事業名	市民参加意識の向上		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民が主体的に行政に関わるための基本的な事項を定めた市民参加条例により市民参加を推進し、魅力と活力のある地域社会の発展に寄与します。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市市民参加条例及び同条例施行規則	
取組方針	市民参加意識の向上			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 市民参加推進委員会の開催 - 市民参加実施状況の公表 - 庁内への市民参加条例の周知 - 市政運営の過程における参加機会の提供	- 市民参加推進委員会の開催 - 市民参加実施状況の公表 - 庁内への市民参加条例の周知 - 市政運営の過程における参加機会の提供	- 市民参加推進委員会の開催 - 市民参加実施状況の公表 - 庁内への市民参加条例の周知 - 市政運営の過程における参加機会の提供
事業費	172千円	233千円	172千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-6	企画費	市民参加推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・市民参加推進委員会の開催1回 ・市民参加実施状況及び実施予定の公表 ・市民との協働及び市民参加に関する職員研修1回	当初予算	172,000円
		予算現額	172,000円
		決算額	53,000円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民参加推進委員会の開催	回	目標値	1	2	1	2	1
			実績値	1	1	1		
	市民参加実施状況の公表	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	庁内へ市民参加手続きの周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公募市民が委嘱されている審議会等の数	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	26	26	26		
	公募可の審議会等における公募委員の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	14	14	17		
	市民意見公募手続の平均応募件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	7	7	21		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	公募委員が委嘱されている審議会等の数や、公募可の審議会等における公募委員の割合等が目標値に届かなかった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	審議会等に対する市民の関心を高めるための情報発信の機会を増やしていく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民が行政に興味をもていただき、率直な意見をいただけるよう、わかりやすい情報の提供・収集方法の工夫に努める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	71
実施計画事業名	人権尊重の推進と 男女共同参画社会の実現に向けた取組		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりが、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現のために、人権尊重と男女共同参画意識の醸成を図るとともに、多様な生き方を実現するための環境整備や、誰もがいかなる差別や暴力を受けることなく安心して安全に暮らせるための取組等を、男女共同参画プランに基づき総合的に推進します。 また、すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するため、人権擁護委員と連携を図り、人権教育や啓発講座などの人権擁護活動を総合的に推進します。			
関連施策	【5-2】 人権尊重と男女共同参画社会の実現	根拠法令 関連計画	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、印西市男女共同参画プラン、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権擁護委員法	
取組方針	男女共同参画社会の実現に向けた 取組の推進/人権尊重の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 男女共同参画プランの進行管理 - 主催事業の実施 - 啓発資料の掲示及び配布 - 情報紙の発行 - 男女共同参画推進委員会の開催 - 第4次男女共同参画プランの策定 - 人権啓発事業の実施	- 男女共同参画プランの進行管理 - 主催事業の実施 - 啓発資料の掲示及び配布 - 情報紙の発行 - 男女共同参画推進委員会の開催 - 男女共同参画センター準備 - 人権啓発事業の実施	- 男女共同参画プランの進行管理 - 主催事業の実施 - 啓発資料の掲示及び配布 - 情報紙の発行 - 男女共同参画推進委員会の開催 - 男女共同参画センター開設 - 人権啓発事業の実施
事業費	4,816千円	1,406千円	1,406千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-6	企画費	男女共同参画推進事業
	2-1-6	企画費	人権擁護に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	市の男女共同参画推進のため、各種事業の開催、情報紙の発行、ホームページやX(旧Twitter)による情報発信をし、市民への啓発を図った。 令和5年度は、ワークショップや参加者体験型の講座を企画したため、すべて対面式で行った。 印西市男女共同参画推進委員会を3回開催し、令和6年3月に「第4次印西市男女共同参画プラン」を策定することができた。引き続き、男女共同参画を推進していく。 人権教室は、小学校16校、中学校7校で実施した。実施数は、前年度より小学校1校、中学校1校増加することができた。また、保護者参観の授業として実施した小学校が2校あり、保護者に対しても啓発することができた。 今後も継続して実施していく。	当初予算	4,816,000円
		予算現額	4,816,000円
		決算額	4,321,955円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座等の開催数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	8	10		
	情報紙の発行回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	3	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	講座等の参加者数	人	目標値	190	190	190	190	190
			実績値	94	183	354		
	審議会等の女性委員比率	%	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	29	30	30		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値どおり講座の開催、情報紙の発行をすることができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	「男女共同参画」をメインテーマに、「防災」や「子育て」といった要素と組み合わせ、講座を企画した。託児サービスの用意やイベント講座事業を出入り自由にし、気軽に参加できる工夫をし、講座の参加者は増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続き講座内容や形式を柔軟に実施できるよう検討し、啓発を進めていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和5年度は、会場がイオンホールの事業や共催事業などで多くの参加者を呼び込むことができた。各事業のターゲット層が参加しやすいよう工夫をし、市民向けの講座を充実させていきたい。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	72
実施計画事業名	相談支援体制の充実		担当部署名	子育て支援課
事業の実施目的 及び概要	○関係機関との連携を通して相談事業の実施や適切な情報提供などを行い、悩みを抱える女性やDV(配偶者など暴力)被害者を支援していきます。 ○相談者が安全に安心して相談できるよう体制を整備するとともに、専門的知識や経験を有する人材の確保に努めます。			
関連施策	【5-2】 人権尊重と男女共同参画社会の実現	根拠法令 関連計画	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 印西市男女共同参画プラン	
取組方針	相談支援体制の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	  			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化
事業費	570千円	570千円	570千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	3-1-1	社会福祉総務費	女性の悩み相談事業
	3-1-1	社会福祉総務費	DV被害者支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	女性の生き方や家族の問題などに関する悩みに対し、専門のカウンセラーによる相談を実施して、相談者の悩みが解消するよう努めた。 DV被害者やその他の悩みを抱える女性に対し、関係機関と連携を図りながら適切な支援が出来るよう努めた。 緊急避難のための支援金:実績なし	当初予算	570,000円
		予算現額	570,000円
		決算額	528,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	女性の悩み相談周知回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	女性の悩み相談日数	日	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24		
	DV被害者支援周知回数	回	目標値	1	1	2	2	2
			実績値	1	1	2		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	女性の悩み相談者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	69	54	81		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	目標値に対して実績が少なかったため。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標が達成できなかったため。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	広報、ホームページ及び個別の相談時等で、相談窓口の周知を図り、月2回(第1、3木曜日)女性の悩み相談を実施することにより、女性が抱える様々な悩みに対して、解消へと繋がるような支援を行っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	73
実施計画事業名	電子行政の推進		担当部署名 DX推進課
事業の実施目的 及び概要	ICT分野における技術革新や環境の変化に柔軟に対応しながら、市民生活が向上するよう電子申請手続きやキャッシュレス決済の拡充などデジタル・トランスフォーメーションに取り組むとともに、並行してデジタルデバйд対策を講じ、市民の利便性向上に努めます。また、庁内の情報機器などの配備・更新を進めて、高い情報セキュリティ水準を維持しながら、業務の安定稼働が図れるよう取り組みます。		
関連施策	【5-3】 行政の電子化・情報化の推進	根拠法令 関連計画	印西市DX推進方針
取組方針	ICTの活用などによる効率的な行政運営 /電子行政の推進		
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		
関係するSDGs	16 平和と正義 持続可能な社会を築く 17 パートnership 持続可能な社会を築く		

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの運用 ・公共施設予約システムへのキャッシュレス決済実装 ・パソコン更新 ・複合機更新 ・住民情報系プリンタ更新 ・RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済導入拡大に向けての検討 ・デジタルデバйд対策の実施 ・HPでのAIチャットボットの運用 ・市民協働投稿サービスの運用 ・CIO補佐官の登用 ※CIO補佐官とは、ICTの知見を有する者で、CISO(最高情報セキュリティ責任者:「印西市セキュリティポリシー」より)を補佐し、自治体現場の実務に即して技術導入の判断や助言を行うことができるデジタル人材のことをいう。	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの運用 ・パソコン更新 ・複合機更新 ・RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済導入拡大に向けての検討 ・デジタルデバйд対策の実施 ・HPでのAIチャットボットの運用 ・市民協働投稿サービスの運用 ・CIO補佐官の登用	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの運用 ・パソコン更新 ・複合機更新 ・RPA等の導入拡大に向けての検討 ・キャッシュレス決済導入拡大に向けての検討 ・デジタルデバйд対策の実施 ・HPでのAIチャットボットの運用 ・市民協働投稿サービスの運用 ・CIO補佐官の登用
事業費	447,429千円	403,803千円	403,803千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	2-1-11	電子計算費	電子行政推進に要する経費
	2-1-11	電子計算費	情報基盤整備に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	■職員向け研修 GIS操作研修10/31(34人)、Word、Excel研修11/1(49人)、ChatGPT研修11/15(30人)、SmartDiscussion操作研修(動画35人)、LINE研修2/13(26人)、生成AI活用研修2/14,15(38人) ■電子申請手続き、びったりサービスの推進 電子申請手続き(344手続き)、びったりサービス(30手続き) 児童館のイベント募集手続きが大幅に増加 ■公共施設予約システムの更新 オンライン決済、キャッシュレス決済を行えるようにした。 ■デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した事業の支援 児童館入退館システム導入、コンビニ交付サービス(戸籍証明書)拡充事業 ■デジタルデバйд対策 公民館やコミュニティセンターが実施するスマホ講座の開催支援(高齢者向け5回) ■HPでのAIチャットボットの運用 アクセス数12,038件 質問数37,976件 ■市民協働投稿サービスの運用 登録者数 266人 投稿数 637件 ■CIO補佐官の登用 いんざいナレッジ活用支援システムの共同開発支援、こどもデータ連携実証実験の支援など	当初予算	447,429,000円
		予算現額	356,391,000円
		決算額	349,373,146円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員向け研修	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	5	6		
	公共施設予約システムの停止を伴う定期メンテナンス	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	—	—	—
	公共施設予約システムのキャッシュレス決済利用件数	回	目標値	—	—	2,000	4,000	6,000
			実績値	—	—	3,384		
	電子申請手続き、びったりサービスの手続数	手続	目標値	37	39	70	80	90
			実績値	103	197	374		
	パソコン更新	台	目標値	240	250	440	150	—
			実績値	244	273	—	—	—
	公開型GISに新規搭載する地図数	枚	目標値	—	—	2	2	2
			実績値	—	—	2		
成果指標	職員向け研修参加者数	延べ人数	目標値	50	100	150	200	250
			実績値	145	376	205		
	公共施設予約システムの安定稼働率	%	目標値	99	99	99	99	99
			実績値	100	100	—	—	—
	パソコン更新率	%	目標値	100	100	100	100	—
			実績値	100	100	—	—	—
	WEB会議用パソコン貸出	延べ台数	目標値	160	320	480	640	800
			実績値	982	789	—	—	—
	公共施設予約システムのWEB受付の割合	%	目標値	—	—	68	70	72
			実績値	—	—	60		
	公開型GISの閲覧数	回	目標値	—	—	16,000	17,000	18,000
			実績値	—	—	16,971		

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	電子申請やキャッシュレス決済の利用件数の伸びが著しかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	職員の生成AIへの関心が高くChatGPT研修の参加者が多かった。 公共施設予約システムのWEB受付については、窓口で予約を行う利用者が多かったため、割合が低かった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	システムを導入することによる業務のDXを進めるとともに、職員研修や市民への啓発を行い、DXに対する意識向上を図っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	74
実施計画事業名	時代に即した情報発信		担当部署名	秘書広報課
事業の実施目的 及び概要	市政情報や地域の出来事、まちの魅力などを幅広く発信することを目的に、市ホームページや広報紙については必要に応じて見直しを図るとともに、SNSや動画など、時代に即した情報発信手段の活用を図ります。			
関連施策	【5-3】 行政の電子化・情報化の推進	根拠法令 関連計画	印西市広報広聴規則 印西市広報レポーター設置要綱 印西市DX推進方針 印西市市政情報の公表及び提供の積極的な推進に関する要綱	
取組方針	時代に即した情報発信			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	 			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る。	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページのリニューアル ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る。	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る。
事業費	30,640千円	34,140千円	30,640千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-2	文書広報費	広報活動に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	【広報紙発行】 ・外部委託により、レイアウト、デザイン、図表等の作成に専門技術を取り入れ、分かりやすく読みやすい紙面編集に努めた。 ・市民の視点を取り入れるため、広報レポーターによる取材記事を掲載し、市の住み良さや魅力を紹介した。 ・新聞未購読世帯へは戸別投函や郵送による配布を行うとともに、駅や郵便局などへも配置を行った。 ・スマートフォンアプリによる広報紙の配信及び周知に努めた。 【ホームページ等】 ・インターネットが持つ即時性を活かし、積極的な情報発信に努めた。 ・ホームページ操作研修を実施し、適切なコンテンツ作成、アクセシビリティの確保について周知を図った。	当初予算	30,640,000円
		予算現額	30,640,000円
		決算額	28,261,924円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙発行回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24	24	24		
	ホームページコンテンツ数	件	目標値	3,500	3,500	4,500	4,500	4,500
			実績値	4,418	4,568	4,248		
	市公式ツイッター発信件数	件	目標値	50	55	450	450	450
			実績値	442	443	260		
	マスコミへの情報提供数	件	目標値	60	65	120	120	120
			実績値	113	85	76		
			目標値					
			実績値					
成果指標	広報紙発行部数	部	目標値	29,000	28,900	28,800	28,700	28,600
			実績値	27,300	25,600	24,700	—	—
	広報紙自動配信アプリ登録件数	件	目標値	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300
			実績値	3,998	5,409	7,105		
	市公式ツイッターフォロワー数	件	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100
			実績値	4,928	5,463	5,757		
	広報紙の世帯配布率(アプリ登録者含む)	%	目標値	—	—	65	66	67
			実績値	—	—	62		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	ホームページ内のコンテンツ内容を分かりやすく整理する。また、市公式X(旧Twitter)についても引き続き積極的に活用していく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	広報紙自動配信アプリの登録件数や市公式X(旧Twitter)のフォロワー数を増やすためにも、広報紙などを使い啓発していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	広報紙やSNSなど、複数の手段を使い、時代に即した情報発信をしていく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
2 事業を拡大して実施	広報紙と市ホームページの掲載内容については必要に応じ見直しを図りつつ、ホームページのリニューアルに向けての検討や準備を進めていく。また、市公式X(旧Twitter)と市公式LINEについても発信内容を拡大するなどし、引き続き積極的な情報発信に努める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	75
実施計画事業名	窓口サービスなどの充実		担当部署名	市民課、納税課、国保年金課
事業の実施目的及び概要	感染症の拡大防止に伴う新しい生活様式に対応するなど、市民ニーズに応じた手続きしやすい窓口サービスを提供するとともに、各種証明書交付の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを利用したコンビニ等での証明書交付サービスを促進します。 また、これまで提供してきたコンビニ納付や土曜開庁、中央駅前出張所でのサービスを継続させるほか、窓口の民間委託化や統合化を進め、効率的な窓口サービス体制の構築を図るとともに、市税など公金の納付機会の更なる充実に努めます。			
関連施策	【5-4】市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	第6次行政改革実施計画 印西市DX推進方針	
取組方針	窓口サービスなどの充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 実現しよう 10 人や国の不平等を なくそう 11 住み続けられる まちづくりを 17 パートナーシップで 目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集
事業費	171,696千円	140,180千円	140,180千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-10	出張所費	中央駅前出張所事務に要する経費
	2-3-1	戸籍住民基本台帳費	窓口事務に要する経費
	3-1-3	国民健康保険費	国保窓口業務委託に要する経費
	3-5-1	国民年金総務費	国民年金事務に要する経費
	4-1-1	保険衛生総務費	後期窓口業務委託に要する経費
	【国民健康保険特別会計予算】		
	1-1-1	一般管理費	一般管理事務に要する経費
	1-2-1	賦課徴収費	賦課徴収に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直し検討 ・多様な方法による市税等の収納業務の実施 ・コンビニ、マルチペイメントでの収納業務を継続実施	当初予算	171,696,000円
		予算現額	169,622,000円
		決算額	167,223,492円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市税における納付方法等の周知(広報、HP)	回	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	23	21	26		
	マイナンバーカード利用促進のための周知	種類	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	6	5	5		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	市税の収納率	%	目標値	94.5	94.7	95.6	95.8	96.0
			実績値	95.4	95.8	96.6		
成果指標	コンビニ等での証明書(住民票・印鑑証明書)交付割合	%	目標値	6	8	10	12	14
			実績値	11	17.4	35.5		
	国保口座振替実施率	%	目標値	30.0	30.5	31.0	31.5	32.0
			実績値	26.3	26.7	26.4		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	マイナンバーカードの利用促進をしていく。 新たな納付環境の情報収集及び市税の収納率の向上に努めていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	76
実施計画事業名	市民相談の実施		担当部署名	市民活動推進課 秘書広報課
事業の実施目的 及び概要	日常生活における悩みや問題について相談を希望する市民に対し、専門的な知識や経験を有する相談員から、相談者が自ら解決するための助言及び他の相談機関の情報を受ける機会を提供することを通じて、市民生活の向上に資することを目的とし、法律相談や市民生活相談などを実施します。			
関連施策	【5-4】市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	人権擁護委員法 行政相談員法	
取組方針	各種相談の実施			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回)	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回) ・市民相談センター準備	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回) ・市民相談センター開設
事業費	2,091千円	2,091千円	2,091千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-1	一般管理費	市民相談事業に要する経費
	2-1-1	一般管理費	行政相談事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	相談員の派遣元に確認の上、市民はマスク自由着用とし、相談事業を実施した。相談会場では、窓の換気、相談室のアルコール消毒、相談者と相談員の間にパーテーションを置くことは継続したため、相談員、相談者共に安心して事業を実施することができたと思われる。 電話での相談希望や急ぎで相談したいといった問い合わせには、相談者のニーズに沿って各関係機関を紹介した。	当初予算	2,091,000円
		予算現額	2,091,000円
		決算額	2,079,429円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	法律相談毎月実施	回	目標値	36	36	36	36	36
			実績値	36	36	36		
	市民生活相談(司法書士)毎月実施	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
	市民生活相談(税理士)毎月実施	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	法律相談の利用者数(年間)	人	目標値	260	288	288	288	288
			実績値	270	271	267		
成果指標	市民生活相談(司法書士)の利用者数(年間)	人	目標値	58	72	72	72	72
			実績値	70	68	66		
	市民生活相談(税理士)の利用者数(年間)	人	目標値	58	72	72	72	72
			実績値	63	68	68		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	予定どおり実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各関係機関と連携し、目標値どおり実施することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	計画どおり実施することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	事業を継続して実施していく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	77
実施計画事業名	情報公開制度の適正な運用		担当部署名	総務課
事業の実施目的 及び概要	情報公開制度の適正な運用に努めるとともに、公文書の適正な管理を行い、市民への情報公開・情報提供を積極的に推進します。また、市民への積極的な情報提供を行うための手段である行政資料コーナー（行政資料室）の整備やホームページへの掲載に努めます。			
関連施策	【5-4】市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	印西市情報公開条例	
取組方針	情報公開制度の適正な運用			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進
事業費	4,074千円	4,074千円	4,074千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	2-1-1	一般管理費	文書管理の推進事業
	2-1-1	一般管理費	情報公開に要する経費
	2-1-1	一般管理費	総務事務費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	情報公開制度の適正な運用を行い、市民への情報の公表・提供の推進を図るため、ホームページの活用、行政資料コーナーの充実に努めた。また、文書ファイリングシステムについて抽出した3課(大森図書館、教育総務課、選挙管理委員会)を対象に実地点検を実施し、職員の文書管理に対する意識の高揚を図った。	当初予算	4,074,000円
		予算現額	4,227,000円
		決算額	2,938,558円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各課情報公表・提供の情報一覧の公表	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	4	4		
	ファイリングの点検	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市政情報の公表・提供数	件	目標値	1,316	1,374	1,432	1,490	1,548
			実績値	877	999	1,085		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	目標値を下回る結果となったが、各課が公表・提供する市政情報の件数は前年度に比べ増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	市政情報の公表及び提供の積極的な推進を図る。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続きホームページや行政資料コーナーを活用して、市民の関心の高い情報を積極的に提供していくこととする。また、既存施設を有効活用し、20・30年保存文書の保管場所の確保を継続して取り組むこととする。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	78
実施計画事業名	事務事業の見直しと事務改善の推進		担当部署名	総務課
事業の実施目的 及び概要	多様化する行政需要に対応した、将来にわたる持続可能な行政運営を図るため、第6次印西市行政改革大綱に基づき、BPR(業務改革)の手法やICTを活用した、事務事業の見直しや事務改善を推進します。			
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	第6次印西市行政改革大綱 第6次印西市行政改革実施計画	
取組方針	事務事業の見直しと事務改善の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等を なくそう 11 安全な住みかたを 築こう 17 パートナリシップで 目標を達成しよう			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ・行政手続きの押印見直し ・行政文書の電子決裁推進 ・行政診断に基づく改善策の実施 ※RPA…ロボティックプロセスオートメーション(Robotic Process Automation)、通称RPAは、これまで人間が行ってきた定型的な作業を、ソフトウェアのロボットにより自動化するもの	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ・行政手続きの押印見直し ・行政文書の電子決裁推進 ・行政診断に基づく改善策の実施	・RPA等の導入による事務改善推進 ・キャッシュレス決済の推進 ・行政手続きの押印見直し ・行政文書の電子決裁推進 ・行政診断に基づく改善策の実施
事業費	1,161千円	1,161千円	1,161千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	行政改革に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・キャッシュレス決済端末14台追加設置 環境保全課1台・新施設予約システム導入に伴い11台、券売機2台 ・キャッシュレス決済利用件数10,311件 ・RPA 2業務新規開始 保育園入園に関する電子申請手続き(保育課) 入札事務に関する資料登録(財政課) ・押印不要とした手続き1,104件 ・電子決裁化率(供覧・起案)18.4%	当初予算	1,161,000円
		予算現額	1,128,000円
		決算額	1,049,844円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	キャッシュレス決済端末設置窓 口数	台	目標値	—	9	9	9	9
			実績値	4	9	23		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	キャッシュレス決済利用件数	件	目標値	1,500	1,900	3,000	4,000	5,000
			実績値	793	5,855	10,311		
	RPA利用事業数	件	目標値	2	3	5	6	7
			実績値	3	7	7		
	押印不要とした手続き数	件	目標値	240	720	960	1,200	1,200
			実績値	817	1,067	1,104		
	電子決裁化率(供覧・起案)	%	目標値	—	50	60	70	70
			実績値	—	12.6	18.4		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	新施設予約システムの導入に伴うオンライン決済及び窓口のキャッシュレス決済の開始等に伴い、キャッシュレス端末14台(本庁1台・出先13台)設置した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	電子決裁化率が目標値を下回っているものの、キャッシュレス決済の件数、RPA利用事業数、押印不要とした手続き数については目標値を上回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	キャッシュレス決済やRPA導入を積極的に行い、行政サービスの向上及び事務の効率化を図ることが出来た。また、行政診断報告書の公表を行い、業務改善策等について検討を行った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	定型的かつ反復作業が発生する入力業務や集計業務等について、RPAを活用した自動化の検討を図り、業務の効率化を図る。また、行政診断報告書に基づく業務改善策や人員配置適正化の方向性について、関係各課と検討し実施していく。電子決裁化率が目標値に比べ、低い数値となっていることから、電子決裁化の推進の働きかけを行っていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	79
実施計画事業名	職員の育成		担当部署名	人事課
事業の実施目的 及び概要	専門的、実務的な知識の習得、政策形成、対人折衝、職務遂行等の能力向上を図り、系統立てた人材育成を推進することにより、社会情勢の変化や様々な行政課題に対応できる職員を育成し、組織としての総合力を高めていきます。			
関連施策	【5-5】持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市職員人材育成基本方針	
取組方針	職員の育成			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	    			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・階層別研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。	・階層別研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。	・階層別研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。
事業費	4,346千円	4,346千円	4,346千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	2-1-1	一般管理費	職員研修費

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	派遣研修・専門研修・特別研修・職場内研修(OJT)を実施した。 階層別研修では、経験年数の基準から職員を指定し、受講を実施した。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響をほぼ受けずに各種研修を実施できたことから、活動指標については、研修数、専門研修数ともに前年度実績値を上回るとともに、それぞれ目標値を達成することができた。 同様に、成果指標についても、階層別研修及び専門研修ともに参加者が増加し、それぞれ、目標値及び前年度実績値を上回ることができた。	当初予算	4,346,000円
		予算現額	4,346,000円
		決算額	3,037,210円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	研修数	講座	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	105	96	117		
	うち、専門研修数	講座	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	32	43	46		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	階層別研修参加者数	人	目標値	90	71	94	93	73
			実績値	78	75	153		
	専門研修参加者数	人	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	38	47	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市職員人材育成基本方針に基づき、職員の能力向上を図るため、適切な時期及び受講内容を研究又は工夫をしながら、引き続き研修の機会と職員の参加を増やしていく。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	80
実施計画事業名	公共施設マネジメントの推進		担当部署名	資産経営課、生涯学習課、 印旛支所市民サービス課
事業の実施目的 及び概要	公共施設の老朽化が進む中で、将来的には人口減少や少子高齢化の進行により、公共施設の更新などに 充当できる財源を確保することが難しくなり、公共施設などを適正に維持することが困難になると予想されてい ます。したがって、公共施設の更新などの費用負担を軽減するため、公共施設の集約化や複合化などに取り 組み、公共施設保有量の縮減を図ります。 また、公共施設の維持管理費の縮減や管理運営の効率化を図るため、指定管理者制度の導入などの民間 活用を推進するとともに、取り組みにより生じた公共施設跡地の売却や貸付などにより財源の確保に努めま す。			
関連施策	【5-5】持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市公共施設等総合管理計画 印西市公共施設適正配置実施方針 印西市公共施設適正配置アクション プラン 印西市公共施設長寿命化計画 (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設整備基本計画	
取組方針	公共施設マネジメントの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域を つくる			
関係するSDGs	5 8 10 11 17			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位:千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・公共施設等総合管理計画及びア クションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設の設計、建設 ・ふれあいセンターいんば大規模改 修工事設計	・公共施設等総合管理計画及びア クションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設の設計、建設 ・ふれあいセンターいんば改修及び 複合化工事	・公共施設等総合管理計画及びア クションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏 複合施設にかかる外構及び道路の 建設 ・ふれあいセンターいんば改修及び 複合化工事
事業費	821,138千円	3,481,536千円	2,354,296千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	公共施設等の総合管理に要する経費
	2-1-1	一般管理費	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業(総務費)
	2-1-9	支所費	印旛支所施設管理に要する経費
	9-5-4	公民館費	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業(教育費)

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	・印西市公共施設等総合管理計画について、令和5年9月に一部改訂を行った。 ・印西市公共施設等総合管理計画及び印西市公共施設適正配置アクションプランの実施状況等については、所管課からヒアリング等を行い把握し、進捗管理に努めた。 ・指定管理者制度の導入については、指標としていた施設への新規導入を達成した。 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業については、新施設整備等にかかる建設工事の着工に至った。 ・ふれあいセンターいんば大規模改修工事にかかる実施設計を終えた。	当初予算	821,138,000円
		予算現額	826,682,000円
		決算額	805,775,924円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	進捗管理に関する施設所管課等ヒアリング	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
	印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂	%	目標値	100	100	—	—	—
			実績値	75	90	100		
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の民間事業者公募	回	目標値	1	—	—	—	—
			実績値	1	—	—		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公共施設の延床面積	㎡	目標値	R32年度までに307,446㎡(H26年度末時点)の34%を縮減する。				
			実績値					
	指定管理者制度の新規導入	施設	目標値	8	5	3	—	—
			実績値	8	5	3		
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の整備	%	目標値	—	25	50	75	100
			実績値	—	25	50		
	ふれあいセンターいんば改修及び複合化工事	%	目標値	—	—	—	10	70
			実績値	—	—	—		
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂については公表を終えた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	指定管理者制度の新規導入は指標通り実施され、(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の整備についても概ね計画通りに進められた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	実施計画に掲げた事業計画については、いずれも適正に実施された。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、公共施設等総合管理計画及びアクションプランの進捗管理に努めるとともに、(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業及びふれあいセンターいんば改修及び複合化工事を滞りなく進める。

令和5年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	81
実施計画事業名	公共施設の配置などの適正化の推進		担当部署名	企画政策課
事業の実施目的 及び概要	市域全体の公共施設の整備について、印西市公共施設整備基本方針に基づき推進を図ります。			
関連施策	【5-5】持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市公共施設整備基本方針 印西市公共施設等総合管理計画	
取組方針	公共施設の配置などの適正化の検討			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
関係するSDGs	   			

2. 実施計画の内容(第3次実施計画)

単位: 千円

	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・公共施設整備基本方針に基づく進行管理	・公共施設整備基本方針に基づく進行管理	・公共施設整備基本方針に基づく進行管理
事業費			

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)

3. 事業実績等

単位:円

令和5年度の 事業実績・成果	令和4年12月に策定した印西市公共施設整備基本方針に基づく進行管理として、関係各課から提出のあった進捗状況に関する調書をもとにヒアリングを実施するとともに、その内容について作業部会にて報告をした。	当初予算	—
		予算現額	—
		決算額	—
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	庁内検討組織での検討	回	目標値	3	3	5	5	5
			実績値	6	6	9		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公共施設整備基本方針の策定	%	目標値	100	100	—	—	—
			実績値	80	100	—	—	—
	各施設に係る計画の策定	件	目標値	—	—	1	1	1
			実績値	—	—	1		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き印西市公共施設整備基本方針に基づき進行管理をしていく。